

第七十六回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律案 衆議院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第八回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

會議

昭和十六年二月十九日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事岡田喜久治君 理事吉植 庄亮君

理事成島 勇君 理事松浦 伊平君

池田七郎兵衛君 石井德久次君

石坂 繁君 小笠原八十美君

小串 清一君 長野 綱良君

北 勝太郎君 釘本 衛雄君

坂下仙一郎君 鈴木 文治君

土田 莊助君 坪山 德彌君

松田喜三郎君 三善 信房君

小畑虎之助君 服部 岩吉君

渡邊 健君 平野 力三君

同日委員渡邊健君及馬場元治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小畑虎之助君及平野力三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 井野 碩哉君

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省資材部長 重政 誠之君

食糧管理局長官 湯河 元威君

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農地開發法案(政府提出)

○村上委員長 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマ

ス、申上ゲテ置キマスガ、大臣ニ對スル質

問ハ本日ハ全部保留サレタイト思フノデア

リマス、サウシテソレト大臣ノ出ラレル日ヲ決メマスカラ、其ノ時ニ皆ヤツテ戴クヤウニ願ヒタイト思ヒマス——ソレデハ松浦伊平君

○松浦(伊)委員 昨日委員長ノ御執成シニ依リマシテ懇談會ヲ致シマシテ、政府ニ於テハ親切ニ色々數字ヲ擧ゲテ、本案ノ内容ニ互リマシテ御説明ヲ戴キマシタカラ、非常ニ能ク本案ノ骨子ガ分リマシタガ、更ニ簡單ニ私ハ此ノ際御尋ネ申上ゲタイトハ、本事業ハ我が國トシテ食糧確保ノ重要ナル問題ノ基礎ヲナス所ノ土地ノ改良ト増收ノ計畫デアリマスガ、洵ニ國家ノ將來ニ取リマシテ喜ブベキ御企畫デアルト同時ニ、御當局ノ各位ニ感謝ヲ致スノデアリマス、更ニ本案ハ、大藏省豫算ニ關聯ヲシマスカラ之ガ折衝ニ付テハ、當局ノ御苦心ニ對シテ洵ニ敬意ヲ表スル次第デアリマス、尙ホ是ガ實行ニ當リマシテハ格段ノ努力ヲ以チマシテ、所期ノ目的ヲ貫徹スルヤウニ御高配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、申スマデモナク水ハ國家ノ有用ナル天然ノ資源デアリマシテ、是ガ確保ニ付テ我が國トシマシテハ、斷乎トシテ水利計畫ノ樹立ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ未ダニ水利計畫ノ完備、充實シテ居リマセヌ結果、農村ニ於テハ配水ニ對シテ色々紛糾ヲ重ネテ居ルノデアリマス、此ノ際政府ハ思ヒ切ツテ水利法ノ單行法ヲ制定致シマシテ、舊弊ノアル慣習ニ依ル水ノ配給ノ不圓滑ヲ滑ラカニ致ス御方針ハナイカ、此ノ點

ヲ御尋ネ致シタイトデアリマス

○岸政府委員 政府ハ水利法ヲ制定シテ、水利ノ完成ヲ期スル意思ハナイカ、サウ云フ御尋ネデゴザイマスガ、水利ノ關係ニ付キマシテハ、御話ノ通り色々地方ノ事情モアリ、此ノ關係ヲ調整スルガ爲ニ、何等カソコニ法制的ノ根據ヲ與ヘル必要ガアルト思ツテ、既ニ豫算ヲ戴キマシテ調査ヲ致シテ居リマス、何分複雑ノ關係ニアリマスノデ、マダ成案ヲ得ルト云フ運ビニ至ツテ居リマセヌガ、吾々トシテハ御話ノヤウナ方

向ニ、一日モ具體的ノ措置ヲ執ルヤウニ努力致シテ居リマス

○松浦(伊)委員 總動員法ヲ適用致シマシテ應急ノ場合、強制的ニ圓滑ニ水ノ配給ヲナス御方針アリヤ否ヤ

○周東政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテハ、完全トハ申サレマセヌカモ知レマセヌガ、御承知ノ通り總動員法ノ發動ニ依リマシテ制定致シマシタ水利調整令ガ昨年八月一日カラ施行サレテ居リマス、隨テ今後ノ事情ノ變化ニ對應シマシテ、水利調整令ノ全面的發動ニ付テ只今調査ヲ致シテ居リマス、萬一ノ場合ニ於キマシテ地方的ノ事情ヲ十分調査致シ、ソレニ對應致シマシテ、水利調整令ノ企圖シテ居リマス範圍ハ、十分之ヲ活用シテ備ヘテ行キタイト思フノデアリマス

○松浦(伊)委員 ドウカ水利ノ統制ニ付キマシテハ十分御研究戴キマシテ、末流ト雖モ均霑シタル水ノ配給ガ出來ルヤウニ、御

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)第八〇號

高配願ヒタイトデアリマス、更ニ私ハ本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、内務省トノ關係ニ付テ御尋ネ申上ゲタイトデアリマス、申スマデモナク内務省ハ遊水地帶ト致シマシテ、水害防除計畫ノ下ニ貯水池ノ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ農林省ノ御經營ノ事業ト屢、其ノ意見ガ一致スル點モアリ、又意見ヲ異ニスル點モ多イノデアリマス、成ベク私ハ農林省ト内務省ト、更ニ遞信省ト商工省ト、斯ウ云フ方面ト横ノ連絡ヲ十分取ツテ戴イテ、唯灌溉用水ノミニ利用スルコトニ御考慮願ヒタイト、厚生省ハ上水道ニ依リ、飲料水トシテ利用出來ルシ、遞信省ハ電力ノ關係、水力電氣發電ニ關シテ利用ガ出來ル、商工省ハ工業用水トシテ使ヘル、内務省ハ水害防除計畫ニ依リ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、水ハ各方面ニ利用スルコトガ多イノデアリマス、唯單ニ農林省ガ灌溉用水ノミヲ基本トシテ、溜池ヲ築造スルナラバ、折角多大ノ投資ヲシマシテモ無意味ニ歸シテシマフ、此ノ點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト、何故斯ウ云フコトヲ申述ベ

ルカト云フト、私ノ縣ニモ昨年既ニ斯ウ云フ問題ガアツタ、簡單ニ言ハバ事業ヤルルノニ内務省ト農林省ガ競争ヲヤツテ、ソコデ私ハサウ云フヤウナコトヲ實際問題トシテ申上ゲルノハ、當局ニ對シテ御迷惑ニナルカラ申上ゲナイガ、是非私ハ横ノ連絡ニ十分ナカヲ入レテ戴キタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ場合御尋ネ

申上ゲタイノハ、此ノ事業ノ遂行ニ當リマシテ、唯單ニ現在ノ農林省ノ農政局ノ下ニアル耕地課ヲ以テ、全國ノ事業指導ヲ監督スルト云フコトハ地方モ困ルガ、又當局モサゾ御迷惑デアラウト思ヒマス、此ノ際此ノ大業ノ遂行ヲ圖ルノニハ、九州ニハ九州ニ出張所ヲ設ケテ農林省ノ耕地課ト連絡ヲ取ル、ソレカラ地方ト出張所トノ連絡ヲ取ル、一々地方問題ヲ農林省ニ出テ來テ交渉スル必要ハ私ハナイト思フ、四國ハ四國デーツノ「ブロック」ヲ作り、北海道ハ北海道デーツノ「ブロック」ヲ作りマシテ、所謂農林省ノ出張所ヲ設置シテ、出來得ル限リ其ノ地デ、大抵ノコトハ處理出來得ルヤウナ御方針ヲ政府ハ持ツテイラシヤルカ、此ノ點ヲ私ハ御尋ネテ致シタイノデアリマス

○岸政府委員 今回ノ農地開發事業ヲヤツテ行クト云フコトニナレバ、水ノ關係ニ於テ他省トノ關係ヲ十分良クスルヤウニト云フ御意見デアリマス、洵ニ御尤モデ、私共モ其ノ通り考ヘテ居リマス、今回ノ法案ヲ出スニ付キマシテモ、内務省、逓信省トモ十分連絡ヲ取ツテヤリマシタシ、今後實施ニ當ツテモ、例ヘバ農林計畫委員會ニ掛ケテ審議ヲスルト云フ場合ニモ、關係省ノ者ガ委員トシテ加ハルヤウニシテ居リマス、尙ホ其ノ他事務的ニモ十分連絡ノ付クヤウナ方法ヲ執リマシテ、一ツノ水系ヲ十分各方面ノ用途ニ應ジテ使ヒ得ルヤウナ計畫ノ下ニ、農業水利ヲ考ヘテ行キタイ、其ノ間ニ無駄ノナイヤウニシテ行クト云フヤウナ考ヘ方デ飽クマデ進ンデ行キタイ、斯ウ云フ建前デ居ノデアリマス、デアリマスカラ其ノ點ハ御信ジ戴イテ結構ダト思ヒマス、尙

ホ此ノ大キナ農業土木ノ事業ヲ、耕地課ダケデヤツテ居ツテハ非常ニ不便デアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私共モ唯中央一箇所デヤルト云フコトハ御不便ガ多イダラウト思ヒマスシ、其ノ點ハ同感デゴザイマス、デアリマスカラ營團ノ仕事ニ付キマシテハ地域ヲ相當「ブロック」ニ分ケマシテ、サウシテ或ハソコニ營團ノ事務所ヲ置キ、又必要ニ應ジテハ、縣ニモ出張所等ヲ置イテ便宜ヲ圖ルヤウニシヨウ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、更ニ地方デ施行スル仕事ニ付テモ、從來ヨリモヨリ廣イ範圍ノ事業施行ノ權限ヲ地方廳ニ任セルヤウニシテ、サウシテ圓滑ニ進メルヤウニ努メテ行キタイ、要ハ之ニ依ツテ敏捷ニ多大ノ效果ガ舉ルヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居ルノデ、御趣旨ノヤウニ進ムコトニナルト思ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 ドウカサウ云フ風ニ是非御取計ラヒテ願ヒタイ、更ニ横ノ連絡ニ付キマシテハ十分各省トモ協議ヲシテ、事業ノ遂行ニ萬全ヲ期シテヤリタイト云フ御方針ハ結構デアリマスガ、地方ニ於キマシテモ耕地課ト土木課ト云フモノガ、地方ノ水利關係ニ付テ十分地方々々ノ横ノ連絡ヲ取ツテ、農林省ノ獨善主義ヲ發揮セズ、各方面ノ意見ヲ尊重シテ、設計ニ或ハ實施ニ當リマシテ御考慮ヲ願ヒタイ、尙ホ山林ヲ開發致ス問題デアリマスガ、山林ヲ開發致シマス、常ニ經濟ヲ目標ト致スモノデアリマスカラ、土砂止メノ計畫ガ完璧ヲ期シテ居リマス、仍テ山林ハ勿論土地ガ高イノデアリマスカラ、一朝豪雨ノ際土砂ガ流出シマシテ、下ノ田畑ニ及ボス被害ハ相當多イノデアリマス、仍テ唯經濟バカリニ囚ハレズシテ、所謂水害ノ防除計畫ヲ十分ニ織込

ンデヤル必要ガアル、唯經濟バカリニ終始セズシテ、左様ナ計畫ニ依ツテヤル決心ガ一體オアリニナルカドウカ、御尋ネ申上ゲタイ

○岸政府委員 第一ノ御尋ネノ地方ニ於ケル、土木課、耕地課ノ連絡等ニ付テモ農地委員會等ノ關係ニ於テ、土木方面ノ人ヲ加ヘルト云フコトデ連絡ノ取レルヤウニ考ヘテ居リマス、又是等ニ付テハ内務省トモ打合セラシマシテ、向フカラモサウ云フヤウナ十分ナ連絡ヲ取ラレルヤウニヤツテ貫ヒタイ積リデ居リマス、ソレカラ山林ノ開發ニ當ツテ土砂止メガ十分デナイ爲色々故障ガ起ル、サウ云フヤウナコトニ付テハ、經濟ヲ少シク超越シテ仕事ヲヤツテ貫ヒタイト云フ話デアリマスガ、是ハ御尤モダト思ヒマス、左様ナコトデ折角金ヲ掛ケテモ、後ニナツテ故障ガ起キテ他ノ災害ガ起ルト云フコトデハ、折角ヤツタコトガ效果ガ擧ラナイノデアリマスカラ、其ノ意味カラ考ヘテモ、サウ云フ場合ニ於テ十分經費ヲ掛ケテ、サウシテ災害ノ及ボヌヤウニ留意シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

フ戴キタイト思ヒマス、ドウカ今日デナクテ結構デアリマスカラ、適當ノ機會ニ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○松浦(伊)委員 私ハ大臣ニ一點御尋ネシタインデスガ、今オイデニナツテ居リマセヌカラ御答辯ハ後デ結構デアリマスガ、今回ノ此ノ利水事業ノ完壁ヲ期シタナラバ、我が日本ノ内地ノ旱害防除ト云フモノハ完壁ヲ期セラレルモノカ、即チ從來困ツテ居ツタ旱害ト云フモノハ解消出來ルモノカ、得ラレヌモノカ、此ノ點ヲ私ハ一ツ御尋ネ申上ゲタイ、即チ昭和二十七年マデニハ我が國ノ旱害ト云フモノハ解消シテシマヘルカ、斯様ナ氣持デ此ノ事業ニ御着手ノ方針デアルカ、此ノ點ニ付テ私ハ大臣ノ御答辯

ソレカラ次ニ御尋ネ申上ゲタイノハ、事變モ始マツテハヤ足掛ケ五年目デアリマスガ、事變前ニ用排水幹線改良事業ニ着手ヲシ、既ニ指令ヲ與ヘテ居ル事業ガアリマス、此ノ事業ガ物價ノ騰貴ニ依リマシテ遅々トシテ進行シテ居ラナイモノガ相當アリマス、假ニ今百万圓ノ事業ガアルトシマシテ、其ノ百万圓ノ事業ヲ農林省ノ指令ノ下ニ百万圓認メテ着手シテ來マシタモノノ、事業ニ掛ツテ見マスト物價ハ斯ノ如ク騰貴シ、又勞働賃銀ハ益、上ツテ參リマシタノデ、殆ド所期ノ百万圓ヲ以テシテハ、其ノ事業ノ五割乃至六割シカ出來ヌヤウナ事業ガ全國ニ相當數ガ多イノデアリマス、新規事業ノ計畫ト共ニ、此ノ事業ノ完成ヲシテヤラネバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ地元ノモノハ相當不安ヲ持ツテ居リマス、是ハ地元ダケノ責任デハナイ、自然ノ物價騰貴デアリマシテ、所定ノ事業完成ガ出來ナイノデアリマス、此ノ際之ヲ思切ツテ事業ノ全部完成シ得ルヤウニ、政府ハ經濟的方面其ノ他資材ノ配給ニシテモ、責任ヲ負ツテ支援ヲシテヤラレル御考ガアルカナイカ、此ノ點ヲ御尋ネ申上ゲタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノ點御尤モデアリマス、從來着手致シタモノニ付キマシテモ、經費ノ値上リト云フヤウナ關係デ遅レテ居ル所モナイデモアリマセヌ、サウ云フ點ヲ考慮シマシテ、今度ハ新規ノ着手事業ニ付テハ勿論、繼續シテ居ル仕事ニ付テモ、一部單價ノ引上ヲ大藏省ガシテ吳レタ譯デ

アリマス、隨テ全面積ニ對スル事業費ノ單價ヲ引上ガタ、隨テソレニ對シテ助成費モ變ツテ來テ居ル譯デアリマス、是デ決シテ満足トハ思ヒマセヌガ、稍、從來ノ缺點ヲ補ヘルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ第一ノ點ハ、大臣ニ對シテ御尋ネデアリマスカラ大臣ニ御傳ヘ致シマセヌガ、大體計畫ヲ致シマシタ内容ト致シマシテハ、今日要改良面積ハ大體百九十八万町歩アル譯デアリマス、其ノ中デ特ニ大キナ所デ、早クヤツテ利水ノ完壁ヲ期スルコトノ必要ナ急ヲ要スル所ヲ捉ヘマシテ、其ノ中約百四万町歩ヲヤル譯デアリマス、是ガ實行致カレマスレバ、大體大キナ所ハ目的ヲ達成サレルノデハナイカト思ヒマス、併シアトノ小サイ所ト雖モ、之ヲヤハリ新規計畫トシテハヤツテ行ク必要ガアラウト考ヘテ居リマスノデ、第一期計畫ガ濟ミマスレバ續イテ第二期計畫トシテヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、第一期ノ計畫トシテハ、急ヲ要スル大キナ所ハ、大體全部是デヤレルモノト思ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 更ニ御尋ネ申上ゲタイノハ、御承知ノ通り昭和十四年ハ瀨戸内海ヲ中心トシタル大旱魃デアリマシテ、地方ノ沿岸民ハ相當此ノ旱害ノ爲ニハ苦痛ヲ感ジタノデアリ、隨テ米ノ收穫ハ少イノデアリマスカラ、一層此ノ戰時下ノ食糧政策ノ圓滑ヲ缺イテ居ルヤウナ點モ出來テノ居ルノデアリマス、斯カル見地カラ瀨戸内海ヲ中心トスル吾々議員ハ第七十五議會ニ於キマシテ政府ニ向ツテ、此ノ事業ノ完壁ヲ期スル爲ニ追加豫算ヲ以チマシテ慥カ七千万圓ト思ヒマスガ、政府ニ御支出ヲ願ヒマシテ、議會デ協賛ヲ致シタヤウニ思フノデアリマス、當時農林

大臣及ビ農務局長ハ、本事業ノ遂行ニ當リマシテハ、十四年ノ旱害ノ應急對策ノ豫算ノ配付ノヤウナ氣持ヲ持タズシテ、效果的ニ、事業本位ニ、假令一縣一地方ニ集中シテモ宜シイ、又事業ノ性質上急ヲ要スルモノカラ、之ヲ拾ツテ事業ヤツテ行カウト當時聲明ヲ致サレタノデアアル、然ルニ其ノ豫算ノ配付ノ状態ヲ見マスト、其ノ言ニ反シテ居ル、即チ昭和十四年ノ應急對策ノ豫算配付ノ率ヲ以テ旱害縣二十數縣ニ割當テテ居ル、仍テ旱害ノ深刻ナ縣ノ、即チ瀨戸内海ヲ中心トスル山口、廣島、岡山、香川ノ如キハ、其ノ配當タルヤ極メテ僅少デアリ、仍テ所定ノ目的ノ事業ニ着手スルコトニ困難ヲ來タシテ居ルノデアリマス、中ニハ其ノ事業ノ一部ハ旱害ノ應急對策ノ當時、ヤハリ救濟事業ノ一部トシテ織込シテ着手致シテ居ル事業モ相當數多イノデアリマス、仍テ今日各縣ヲ廻ツテ見マスト、其ノ事業ノ途中ニ於テ、政府ノ助成ガナイ爲ニ中止シテ貯水計畫ノ完壁ヲ期シテ居ラス、又計畫ノ遂行ニ支障ヲ來シテ居ル、事業モ澤山アルノデアリマス、斯様ノ状態デアリマスガ、今回ノ事業ノ豫算ハ所謂效果的ニ實質本位ニオヤリニナル方針デアルカ、又昨年ノ通りニ各縣ヘ所謂バラ撒キ主義ニオヤリニナル積リデアルカ、十六年度以後ノ豫算ハ申上迄モナク、西日本ノ旱害對策ノ恆久豫算ノ配付ニ付テモ、如何様ナル所見ヲ御持チニナリマスカ、此ノ際明確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點洵ニ御尤モナ御意見デアリマス、私共ノ方ニ於キマシテモ本事業ノ實行ニ當リマシテハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ急ヲ要スル地方、場所等ヲ先ヅ最初ニ考ヘテ行クベキ事柄ト思ヒマス、同時ニ又其ノ仕事ノ難易ト云フヤウナコトモ勿論考慮ニ置カレコトデアリマスガ、事柄ノ性質上急ヲ要スル場所ガヤハリ重キヲ置カレテ行ク、サウ云フ行キ方ニ致シタイト思ヒマス、尙ホ又此ノ事業ノ中ニハ、只今御示シノヤウナ、一昨年ノ旱害地方ニ對スル恆久策トシテ執ラレマシタ用水幹線事業ガ、十六年度終ルコトニナツテ居リマス、其ノ四万町歩ノ施設、竝ニ十八年度マデヤルコトニナツテ居リマシタ農用溝渠施設モ織込マレテ居リマス、ソレ等ニ付キマシテハ、特ニ又其ノ當時要求ノアリマシタ事情ヲ考慮ニ入レテ、ソレ等ノ地方ガ先ヅ急ヲ要スルモノトシテ考ヘラレル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松浦(伊)委員 更ニ申上ゲタイノハ、農用公共施設ニ付キマシテ、政府ハ一町歩ニ對スル一定ノ單價基準ガアルカラ、ソレ以上高率負擔ニ屬スル事業ハ政府ハ之ヲ認メルコトハ困ル、サウ云フ採算率ノ惡イ事業ハ認メナイ、斯様ナコトヲ私ハ聞イタコトガアルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、一反歩ニ對シテ普通百圓位ノ利水計畫ノ完壁ガ期シ得ルモノヲ、或ル地方ハ貯水池ヲ築造スルノニ非常ニ地理的不便デアリ、事業上困難條件多イ爲ニ、已ムナク高ク掛ルノデアリマス、斯様ニ採算ノ取レヌ田地ハ利水事業ヤラスデモ、之ヲ畑ニシテシマツタラ宜イデヤナイカト言ハレマスガ、申上マデモナク政府ノ助成金ハ五割デアリマス、地元ガヤハリ五割ヲ負擔スル、然ルニ全然頭カラ劔ネテ、此ノ事業ヲ見向キモセヌト云フ傾向ガ今日マデアルノデアリマス、私ハドノ事業ト具體的ニ

申上ゲルコトハ避ケマスガ、サウ云フコトデナクテ、地元ト政府ト協力シテ、假令一反歩ニ三百圓掛ラウト四百圓掛ラウト、農民ノ氣持ニナツテ協力シテ水ノ確保ヲシテ、將來旱害ノ起ラヌヤウニヤツテ行カケレバナラスト思フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲハツキリト明確ニ御答ヘヲ願ヒマス

○岸政府委員 只今御尋ネノ農用公共ノ實施ニ當ツテ、單價ノ制限ヲ受ケテ工事ヲ抑制スルヤウナ傾キガアルガ、ソレデハイケナイ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、ドウ云フヤウナ關係デサウ云ウ風ニナツタカ知リマセヌガ、農用公共ノ仕事ヲヤツテ行ク上ニ於テ、ヤハリ大キナ見地カラ見テ效果ノ擧ガレヤウニスル、地方ノ潤フヤウニスルト云フコトカラ言ヒマスレバ、單價ニ多少ノ差ガアツタト云ツテモ、ソレハ個々ノ場合ノ問題デ、十分今御話ノヤウナ點ヲ考ヘマシテ、ヤハリ其ノ事業ニ付テノ考慮ヲシテ行カケレバナラスト考ヘテ居リマス、デアリマスカラ其ノ點ハ御心配サレル必要ハナカラウカト思ヒマス

○松浦(伊)委員 洵ニサモナケレバ私ハイカスト考ヘテ居リマスカラ、ドウカ左様ニ御願ヒ致シマス、尙ホ御尋ネ申上ゲタイノハ、農地開發營團ノ出資ニ對スル配當率ハ、一體如何程ノ利率デゴザイマスガ

○周東政府委員 出資ニ對スル配當率ハ、大體六分ヲ超ユルコトヲ得ナイコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 農地開發債券ノ利率ヲ伺ヒタイ

○周東政府委員 大體四分二厘程度ニ致シタイト思ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 ドウモ私ハ其ノ配當率ハ

高過ギルト思フ、申スマデモナク我が國ハ農業ガ本ノ國デアリマスガ、農村ノ土地ヲ持ツテ居ル人ガ一體ドレダケノ收入ガアルカ、大抵ノ田畑ガ先ツ年三分乃至三分五厘ノ利潤シカナイノデアリマス、ケレドモ全體カラ申シマス、地方小作農ヲシテ居ル者ハ自作農ニナラウト一生懸命ニ働イテ、貯蓄ヲシテ田畑ヲ買ヒ、自作農ニナラントシテ居ル、又自作農ニナレバ、假令一反田地デモ地主ノ立場ニナツテ見タイト云フ氣持デ、農業ニ精勵致シテ居ルノデアリマス、其ノ田畑ガドレダケノ利潤カト申シマス、先刻申シマシタ水利費、諸公課ヲ控除シマシタナラバ、大抵三分乃至三分五厘位デア

ル、然ルニ斯ウ云フ高率ノ配當ヲシ、高利債ヲ出サレル其ノ理由ヲ私ハ承リタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤モノ點ガアルト思ヒマス、只今申上ゲマシタヤウニ、出資ニ對スル配當率ノ最高限度ヲ六分ト致シテ居リマスガ、併シ此ノ營團ソレ自體ハ度々御話申上ゲマスルヤウニ、營利ヲ目的トスルモノデナクテ、農地開發ト云フ大キナ國ノ政策ヲ代行スル機關デアリマス、特ニ餘計ナ利潤ガ上ラウトモ實ハ考ヘテ居リマセヌ、併シ唯營利ヲ目的トシテ居ラナイコトト、結果的ニ利益ガ出ルト云フコトハ違ツテ居リマス、萬一實際問題トシテ利益ガ出タ場合ニ於テハ、六分程度ノモノハ配當シテモ宜カラウ、斯ウ云フ程度ニ於テ決メテ居ルノデアリマス、實際問題トシテハモット低カラウト思ヒマス、是等ニ付キマシテ實際ノ利益ノ配當ヲシマス場合ニ於キシテハ、監督上能ク實際ノ情勢ト比べマシテ指導シテ行キタイト思ツテ居リマ

ス、殊ニ營團ノ事業開始ノ當初ニ於キマシテハ、開發債券ノ發行ニ依リマシテ、事業資金ヲ得テ運轉シテ參ル譯デアリマス、サウ云フ風ナ時代ニ於キマシテハ、私共ノ方デハ四分以上ノ配當ハサセナイ積リデ居リマス、サウ云フ方法ヲ執リマシテ、御話ノヤウナ實際農業ノ利潤ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、能ク實際問題トシテハ監督ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 最高配當ハ六分デアルト云フヤウナ思召シデアリマスガ、サウスルト斯ウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ、年四分マデノ配當ガ出來ナイ時分ニ、政府ガ助成スルノト違フノデスカ、一寸御尋ネ申シマス

○周東政府委員 政府ノ助成ハ配當ノ如何ヲ問ハズ、事業費及ビ事務費等ニ對シマシテ助成ヲ致シテ行クノデアリマス、配當ガ出來ル出來ヌト云フ問題トハ關係ゴザイマセヌ

○松浦(伊)委員 配當保證ト云フコトハナイノデゴザイマスカ

○周東政府委員 配當保證ハゴザイマセヌ

更ニ御尋ネ申上ゲタイ、中央ニ耕地協會ト云フノガゴザイマス、隨テ地方ニモ耕地協會ト云フノガゴザイマス、此ノ耕地協會ガ地方デ事業ヲヤル際ニハ、大抵寄附金ヲ要求スル、其ノ寄附金タルヤ相當ノ多格金額デアリマス、其ノ地方耕地協會ノ事業ガ一體ドレダケノ役ニ立ツテ居ルカ、斯様ナコトヲ申上ゲテ相濟ミマセヌガ、中央ノ耕地協會ノ如キハ養老院ノ如キ有様デ、如何ナル機能ヲ發揮シテ居ルカ、一向解センノデアアル、又地方ニ於テモ其ノ耕地協會ノ寄附金ヲ集メテ、其ノ用途タルヤ何モ地方ニ效果ヲ齎シテ居ラヌト思フ、私モ用排水幹線改良事業ニ關係シテ居ル者デアリマスガ、私ダケ特ニ入會セヌ、入會シタラ寄附金ガ要ル、課税ニ等シイ所ノ徵收ヲ受ケル、相當大事業デアリマスカラ、何千圓ト云フ寄附金ヲ取ラレルノデアリマス、今ヤ新體制下デアリマス、惡イ感心セヌ協會ヤ組合ナドハ革新シテ行カナケレバナラス、政府ハ監督權ノ發動ヲ以テ、此ノ無用ナル耕地協會ヲ解散スル意思ガアルカナイカ、如何ニ政府ガ辯明シテモ、耕地協會ノ事業振ハ私能ク了承シテ居リマス、其ノ存在ヲ私ハ認メヌノデス、其ノ費用ノ用途ヲ細カク申上ゲマス、又色々其ノ人ニ觸ツテ參リマスルカラ、私ハ申サヌ、此ノ點ニ付テ如何様ノ御所見ヲ持ツテ居リマスカ

○周東政府委員 今日ノ時代ニ即シマシテ、各種ノ農業團體ト云フモノニ付テ、其ノ存在ノ意義ナリ、事業ノ内容等ニ付テ再検討ヲ加ヘル必要ガアルト云フ御意見ノヤウニ伺ヒマス、御尤モノ御意見デアリマス、曩

○松浦(伊)委員 將來御善處ナサル方針ニ付テハ結構デアリマスガ、農地開發營團ハ大事業ヲ致シマスガ、此ノ農地開發營團ニ對シテ耕地協會ハ相變ラズ寄附金ヲ要求スル積リデアアルカ、御所見ヲ承リタイ

○岸政府委員 農地開發營團ト耕地協會トノ關係デゴザイマスケレドモ、是ハ別段關係モゴザイマセヌ、只今ノヤウナ點ハ私共考ヘテ居リマセヌ

○松浦(伊)委員 考ヘハアリマセヌト言ハレルガ、政府ガ事業ヲヤラシマスノデ其ノ用途ヲ一々調ベナケレバナラス、監督權ノ發動ヲ以テ所謂詳細ニ調査スルノニ、開發營團ガ假ニ耕地協會ニ向ツテ何万圓、何十萬圓ノ金ヲ寄附スルトシタラ、アナタ方考ヘテ居ラヌデハナイ、考ヘザルヲ得ナイデアリマセヌカ、耕地協會ト云フ存在ガ必要ナラバ、アナタ方ハソレヲ認メテ宜シイ、考ヘテ居ナイト云フコトハ奇怪千萬デアアル、重大問題デアリマス

○周東政府委員 此ノ耕地協會ハ御案内ノヤウニ、從來ハ地方ノ耕地協會ノ促進發達ヲ圖ル目的ノ爲ニ出來テ居ル團體デアリマスケレドモ、此ノ度ノ開發營團ノ事業ヲ遂行シテ行キマス場合ニ於テ、ドウ云フ風ナ形デ、ドウ云フ風ニシテヤツテ行クカト云フコトニ付キマシテハ、御話ノ點ハ十分考

○周東政府委員 今日ノ時代ニ即シマシテ、各種ノ農業團體ト云フモノニ付テ、其ノ存在ノ意義ナリ、事業ノ内容等ニ付テ再検討ヲ加ヘル必要ガアルト云フ御意見ノヤウニ伺ヒマス、御尤モノ御意見デアリマス、曩

○松浦(伊)委員 將來御善處ナサル方針ニ付テハ結構デアリマスガ、農地開發營團ハ大事業ヲ致シマスガ、此ノ農地開發營團ニ對シテ耕地協會ハ相變ラズ寄附金ヲ要求スル積リデアアルカ、御所見ヲ承リタイ

慮致シマシテ、餘計ナ寄附金ヲ取ツタリ、或ハソレガ爲ニ事業ノ本來ノ遂行ニ支障ニナルヤウナコトハサセテ行カナイ積リデアリマス、營團ノ仕事ノ運用ニ付キマシテハ政府ハ十分監督致シテ居リマスシ、更ニ從來ノ儘ノ有リ來リノ姿デ此ノ事業ヲ遂行シヤウト思ツテ居リマセヌ、新シイ體制ニ即應シテ、目的ノ達成ノシ易イヤウニ運行シテ行ク積リデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○松浦(伊)委員 ドウカ左様ニ所謂新體制ノ時代デゴザイマスカラ、舊ニ囚ハレズシテ、悪イコトハドンノ御革新戴イテ、中間搾取ノ如キ、養老院ノ如キモノハ整理ヲ御斷行願ヒタイノデアリマス、終リニモウ一ツ増産ニ關聯致シマシテ、本法案トハ掛離レテ居ルデモナイヤウデスカラ、一ツ御許シテ願ヒタイと思ヒマス、藁ノ問題デアリマスガ、藁ハ目下ノ公定價格デ髓カ七圓トナツテ居ルト思ヒマス、藁ノ用途ハ自給肥料ニモ使フノデアリマスガ、場所ニ依リマシテハ唯一ノ資材トシテ吹ヲ製造致シテ居ルノデアリマス、目下政府ガ肥料ノ不足ノ關係上、出來得ル限り藁ノ價格ヲ低ク致シテ、之ヲ肥料ニ還元シヨウト云フ方針ニ付テハ同感デアリマス、唯憂フルコトハ近來麻袋ガ輸入サレマセヌ關係上、吹ヲ利用スルコトガ相當ニ多イノデアリマス、其ノ吹ガ七圓藁價格ヲ以テハ所定ノ生産數量ヲ得ラレヌ、目的ノ生産數量ヲ確保スルニハ原料藁ノ直段ヲ引上ゲヌト出荷ハアリマセヌ、昨年アタリノ藁ノ取引値段ヲ見マスルノニ、大體十四、五圓カラ十七、八圓マデノ價格デ商内ガ出來テ居ルノデアリマス、其ノ原料ヲ使ヒマシテモ、吹ヲ生産シテ立派ニ引合フノデアリマス、

其原料タル藁値段ガ安イ爲ニ集荷出來ナイモノデアリマスカラ、吹ノ生産ガ豫定ノ如ク數量ヲ得ラレナイノデアリマス、仍テ吹ヲ製造副業トシテ居ル農民ハ遂ニ今日デハ止ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、一方ニ於テ麻袋ノ輸入ガナイ爲ニ、其ノ容器ニ困ツテ居ルヤウナ状態モ見エルノデアリマスガ、斯ウ云フモノハ其ノ必要ニ應ジテ、今日ノ七圓ノ藁ヲ以テ吹ヲ製造スルナラバ利潤ハ相當多イ、併シ原料ガ得ラレナイナラバ、其ノ吹ノ製造ハ困難デアリマス、能ク御調査戴キマシテ所定ノ目的ノ吹ガ製造出來ルヤウニ、特ニ御配慮願ヒタイと思ヒマス

更ニモウ一點藁會ノ技術員デアリマスガ、今議會ニ於テ各方面カラ政府ニ向ツテ質問シ御答辯ヲ得テ居ルノデアリマスガ、私モ村農會ノ會長ヲ致シテ居リマスノデ實情ヲ知ツテ居リマスカラ、私ノ方ノ例ヲ申上ゲマスト、一昨年末村農會ノ技術員ガ病氣デ退職致シタノデアリマスガ、爾來技術員ヲ何處カラカ入レタイ積リデ色々調査致シマシタ所、ドウモ技術員ヲ得ラレナイ、強ヒテスルナラバ他町村農會ニ居ル技術員ヲ取ツテ來ナケレバナラヌ、サウスルト假令適任ノ技術員デアツテモ、六十圓ノ給料ヲ取ツテ居ルナラバ、八十圓ニ待遇改善ヲスルコトヲ以テ招聘シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、サウスルト私共ノ村ニナクテ困ルカラ、次ノ村ノモノヲ取ツニ來レバ、其ノ村ガ困ル、斯様ニ考ヘテ私ハ今ニ技術員ナシデ農會ノ指導ニ當ツテ居ルノデアリマスガ、技術員ノナイ村ハ相當ニ數多イト思ヒマス、隨テ一方ニ於テハ技術員ガ居リ、一方ニ於テハ技術員ガナイト云フコトニナルノデアリマス、斯様ナ技術員ノ拂底致シ

マシタ場合ハ、從來ノヤウニ一人一箇村ニ駐在セシメズ、二箇村、三箇村ニ駐在セシメテ増産其ノ他ノ指導ニ當ラシメルコトニスル、是ガ最モ宜イノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 藁ノ價格ノ問題ニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、現在藁ニ付テハ左様ナ地方的ナ特殊ナ事情モアルト存ジマス、府縣等ニ於テ藁ノ配給計畫ヲ立テテ統制サレバ、其ノ間ニ特別ナ價格ノ定メ方ヲスルコトヲ認メテ居リマスカラ、能ク實際ノ問題ニ付テ連絡致シマシテ研究致シタイト思ヒマス、ソレカラ農會ノ技術員ノ問題ニ付テハ御話ノ通りノ實情ダラウト思ヒマス、此ノ度政府ニ於キマシテハ人數ノ増加致スコトニ付テ當初豫算ヲ組ンデ居リマシタガ、更ニ最近皆様ノ御協賛ニ依リマシテ、或ル程度ノ増加モ出來ルヤウニナツテ居リマス、更ニ技術員方面ダケデハナク人が足ラス時デアリマスカラ、技術員ノ數ヲ揃ヘルコトモ中々困難ナ事情モアルト思ヒマスカラ、ソレ等ニ付テハ更ニ篤農家等ヲ囑託致シマシテ、ソレ等ノ指導ニ協力セシメタイト考ヘテ居リマシテ、是等ニ關スル施設モ只今研究中デアリマシテ、ソレ等ノ研究ガ出來マスレバ十分満足トハ行キマセヌデモ、御話ノ點ハ補ヘルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○松浦(伊)委員 私人質問ハ大體終リマシタ、農林大臣ニ對スル質問ハ殘シテ置キマス

○村上委員長 成島君

○成島委員 此ノ計畫ヲ實行スルニハ勞力ガ根本デアルト思フノデアリマス、今日勞力ハ各方面デ不足ヲ叫バレテ居ル現狀デア

リマスルノデ、果シテ政府ノ計畫通り此ノ仕事ガ實行出來ルヤト云フコトニ對シマシテ、私ハ多大ノ疑問ヲ持ツ者デアリマス、先般本會議ノ席上デ、釘本君ノ勞力ノ質問ニ對シマスル農林大臣ノ御答ヘハ、ドウモハツキリセヌノデアアル、デアリマスカラ、此ノ大キナ仕事ヲヤルノニハドノ位ノ勞力ヲ用意シテ、而モ其ノ勞力ヲ集メル爲ニハドシナ計畫ガアリマスルカ、先ヅ第一番ニソレヲ承リタイノデアリマス

○岸政府委員 勞力ノ問題ハ、農地開發事業ヲ遂行スル上ニ於テ非常ニ大切ナ問題デアリマス、又實際ニ於テ非常ニ苦心ヲ要スル問題ダト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ意味合デ、私共モ此ノ計畫ノ實施ニ當リマシテハ調査研究ヲ致シマシテ、サウシテ大體見透シヲ付ケテ實行ニ掛ル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、只今御尋ネノ所要ノ勞務者ノ數デゴザイマスガ、是ハ現在ノ狀態ガ其ノ儘行クト假定致シマスレバ、自給強化施設ヲヤル爲ニ、十六年度ニ於テ延人員約二千三百萬人程ノ人が要ル譯デアリマス、唯耕地ノ改良等ガ行ハレテ參リマシテ、其ノ耕地ニ働ク所ノ勞働員數ヲ節約出來ルト云フ點ガアリマスルノデ、此ノ數ハ二千二百萬人位ニ節約出來ルノデハナイカ、私共ハ斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、其ノ外本年度ニ於テハ米穀増産、或ハ臨時桑園改田トカ、或ハ桑園ノ整理トカ、斯ウ云ツタヤウナ仕事等ニモ相當人數ガ要ルノデアリマス、彼此レ合セマスト本年ノ所要人數ト云フモノハ、六千九百萬人位ニ相成ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、唯此ノ中ニ桑園整理等ニ付キマシテハ、多分ニ勤勞奉仕的ノ仕事トシテ處置出來ルモ

ノモゴザイマスルノデ、果シテ此ノ延人數
 デ掛ルノガ適當デアアルカト云フコトハ、尙
 ホ檢討ヲ要スルト思ヒマスガ、一應サウ云
 フ概定ガ出來ルト思フノデアリマス、緒テ
 此ノ仕事ヲ月別ニ檢討シテ見マス、季節
 的ニ非常ナ違ヒガアリ得ル譯デアリマス、
 殊ニ自給強化ノ仕事ノ内容ヲ檢討シテ見
 マスルト、是ハ無論地方々々ニ依ツテ違ヒマ
 スルガ、普通大部分ノ地方ニ於テハ、多ク
 ノ仕事ハ秋季末カラ冬季ニ掛ケテ之ヲヤリ
 得ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ意味合
 カラ言ヒマス、其處ニ餘力ガ出テ來ルト
 思フノデアリマスガ、其ノ事業分量ヲ一年
 中ニ平均シテ考ヘテ見マスルト、普通農業
 方面ノ非常ニ忙ガシイ六月等ニ振當テ豫
 定ノモノハ、大體一年分量ノ二割弱、一割
 九分位ノ程度ニシカ相成ラヌト思ツテ居リ
 マス、是ガ十月、十一月ニナリマスルト年
 分量ノ一割ヲ超エ、更ニ一割五分位ノ程度
 ニマデアル、斯ウ云フヤウナ計畫デ考ヘテ
 居ル譯デアリマス、隨テ特殊ナ所ヲ除イテ
 ハ、冬季ノ普通勞力ノ餘ツテ居ル時ニ仕事
 ヲ集中スル、是ハ從來ノ農林土木ノ仕事ノ
 施行モ、略サウ云フヤウナ關係ニ立ツテ居
 ルト思ツテ居リマス、サウ云フヤウナ着眼
 デヤツテ行カウト考ヘテ居リマス、尙ホ斯
 ウ云フヤウナモノヲ地方別ニ私共ハ檢討シ
 テ居ルノデアリマス、固ヨリ特殊ノ地域ヲ
 選ビマスレバ、勞力ノ關係ニ於テ非常ニ特
 異性ヲ示シテ居ル所モアルト思ヒマス、大
 工業ノ發達シタ其ノ周圍ノ土地ト云フヤウ
 ナ點ニ付テハ、是ハ特殊ノ考慮ヲシナケレ
 バ或ハ出來ナイカモ知レマセヌ、併シ普通
 ノ農村デ考ヘタナラバ、施策ノヤリ方ニ依
 ツテ十分ヤリ得ルノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘ

マス、十六年度ノ仕事ニ付テ之ヲ各地方別
 ニ考ヘテ見マス、現在ノ農家戸數ノ點カ
 ラ考ヘテ見マシテ、又其處ニ利用シ得ル所
 ノ勞力ヲ豫想シテ居リマス、是等ノ點ヲ考
 ヘテ見マスルト、全國的ニ行キマスレバ、
 延人員ニシテ其ノ利用出來ル勞力ノ二分弱
 一・八%位ニシカ當ツテナイト思ツテ居リ
 マス、例ヘバ開墾等ガ多イヤウナ地方デハ
 多少此ノ點モ違ツテ參リマスガ、大體其ノ
 位ノ程度デアリマスガ故ニ、此ノ勞力ノ調
 達ニ付テハ十分方法ガ付キ得ルモノデア
 ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス
 ○成島委員 色々ノ事業ニ六千九百万人ノ
 勞力ヲ有效ニ利用スル爲ニハ、非常ナ努力
 ヲ要スルト思フノデアリマス、而モ農村ニ
 ハ在來カラノ繼續サレタ仕事ガ澤山殘ツテ
 居リマス、開墾ノ事業トカ、災害復舊事業
 ト云フモノガ澤山アルノデアリマス、サウ
 云フモノトカチ合ツテ、此ノ事業ノ計畫ガ
 圓滿ニ行カナイコトヲ私ハ惧レルノデアリ
 マス、其ノ際勞力ノカチ合ヒガ出來テ、此
 ノ事業ガ進マナイ、兩方ノ事業ガ圓滿ニ行
 カナイ、斯ウ云フ結果ガ生レハセヌカト思
 フノデアリマス、ダカラ只今勞力ノ動員ハ
 差支ナイト云フ御話デアリマシタケレド
 モ、私ハ尙ホ其ノ點ガ非常ニ心配デス、ド
 ウモ今ノ御答辯デハハツキリシナイノデア
 リマス、サウ云フ關係ニ付テ今一應御説明
 願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 少シク言葉ガ足りナカツタ
 ノデアリマスガ、只今申上ゲマシタ季節的
 ノ分布ノ状態、或ハ農家ニ於ケル總勞働力
 ニ對スル割合等ハ、季節ノ仕事デアリマス
 早害對策ノ土木事業デアルトカ、或ハ桑園
 整理トカ云フモノヲ一應括メテノ計算デア
 リマス、自給強化施設ガケナラバ二千二百
 万人、約三分ノ一ノ程度ニナル譯デアリマ
 ス、隨ヒマシテ「パーセント」ニシマスレバ
 ○六%位ノ程度ニ落チテ來ル譯デアリマ
 ス、私共ハサウ云フ意味合ニ於テ、現在非
 常ニ困難性ハアツテモ、其ノ位ノモノハ考
 へ得ル、斯ウ云フヤウニ存ジテ居リマス
 ○成島委員 サウスルト開墾ノ季節ノ仕事
 ニハ二千二百万人ヲ要スル、一方ノ季節デ
 ナイ事業ヲ總テ入レテ加算シタモノガ六千
 九百万人ダト云フコトニナルト、農家一戸
 當リニスレバ二分ト云フコトデアルガ、サ
 ウスルト此ノ計畫ハ政府ニ於テ豫定ノ通り
 進ム、斯ウ云フ考ヘデスカ
 ○岸政府委員 二分ト申シマシタノハ、農
 家ニ於ケル所ノ利用シ得ル人數、ソレニ對
 シテ二分デアリマス、調べニ依リマスト大
 體二十九億位ノ延人數ニナツテ居リマス
 ○坪山委員 關聯シテ一寸質問ヲ——今成
 島君カラ勞力ノ問題ノ質問ガアリマシタ、
 全く此ノ法案ニ一番關聯ノアル問題ハ勞力
 ノ問題デアルト思ヒマス、私ハ此ノ農林當局
 ノ認識ト吾々實際ニ居ル者ト、勞力ノ問題
 ニ餘程認識ノ程度ガ違フノデハナイカト思
 フノデス、吾々毎日農業ニ實際從事致シテ
 居ル者ハ多少ノ忙シイ時ヤ、閑ナ時ハアリ
 マセウケレドモ、決シテ冬ノ時分デアツテ
 モ遊ンデハ居ラナイ、堆肥ノ原料タル木ノ
 葉ヲ取ルトカ、或ハ薪炭ヲ取ル、或ハ米麥
 ヲ入レル俵ヲ其ノ時分ニ調製シテ置クト
 カ、或ハ藁ヲ編ムトカ、決シテサウ云フ當
 局ガ見ルヤウナ勞力ノ餘リハナイト思ヒマ
 ス、現ニ色々ノ工事ヲ施行サレテ居リマス
 ルガ、勞力不足ノ爲ニ期間通りニハ出來ナ
 イ、或ハ中止ノ憂目ニ遇ツテ居ル所ガ相

當處々ニアルノデアリマス、茲ニ認識ノ相
 違ノ點ガアルノデハナカラウカト思フノ
 デアリマスガ、之ニ對シテノ御考ヘヲ伺ヒ
 タイ
 ○岸政府委員 只今農村ニ於ケル勞力ノ過
 不足ニ付テ、政府トノ間ニ認識ノ相違ガア
 ルノデハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマ
 ス、是モ一應見ヤウニ依ツテ色々見エルダ
 ラウト思ヒマスガ、勿論農村ニ於テ色々仕
 事モアルト思ヒマス、併シ此ノ仕事ヲヤル
 場合ニ於テ、或ハ現在ヤツテ居ル仕事ヲ共
 同化スルトカ、或ハ共同シテ作業スル所
 ヲ作ツテヤルトカ、色々ヤリ方ヲ變ヘテ行
 キマスルナラバ、其處ニ只今申シマシタヤ
 ウナ程度ノ延人員ヲ生ミ出スト云フコトハ
 左程困難デナイト思ハレマスノハ、分村ヲ
 ヤリマシタ地方ニ於テ相當戸數ノ減ツタ所
 ニ於テモ、從來同様ノ仕事モ出來テ行ク、
 又過般青年義勇軍等ガ動イテヤツテ呉レタ
 地方ノ場合ニ於キマシテモ、今マデ全クナ
 イダラウト思ハレタ所カラ相當ノ力ヲ生ミ
 出シテ來テ居ル、斯ウ云フヤウナ點ヲ考ヘ
 マスルト、ソコニ勞力調整ノ方ノ仕事ト伴
 ツテヤツテ參リマスレバ、此ノ位ノ延人員
 ノコトハ出來得ルデハナカラウカ、斯ウ云
 フ見解ヲ持ツテ居ルノデアリマス
 ○坪山委員 是ハオ五ヒニ見解ノ相違ニナ
 リマスガ、併シ吾々實際ニ當ツテ居ル者ノ
 實情カラ見レバ、政府ノ見方トハ餘程違フ
 ト思フノデス、併シ關聯シタ質問デスカラ
 他ノ機會ニ讓リマシテ、ソレダケヲ此ノ機
 會ニハツキリ申上ゲテ置キマス
 ○渡邊委員 關聯シテ一ツ——利用シ得
 ル勞力ト云フノハ二分幾ラト云ハレマシ
 タケレドモ、利用シ得ルト云フノハドン

ナ意味ヲ言フノデスカ

○岸政府委員 利用シ得ルト云フ言葉ヲ或ハ使ツタトスレバ、誤解ヲ惹起シタ譯デスガ、農家戸數ガゴザイマシテ、其ノ中デ農業労働ニ従事シテ居ル人數、ソレヲ農業ニ利用シ得ル努力ト考ヘテ、其ノ調査ガアルノデゴザイマス、ソレガ先程申シマシタ三十九億ニナツテ居リマス、其ノ一部ヲ使ツテ行クトスルナラバ、只今ノ二分弱デゴザイマス、デアリマスカラ其ノ位ノ繰出シト云フモノハ出來得ルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是等ハ餘剩ノ労働其ノ他ニ於テ調査シマシテ、只今坪山委員カラ御尋ネノヤウナ點モ勿論考ヘテ見テ、差繰スレバ融通ノ付クモノデアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○成島委員 今ノ御話ノ二分弱、又一戸當リニシタラドウダト云フ先程御話ガアリマシタガ、先程坪山君カラモ質疑ガアリマシタ通り、ドウモサウ云フ風ナ表ヲ集メテ、政府デハ表ノ上デ御計畫ナサツテ居リマスルガ、其ノ計畫ガ實行出來ルヤ、例ヘバ一戸當リ何人何分ノ努力ガアル、ソレカラ何月ハドウ云フ風デ何月ハドウ云フ風ダト云フ御調査ヲナサツテ居リマセウケレドモ、其ノ餘剩努力ガ如何様ニ分配サレ居ルカ、其ノ餘ツタ努力ガ開墾ニ向ケラレテ居ルトカ、炭焼ニ行ツテ居ルトカ、又外ノ労働ニ行ツテ居ルトカ云フヤウナ、サウ云フ調査ヲナサツテ居ラレマセウカ、一寸ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今ノ御尋ネノ農家ノ努力ガ農業労働以外ニドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、此處ニ私資料ヲ持ツテ居リマセウガ、炭焼ノ方ニ出テ

居ル人數ニ付テハ、マア炭焼ニ於テハ專門デヤツテ居ル者モアリマセウシ、ソレカラ副業デヤツテ居ル者モアリマセウカラ、專門デヤツテ居ル者ニ付テハ農業労働ノ關係ハナカラウト思ツテ居リマス、併シ副業デヤツテ居ル者ニ付テモ、農業自體ニ使ツテ居リマスル所ノ努力カラ見レバ極ク量ノ少イモノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ炭焼ヲ主トシテ秋口カラ冬閉期ニヤラレルトスルナラバ、現在ノ努力ノ状態カラ見マスルト、多少ノ者ガ其ノ方ニ出テモ、此ノ仕事ニ關係ノアル影響ヲ及ボスト云フ程度ニハナラヌノデハナイカ、斯ウ云フ見方ヲ致シテ居リマス

○成島委員 農業努力以外ニ分散サレテ居ル農家ノ持ツ努力ヲ眞剣ニ調査シテ、出來ルダケノ力ヲ此ノ方面ニ向ケルコトニシマセスト、私ハ此ノ仕事ノ計畫ハ中々困難ダト思フノデアリマス、現在農民ノ氣持ハ鉞ヲ大地ニ打込ムコトガ農民ノ生命デアリナガラ、其ノ氣分ニ於テハ甚ダ憂フベキモノガ多イト私共思フ、農民ノ臣道實踐ハ鉞ヲ大地ニ打込ムコトダト云フ氣持ニナツテ居レバ宜イノデアリマスガ、ドウモソレ等ノコトニ付テ私ハ非常ニ心配ニ堪ヘナイ、是ハ先般農林大臣ノ官舎デモ井野次官ニ言ツタコトガアル、ナニ差支ヘナイト云フヤウナコトヲ言ツテ居ラレマシタガ、私ハサウ云フ氣分ガ農民ノ間ニ漲ルト言ツテハ語弊ガアリマスガ、アルノデアリマスカラ、之ヲドウシテモ徹底的ニ叩キ直サナケレバナラヌ、農民道ヲ作興シテ、本當ニ吾々ノ臣道實踐ハ鉞ヲ大地ニ打込ムコトダト云フコトニ持ツテ行キマス、本事業ノ計畫モ豫定ノ通り或ハ進ムカモ知レマセウケレ

ドモ、今日ノ農民ノ氣分ヲ今少シク叩キ直サナイト、中々困難ノ問題ガ起ルデハナイカト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ或ル所ニ於テ一ツノ開田事業ナリ開畑事業ナリ行フノデ、非常ナ努力ヲ要スルト云フ場合ニ於テモ、農民ノ氣持ニ於テ、ドウモ米ヲ作ルコトニ付テハ、餘リ心ヲ寄せナイト云フ風ニナリマスルト、此ノ仕事ノ成功ハ困難ニナツテ來ルノデアリマスルカラ、此處デ色々先般來、増産ノ問題ノ話ガアリマシタ通り、肥料トカ價格トカ云フ問題ハ政府デ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、ソレ以外ニドウシテモ農民ノ精神ヲ、本當ニ鉞ヲ持ツテ思フノデアリマス、サウ云フコトニ依ツテ、此ノ努力不足ト云フモノモ多少緩和サレテ來ルノデヤナイカト思フノデアリマスルガ、ソレ等ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスルカ、現時ニ於テ唯此ノ數字ノミデ行ツタノデハ、中々此ノ仕事ノ遂行ハ難カシイト思フノデアリマス、サウ云フ方面モ併セテヤツテ、サウシテ本當ニ農民ノ氣持ヲ引出サナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等ニ付テ御考ヘラ承ツテ置キタイ

○岸政府委員 此ノ仕事ヲ遂行スル上ニ於テ、農民ノ精神ノ昂揚ト云フコトヲ考ヘテ、本當ニ農民自身ガ進ンデ鉞ヲ大地ニ打込ムト云フヤウナ意氣込デヤルノデナケレバ中困難デハナイカ、サウ云フコトヲ是非考ヘナケレバナラヌガ、ソレニ對シテ何カ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマスガ、無論御話ノ通りデアリマシテ、私共ハ現在ニ於テ、色々ナコトヲ言ハレテ居リマスケレドモ、農民ハ本當ノ肚ノ底ニ於テハ、私

サウ云フ點ガ鬱勃トシテアルノダ、唯サウ云フヤウナ機會ガ與ヘラレテ居ラナイト云フコトガ多クツタノダラウト思ヒマス、昨年ノ秋農林省ニ於テ増産推進隊ト云フ名前ノ下ニ、内原ニ一萬五千ノ人ヲ各町村カラ集メテ訓練ヲヤリマシタガ、其ノ時ノ色色ナ體驗ニ依リマスルト、洵ニ御話ノヤウニ、或ル所ニ行ツテヤツテ居ル勤勞作業ニ於テハ、其ノ地方カラ來テ居ル人ガ吾々ガ今ヤツテ居ル三倍以上ノ働キヲシテ居ルト云フコトヲ言ツテ居ル位デアリマス、ヤリ方如何ニ依ツテサウ云フ能力ガ昂揚サレテ來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ種ノ精神昂揚ノ問題ニ付テハ、或ハ技術動員ノ機會ニ於キマシテモ勿論ヤリマスルシ、又農業報國聯盟ノ關係ニ於テモ、各方面ノ人ヲ煩ハシテヤツテ戴クコトヲ考ヘテ居リマス、又來年度モ豫算ノ御協賛ヲ得マスルナラバ、引續イテ農業推進隊ノ訓練ヲヤルト云フ計畫デ進ンデ居リマス、斯ウ云フヤウナモノヲ通ジテ極力ヤツテ行ク、其ノ間ニ處シテハ、無論指導者自身モ其ノ精神ヲシツカリ叩キ直シテヤルト云フ位ノ意氣込デ、指導ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、又是等ノ力ヲ實際ニ使フ方法ト致シマシテハ、此ノ計畫ニ伴フ所ノ努力ノ調整ノ一方法トシテ、今マデ豫算ノ取レテ居リマスル移動労働班ノ編成ヲ今少シク效果のニヤル、又内原ニゴザイマスル所ノ義勇軍、或ハ學生義勇軍ト云フ名前ノ付イテ居ル學生ノ運動ト云フヤウナモノモ組織化シマシテ、或ハソレガ一ツノ中核推進力ニナツテ、サウシテ先程御話申上ゲマシタ地方ノ力ヲ引出シテ行クト云フヤウナ計畫ヲ一方ニ持ツテ進ンデ行キタイ、斯ウ云フ風

ニ考ヘテ居リマス

○成島委員 農業推進隊ノアノ素晴シイ行動ニ付キマシテハ、吾々ハ目前ニソレヲ見マシテ、實ニ其ノ訓練ノ徹底シテ居ルノニ驚イテ居ルノデアリマスガ、アレハ一万五千人デアリマシテ、一町村ニ割ツテ見マスレバ一人カ二人、是等ノ人々ガ村ナリ、町ナリヘ歸ツテ、十人、二十人、三十人ト推進隊ノ同志ヲ集メテ活動シテ居リマスケレドモ、是ガ急速ニ徹底スルコトハ中々困難デアリマス、日本ノ現狀ハ明日ノ米、明後日ノ麥ヲ要スルノデアリマスカラ、徹底的ニ是等ノ農民精神ヲ昂揚サレル必要ガアルノデアリマス、アア云フ仕事ハ今少シク計畫ヲ立テテ徹底的ニオヤリニナルコトガ、本計畫ノ遂行ニモ非常ニ役立つと思フノデアリマス、先程來色々御説明ガアリマシタガ、私ハ別ニ本法案ニ反對スルモノデハナイ、食糧自給強化ノ施設トシテ洵ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、唯机上ノ空論ニ終ツテハ何モナラナイ、實際ニ於テ戰時下ノ食糧自給強化ノ施設トシテ役ニ立ツヤウニ、計畫ノ成就スルヤウニ念願スルガ故ニ、私ハ此ノ問題ニ付テ御尋ネスル譯デアリマス、色々御話ガアリマシタガ、兎モ角モ此ノ根本ハ努力デアアル、是ノアルナシ、政府ノ方デハアル、コチラデハ疑問デアアルト云ツテ色々問答シテ居リマスレバ、ソレマデデアリマスケレドモ、究極ノ目的ヲ達スルニハ、努力ヲ動員シ、サウシテ農民各、自己ノ立場ニ歸ツテ、本當ニ農民道ニ精進スルト云フコトニ行カナケレバ、此ノ計畫ヲ進メルコトハ出來ナイと思フノデアリマス、此ノ計畫ヲ實行スル爲ニハ、先程ノ農家ガ何戸アツテ、努力ガ何人餘ツテドウダト云

フコトヨリモ、自ラ進ンデ此ノ仕事ニ協力出來得ルヤウニ、農民ノ精神ヲ作興サセルコトガ、ドウシテモ重大問題デアルト思フノデアリマス、此ノ問題ニ付テハ、大臣ニモ何レ御伺ヒシタイト思フノデアリマスケレドモ、今少シク何かソレニ付テ農村文化協會ナドト連絡ヲ執ツテ、具體的ニヤル腹案デモアリマスケレバ承リタイト思ヒマス

○岸政府委員 労働問題ト同時ニ、労働能率ヲ進メル爲ニハ、農民精神ヲ昂揚スルヤウナ方法ヲ具體的ニ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フヤウナ御話デゴザイマスガ、先程申上ゲマシタ技術動員ヲ通ジテノ御話、或ハ推進隊ノ訓練ヲ更ニヤルト云ツタヤウナコトハ、無論其ノ一ツノ現ハレデアリマス、其ノ外學生ノ労働等ニ付テハ、文部省トモ連絡致シマシテ、本年ハ一箇月程休暇ヲ餘計ニシテ、サウシテ他ノ休暇ト併セテ各種ノ勤務奉仕ヲスル、特ニソレヲ農林方面ニ付テ計畫的ニ使フト云フコトデ、學生ノ訓練等ト同時ニ、農業ヘノ利用ヲ考ヘテ居リマス、尙ホ是等ノ精神ヲ普及スル爲ニ、出來ルナラバ農村ニ對スル文化方面カラ、或ハ活動寫眞、「トーキー」ノヤウナモノヲ與ヘテヤルトカ、或ハ豫算トハ關係ゴザイマセヌガ、出來ルナラバ「ラヂオ」等ノ設置ヲ普及サセルヤウナ方策ニ付テ考ヘテ行キタイ、ソレヲ通ジテ常ニ氣持ヲ地方ニ傳ヘ、増産ノ必要デアルヤウナコトニ付テ全農民ニ懇ヘルヤウナ方法ヲ採リ、共々ニ協力シテ貰フト云ツタ方面ニ相努メタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○成島委員 サウスルト政府ノ御考ヘデハ、努力ノ問題ニ付テハ所謂餘剩努力ハ勿論ダシ、又精神的訓練モ與ヘテ、此ノ事業ノ計畫ニ支障ナイヤウニスル、斯ウ云フヤウナ話ニ私ハ受取レルノデアリマスケレドモ、何ニシテモ唯現狀ノ儘デ置キマシテハ、農業労働力ノ不足シテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、サウ云フ場合デアリマスケラ、政府ガ差支ヘナク此ノ事業ヲ遂行スルト云ツテモ、中々ソコニ亦障碍モ起ツテ來ルト思フノデアリマスガ、お互ニ唯出來ル出來ルコト云フコトデナク、本當ニ此ノ計畫ハ斯ウ云フ計畫デアアル、昨日政府ヨリ資料ヲ戴キマシタアノ計畫ニ依ツテサウシテ何年ニ是ダケノ努力ヲ要スル、何年ニハ是ダケノ努力ヲ要スル、而モソレヲ斯ウ云フ方法デ行ク、農家ノ努力ヲ一戸ニ割ツテ行ケバ是ダケダト云フコトニ依ツテ行クノダ、決シテ農業ニ支障ハ來サナイノダト云フコトガ出來テ居リマスケレバ承知シタイノデアリマス

○岸政府委員 勿論十六年度ノ計畫ニ付テハ一應サウ云フ數字ヲ概定致シテ居リマス、併シハ地方々々ノ事情ニ依ツテ色々變ツテ參リマセウト思ヒマスガ、一應ソレニ付テ私共ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、十六年ニ要ル二千二百万人ノ努力ニ付キマシテハ、大體斯ウ云フ風ニ分ケテ考ヘテ居ル譯デアリマス、現在農家ノ努力ニ依ルモノ、ソレカラ畜力等ニ依ルモノ、ソレカラ労働動員ニ依ルモノト云ツタヤウナモノヲ併セ考ヘテ居ル譯デアリマス、農家ノ努力ニ依ルモノト云フノ約一千万ト概定致シテ居リマス、是等ハ大體現在ノ農家戸數ノ三分ノ一、即チ労働ニ従事スルノ約百八十五万戸、此ノモノカラ出ルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ先程申上ゲマシタ繁ノ時期ニ

依ツテ違ヒマスカラ、何處デモ押ナベテ其ノ論ヲサレマスト、夏場等ハ非常ニ忙シイト云フコトニナリマスケレドモ、仕事ノ性質カラ大體冬ノ間ト云フ仕事ガ多イノデアリマスカラ、其ノ事モ考ヘマシテ、先ヅ是ガ出來ルノデハナイカ、サウシテ其ノ一戸ノ労働スル日數ト云フモノヲ約五日半バカリト見テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ一軒デ一人出ル場合モアリ、二人出ル場合モアリマセウ、又一人デ延ベテ五日出ル場合モアリマセウ、サウ云フモノヲ延ベテ五日半ト計算シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ畜力ヲ相當使フ必要ガアリマスノデ、ソレ等ノ方面ニ於テ一應ハ牛ノアル地方デハ牛ヲ使ヒ、馬ノアル地方デハ馬ヲ使フコトヲ考ヘテ居リマスガ、大體其ノ牛馬ニ依ル所ノ力ヲ五百六十八万人程度ニ見テ居ル譯デアリマス、ソレニ從事スル大動物ヲ二十七万五千頭、一頭ハ約七人分ノ力ガアルモノトシテ各般ノ労働ニ從事スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ労働動員、之ヲ六百八十二万人、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、現在色々施設シテ居ル所ノ集團移動、是ハ豫算モ持ツテ居リマス、之ヲ日本中ニ一万五千班ヲ編成シ得ルノデアリマス、之ニ依ツテ餘剩努力ノアル所ノ努力ヲ、忙シイ地方ニ移動サセル、斯ウ云フ風ナ方法モ同時ニ考ヘ得ル、是等ニ付キマシテハ、最近地方ノ主務者ヲ集メマシテ會議ヲ致スコトニ致シテ居リマス、ソレニ依ツテ春耕カラ萬遺憾ナイヤウニヤル、又春引續イテ起ル所ノ農業土木ノ仕事ニ付テ、十分遺憾ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ外先程申上ゲマシタヤウニ、學生生徒ノ勤務ノ奉仕アリ、又一方ニ於テ

考ヘラレテ居ル義勇軍、或ハ地方農民道場ノ生徒等ノ活用ト云フヤウナ點モ考ヘラレマスノデ、此ノ方面ニ於テ相當ノ人數ヲ出スヤウニ考ヘテ居リマス、集團移動ノ方ハ三百七十五万人ヲ之ニ依ツテ得テ、ソレカラ學生生徒青年團ニ於テハ三百七十七方程ヲ獲得シタイ、是ハ現在利用シ得ル所ノ學生、生徒、青年團ト云ツタヤウナモノデ六十四万人程居ル譯デアリマス、其ノモノハ勿論勞力ノ能率カラ云ヘバ、之ヲ普通農家ノ或ハ六割位ヲ見當ニ見テ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスノデ、大體其ノ程度ニ勘定ヲ致シマシテ、一人當リ八日程ノ勞働ヲシテ貰フト云フ計算デ、三百萬人ト云フモノヲ概定シテ居リマス、是等ノ運用ニ依ツテ二千二百萬人ヲ得ルダラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ實際ノ仕事ニ致シマス、地方的ノ事情デ色々違ツテ參リマセウ、新シイ開墾ヲスルト云フ地區等ニ付キマシテハ、初メカラ分村スルヤウナ考ヘノ下ニ工事ヲ始メテ、或ル程度ノ勞力ヲ其ノ地區ニ集中シテ行ツテ、引續イテ働イテ貰フト云フヤウナ考ヘ方モ致シテ居リマス、以上デ大體私共ノ考ヘテ居ル計畫ヲ御説明申上ゲタト思ヒマス

○成島委員 只今ノ説明デ勞力ノ方面ハ大體分リマシタガ、併シ御説明ガアリマシテモ、中々今御説明ノヤウナ順序ニ運ブコトハ困難ナ點ガ多イト思フノデアリマス、此ノ事業ノ遂行ニ當ツテハ、勞力ヲ集メル問題、勞力ニ對スル事業ノ分配ト云フモノガ考ヘラレル、其ノ勞力ノ給源ハ農村ニ於ケル餘剩勞力、青年團、學生ノ勤勞、推進隊ノ奉仕、其ノ他義勇軍ト云フヤウナモノデ、ソレヲ適當ニ織込ンデヤツテ行クモノ

○成島委員 只今ノ説明デ勞力ノ方面ハ大體分リマシタガ、併シ御説明ガアリマシテモ、中々今御説明ノヤウナ順序ニ運ブコトハ困難ナ點ガ多イト思フノデアリマス、此ノ事業ノ遂行ニ當ツテハ、勞力ヲ集メル問題、勞力ニ對スル事業ノ分配ト云フモノガ考ヘラレル、其ノ勞力ノ給源ハ農村ニ於ケル餘剩勞力、青年團、學生ノ勤勞、推進隊ノ奉仕、其ノ他義勇軍ト云フヤウナモノデ、ソレヲ適當ニ織込ンデヤツテ行クモノ

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

○成島委員 是ハ私ハ大臣ニモ一言御尋ネシヨウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、是等ノ人選ニ關シテハ本當ニ「エキスパート」ヲ選擇シテ、此ノ事業ノ運営ニ誤リナキヲ期セラレンコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス

ル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル法人トス」トアリマシテ、是デ愈、法人ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、民法第三十三條ニ依リマス、御承知ノ通り「法人ハ本法其ノ他ノ法律ノ規定ニ依ルニ非サレハ成立スルコトヲ得ス」、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ營團ト云フ新ヲナル特殊ナル法人ハ、即チ此ノ法案ニ依ツテ成立スルコトニナル、而モ條文全部ヲ見テミマスルト、是ハ餘程特別ナ性質ヲ持ツテ居ルヤウニ窺ハレルノデアリマス、私ハ別ニ資料ト致シマシテ農林省關係ノ國策會社ノ名前、目的、設立ノ年月日等ヲ戴イテ一應檢討シテ見タノデアリマスガ、一種ノ國策會社ノ内容ヲ持ツモノデゴザイマスガ、兎ニ角新シイ營團ト云フ名前ヲ付ケラレタ、サウシテ條文ニ依ツテ見ルト、理事長、副理事長、理事、監事、或ハ評議員、斯ウ云フ風ノ役員ガ出來ルコトニナツテ居リマスルガ、全部ソレハ主務大臣ニ於テ任命サレルト云フコトニナツテ居ル、ソコデ國策會社トセズニ營團トサレタノニハ特別ナ理由ガアルカドウカト云フ點、及ビ營團ノ法律上ノ性質ハ私法人カ公法人カ、是等ノ法律の見解ヲ先ヅ伺ヒマシテ、ソコカラ一ツ内容ノ檢討ヲ進メテ參リタイト思ヒマス

○岸政府委員 私ノ御答ヘ申スノデ尙ホ不十分デアレバ、御許シヲ得テ關係ノ者カラ申上ゲテモ宜シイカト思ヒマスガ、一應私ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲマス、農地開發營團、此ノ仕事ニ營團ト名付ケル機關ヲ使フコトニ付キマシテハ、此ノ仕事ガ非常ニ公益性ノ強イト云フコトデ、公共團體ガ取扱フノニ似カ寄ツタ仕事ヲヤルト云フヤウナ意味カラ、普通ノ營利ヲ目的トシ、又營利ヲ目的トスルヤウナ性質ヲ持ツタ會社デナクシテ此ノ仕事ヲヤラセタイト云フノデ、他ノ交通營團トカ、或ハ住宅營團ナドノ例ヲ考ヘマシテ、サウシテ之ヲ用ヒルコトニシタノデアリマス、此ノ法人ハ先程御話ノアリマシヤウニ全ク特殊ノ法人デ、此ノ法律ニ依ツテ立テラレタル一ツノ法人デアルト考ヘテ居リマス、法律的ニ色々議論ヲスレバ或ハ民法上ノ財團トカ、或ハ社團ニ似カ寄ツタモノガアルト思ヒマスルガ、是ハ此ノ法律ニ依ツテ作ラレタモノト斯ウ解シテ、サウ云フ法人デ非常ニ公益性ノ強イモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論此ノ内容ニ付キマシテハ商法上ノ會社デナイト云フコトハ明カデアアルト思ヒマス、斯ウ云フ風ナ非常ニ公益性ノ強イモノニ任セルト云フコトハ、繰返シテ申上ゲマシヤウニ要スルニ此ノ仕事ガ國家ニ代ツテヤル、從來國營ノ仕事デヤツタヤウナモノヲ振興サシテ行クト云フ意味ニ於テ、ソレニ相應シイヤウナ形態ヲ整ヘタイト云フ考ヘカラ、斯ウ云フ形態ノ機關ヲ用ヒタ譯デアリマス、隨ヒマシテ理事長以下ノ役員ノ任命ト云フコトモ、殆ド役人ヲ任命スルト同ジヤウナ考ヘ方デ、又サウ云フヤウナ意味ニ於テ政府モ責任ヲ以テ十分ニ監督ヲシテ行ク、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ居ル譯デアリマス、罰則ノ點ニ於テモ御覽下サイマスルト、外ノ營團ヨリ強クナツテ居ルコトハ營團ノ役員ヲ準公務員的ニ取扱ツテ、ソレノ罰則等モアルヤウナ譯デゴザイマス、サウ云フヤウナ意味デ非常ニ國策的ノモノデアリ、國營事業ヲ遂行スル上ニ相應シイ性質ノモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○石坂(繁)委員 此ノ法律上ノ性質ヲ概念論的ニ私ハ色々穿鑿スル積リハナイノデアリマス、ソレ等ノ點ハ學者ノ攻學上ノ研究題目トシテハナルデアリマセウガ、其ノ邊ハ多ク追究致シマセヌケレドモ、併シ一應是ハ當局ノ御見解ガケハハツキリサセテ戴キタイト思フノデアリマス、詰リ只今ノ御説明ニ依リマシテモ、又其ノ御説明ヲ俟ツマデモナク、此ノ營團ガ特殊ノ法人デアルト云フ點ハ是ハ分ルノデアリマス、サウ致シマシテ多分ニ公益性ヲ持ツモノデアアル、國家ニ代ツテ國家ノ主要ナル食糧確保ノ爲ニ開墾事業等ヲ營ム、斯ウ云フ風ナコトハ能ク分ルノデアリマスガ、當局ノ御見解ハ此ノ營團ナル法人ハ私法人ト云フ見解デアアルカ、公法人ト云フ見解デアアルカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○岸政府委員 公法人、私法人ト云フ細カイ論ハ色々議論ガアルト思ヒマスガ、強ヒテ考ヘマスレバ、此ノ性質カラ言ヒマスレバ公益性ヲ持ツタ私法人ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 其ノ點ニ關シマシテ國家ニ代ツテ法案ガ狙ツテ居ル事業ヲヤル點カラ致シマスルト、寧ロ之ハ公法人ト云フコトニシテシマツタ方ガ適當ダハナカツタカト思フノデアリマスガ、只今ノ當局ノ御見解ハ一應其ノ程度デ承ツテ置クコトニ致シマス

次ハ出資者ノ問題デアリマス、法案第七條ニ依リマスト之ニ出資致シマス者ハ、政府公共團體、帝國國民又ハ帝國法人ニシテ或ル一定要件ヲ備ヘタルモノ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、先日來ノ懇談會ノ席上等ニ於ケル御説明ニ依ツテ伺ヒマス、大體政府ガ資本金ノ半分千五百萬圓ヲ出資致シマスガ、其ノ他ノ出資スベク豫想サレテ居ルモノハ、大體政府ノ方デハ決マツテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ此ノ條文ノ表ニハ帝國國民ト云フノガ出テ居リマスケレドモ、大體當局ノ狙ツテ居ラレル所ハ、個人々々ノ出資者ト云フモノハ期待サレテ居ラスノデハナイカト斯ウ思フノデスガ、其ノ點ハ個人ニモ出資ヲ認メラレルノカ、餘リ好シク居ラレヌノカ、ソコヲ明カニシテ戴キタイ

○岸政府委員 此ノ點ハ懇談會ノ席デ申上ゲマシヤウニ、斯ウ云フヤウナ性質ノモノヲ廣クヤツテモ中々特殊ノコトデナケレバヤレヌト云フコトハ考ヘラレマス、隨ヒマシテ其ノ時モ御説明ヲ申上ゲマシタ通り、此ノ方面ニ關心ノアル勸業銀行、ソレカラ産業組合中央金庫ヲ一應考ヘテ居ル、是デ話ヲ進メテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、他ノモノモ或ル形ニ於テ拒ンデ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、恐ラク私共ハ左様ナ方面ニ期待スルコトモ出來ナカラウ、斯ウ思ツテ居リマス

○石坂(繁)委員 ソコデ此ノ出資者ノ權利義務ト云フ問題デアリマス、此ノ頃ノ時勢ダハ權利義務ト云フコトヲ言フノハ餘リ適當デナイカト思ヒマスガ、一應ソコハヤハリ研究シテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、出資者ノ責任等ニ付キマシテハ法案第十條以下ニ規定致シテアルノデアリマスガ、此ノ出資者ノ權利ト云フヤウナモノハ謳ツタ條文ガ見出サレヌヤウニ思フノデアリマス、出資者ノ權利ト云フヤウナモノハドウ云フコトニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 出資者ノ權利ト致シマシテハ、出資ニ對シマス所ノ利益ノ配當ガゴザイマス、是ハ持分ヲ此ノ法律條文デハ現シテ居リマセヌケレドモ、持分ニ對スル所ノ請求デゴザイマスカ、斯ウ云ツタヤウナモノハアルト思フノデアリマス、後ハ此ノ資金ノ運用ニ付テハ先程申上ガマシタヤウナ形デ理事者ニ任セ、運営ニ支障ノナイヤウニシタイト思ヒマス

○石坂(繁)委員 只今ノ問題ハ第三十七條デ、配當ノ規定ガアルヤウデアリマス、其ノ外ノ持分ノ御説明ガアツタノデアリマスルガ、其ノ持分ノコトデ一ツ御伺ヒシテ置カナケレバナラヌ問題ハ、持分ノ讓渡ヲ認メラレルカドウカ、ヨク會社ナドデハ定款ヲ以テ讓渡ヲ禁止シテアル會社モアル、或ハ又會社ノ承諾ヲ得ルニアラザレバ讓渡ヲスルコトハ出來ナイ、斯フ云フ風ナコトヲ規定シテアルヤウデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマシテモ、持分及ビ持分カラ流レ出ル所ノ出資者ノ利益、斯ウ云フ風ナコトハ認メテアルヤウデアリマス、而モ此ノ戴キマシタ資料ノ中ニ、持分權ノ移轉ノ場合ノ對抗要件等ノ記載ガアルノデアリマス、隨テ此ノ資料ニ依ツテ判斷致シマシテモ、持分ノ讓渡性ハ之ヲ認メテアルヤウニ思フノデアリマス、即チ出資者ガ或ハ買買スル、贈與スル、斯ウ云フ風ナ方法ニ依ル持分ノ讓渡ト云フ風ナモノハ御認メニナルカドウカ、或ハ其ノ場合ニ於テ營團ノ承諾ナクモ、一體サウ云フモノガ讓渡出來ルコトニナルノカドウカ、御伺ヒ致シマス

○岸政府委員 其ノ第十一條デ讓渡ヲ認メテ居ル譯デゴザイマス、此ノ出資者ハ農地開發營團ノ承認ヲ經テ、其ノ持分ヲ讓渡スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマス

○石坂(繁)委員 其ノ點ハ私ノ條文ノ見方ガ疎漏デアリマシタガ、御説明ニ依ツテ分リマシタ、讓渡ヲ認メルト言ハバ結局讓渡ノ原因ハ問ハナイ譯デスネ、ソレカラ第十二條ノ第一項ト第五項ノ關係デアリマスガ、此ノ第十二條ノ規定ハ出資者ガ拂込ヲ怠ツタ場合ニ於ケル規定デアリマシテ、其ノ第一項ニ「出資者ノ持分ヲ處分スルコトヲ得」ト云フ處分ノ規定ガアル、此ノ處分ト云フモノハ、普通ノ株式ナドデアリマスレバ、商法ノ規定ノ手續ヲ履ミマシテ、結局競賣ニ付スルト云フコトニナルノデアリマスガ、ドウ云フ方法デ一體處分サレルノデアリマスカ、ソレヲ御聽キ致シタイ

○岸政府委員 此ノ處分ニ付キマシテハ、競賣等ノ點ガ勿論考ヘラレマスルガ、斯フ云フ特殊ナモノデアリマスルカラ、私共ハ一應サウ云フヤウナコトヲ引受ケ得ルヤウナモノトノ話合ヒデ進マウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論只今選ンデ居リマス所ノ出資者等ノ性質カラ見マシテモ、サウ澤山ノ讓渡ガ行ヘルト云ツタヤウナコトハ考ヘラレナイノデアリマス、サウ云フヤウナ意味合デ澤山起キ得ナイダラウト思ヒマエガ、若シサウ云フコトガ起ル場合ニ於テハ、必ズ之ニ代ルヤウナ大キナモノト云フコトガ豫想サレマスノデ、取敢ズサウ云フヤウナモノニ對スル關係ハ、競賣トカ何トカ云フ問題デナクシテ、考ヘテ行キタイ、斯フ考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 ソレハ只今ノ御説明ノ通りニ、此ノ營團ノ出資者モ極メテ特殊ナ、限定サレマシタモノデアツテ、隨テ株式會社等ニ於ケル株主ノ數ノヤウナモノトハ比較ニナラヌコトハ窺ハレルノデアリマス、併シ其ノ言葉ダケハ處分ト云フ言葉ヲ使ツテアツテ、今ノ説明ノヤウナ内容ト致シマスルト、是ハドウモ餘リニ正確ヲ缺イタ説明デアリマス、サウ云フ風ナコトデアラバ、此ノ條文ノ言葉ノ上ニ、モツト何か適當ナ他ノ方法ヲ以テ現ハスノガ至當デヤナイデセウカト思フノデアリマス、勿論減多ニナイ場合デアリマシテ、サウ云フ懸念ハ要ラスカモ知レマセヌガ、併シナガラ立法當時ニ於キマシテハ、ソレ等ノコトモ一應當ツテ置キマセヌト、將來ドウ云フ場合ガ起ラヌトモ限ラヌノデス、ダカラ處分ト云フコトハ、モウ少シ其ノ方法等ニ付キマシテ研究ノ餘地ガアリハシナイカト私ハ考ヘテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○岸政府委員 御話ノヤウニ、條文ニ書イタ點カラ見マスレバ、此ノ營團ガ持分ヲ處分スル能力ガゴザイマスカラ、營團ガソレヲヤルニ當ツテハ、固ヨリ自由ニ、處分シテモ競賣ニシテモ其ノ點ハ宜イコトニ考ヘテ宜イダラウト思ヒマス、唯私ハ實際ノ取扱ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、處分ヲスル方法ト云フノハドウツチニナツテモ宜イデアラウト思ヒマス

○石坂(繁)委員 併シ其ノ處分ノコトハ、是ハ一ツ尙ホ御研究置キテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ只今ノ條文ノ中ノ第五項ノ「出資者ガ第一項ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ農地開發營團ハ其ノ出資者ニ對シ二週間内ニ出資證券ヲ農地開發營團ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス」此ノ場合ニ於テ提出ナキ出資證券ハ其ノ效力ヲ失フ「斯ウ云フ風ナ規定ガアル、此ノ第五項ト第一項

トノ關係ヲ御尋ネシタイノデアリマスルガ、只今ノ處分——此ノ處分ノ内容ト云フコトハ今ノ御説明デ必ズシモ明確ニナツテ居リマセヌケレドモ、兎ニ角不明確ノ儘デ暫ク處分ト云フ言葉デ進メテ參リマスガ、此ノ第一項ノ處分サレマシタ結果、恐ラク其ノ出資者ハ權利ヲ失フコトニナルデアラウト思ヒマスガ、此ノ出資證券ノ提出ヲ命ゼラレルノハ處分後ニ命ゼラレルカ、處分前方、詰リ失權シタ人ニ對シテ命ゼラレルカ、或ハマダ其ノ時マデハ失權シナイケレドモ、證券ダケ兎ニ角提出ヲ命ズル、斯ウ云フコトニナルノデアアルカ、ドウ云フコトヲ豫定シテノコトデアリマスカ

○岸政府委員 失權シタ後ノ問題トナルト思ツテ居リマス

○石坂(繁)委員 サウスルト第一項ノ規定ニ依リマシテ處分スル、隨ヒマシテ其ノ出資者ガ失權致シマシタ場合ニ於テ、其失權シタコトヲ周知セシメル方法等ニ付テハ何等ノ規定ガナイヤウデアリマス、第五項ニ依リマス、其ノ證券ガ效力ヲ失ヒマシタ其ノ場合ニ於テ公告ヲスルコトニナツテ居ル、普通ノ會社デアラバ、失權公告ト云フコトヲ致シマスルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、第十二條第一項ノ處分ニ依ツテ失權シタ場合ニ、處分ヲナシタ事實ノ方法ヲ御執リニナルカドウカ

○岸政府委員 只今ノ御尋ネノ點ハ執リマセ

○石坂(繁)委員 次ニ第十三條ニハ農地開發營團ノ定款ノ記載事項ヲ書イテアリアマシテ、其ノ列舉シテアル一番終リニ「九、公告ノ方法」ト云フノガアリ、斯ウ云フコ

トガ書イテアリマス、會社ニ付テハ改正
商法ハ其ノ百六十六條第二項デアツカ
ト思ヒマスガ、定款ノ規定ハ官報、或ハ
時事ヲ掲載スル日刊新聞ニ公告スルト云
フヤウニ新商法ヲ改メタノデアリマス、
此ノ農地開發營團ト云フモノハ、多分
ニ公ノ性質ヲ持ツテ居ルモノデ、國策的
ニ非常ニ重要ナ法人デアアル、デアリマス
カラ、其ノ公告ノ方法ト云フヤウナモノ
ニ付テハ、是ハ勿論定款ヲ以テ公告ノ方
法ハ規定スルコトニナツテ居リマスガ、私
ハ法律ノ條文中ニ其ノ公告ノ方法ヲ規定シ
テ置ク必要ガアルノデハナイカト思フノデ
アリマスガ、其ノ點ト、及ビ若シ法律ノ條
文中ニ公告ノ方法ヲ謳ヒマセヌナラバ、此
ノ十三條ノ公告ノ方法ハドウ云フ方法ヲ御
執リニナル積リデアアルカ、例ヘバ今申上
マシタヤウニ、株式會社デアアルナラバ、官
報又ハ時事ヲ掲載スル日刊新聞ト云フコト
ニナツテ居リマスガ、出サレマシタ勅令事
項ニ依ツテモソレガ明確デナイヤウデアリ
マスガ、念ノ爲ニ其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 只今ノ十三條ニ書イテアル
公告ノ方法デゴザイマスガ、大體ノヤリ方
ハ從來特殊會社等ガヤツテ居ルヤウナ方法
ニ依ル積リデアリマス、此ノ法律ノ中ニハ
此ノ内容ヲ含シテモノヲ書クコトハ致シテ
居リマセヌ

○石坂(繁)委員 從來ヤツテ居ル方法ト云
フコトデスガ、ソコヲモウ一步御説明ヲ願
ヒタイ

○岸政府委員 ソレハ只今石坂サンノ仰シ
ヤツタヤウナ方法ニ依ツテヤル積リデアリ
マス

○石坂(繁)委員 其ノ點ハソレ位ニシテ置

キマス、ソレカラ小サイコトニナリマスガ、
第四十六條ニ「農地開發營團ハ命令ヲ定ムル
所ニ依リ豫メ農地開發事業ノ施行地區及實
施計畫ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」ト
ナツテ居リマスガ、此ノ場合ニ於キマシテ、
「主務大臣ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ其ノ旨
ヲ告示シ二十日以上ノ相當ノ期間ヲ定メ其
ノ期間内實施計畫書ヲ寫ラ施行地區内ノ土
地ノ所有者及利害關係人ノ縦覽ニ供スベシ」
斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ其ノ
地域内ノ土地所有者及利害關係人ノ利益
ヲ保護サレル建前ノ規定デアリマシテ、極
メテ適當ノ規定ダト存ジマスガ、縦覽ニ供
セラレル場所ガハツキリ分リマセヌ、例ヘ
バ選舉人名簿等デゴザイマスレバ、其ノ市
町村役場ニ於テ見ルトカ、又會社デアレバ
會社ノ本店或ハ支店で見ルコトニナリマス
ガ——之ヲ示シテ貰フ人ダケハ明カニ茲ニ
分ルヤウニナツテ居マス、即チ「土地所有者
及利害關係人」トナツテ居リマスガ、併シ此
ノ人達ガ營團ノアル東京ノ本店ニ來テソレ
ヲ見ル譯ニモ參ラナイノデアリマスカラ、
是ハ便宜其ノ地域ノ町村役場等ニ寫シヲ配
布セラレテ、其處デ縦覽ニ供セシメラレル
ヤウニナルノデアラウトハ思ヒマスガ、ソ
コヲ明確ニシテ貰ヒタイと思ヒマス

○岸政府委員 四十六條ノ計畫ヲ施行地域
内ノ關係者ニ示ス場所ノ點デアリマスガ、
是ハ何レ命令ヲ以テ決メルノデアリマスガ、
御話ノヤウニ東京マデヤツテ來タノデハ問
題ニナラナイと思ヒマスノデ、大體其ノ地
域ノ市町村役場等ヲ以テ之ニ充テル考ヘデ
アリマス

○石坂(繁)委員 第四十六條ノ只今ノ點デ
アリマスガ、是ハ戴キマシタ資料デハ農林

省令ニ依ラレルコトニナツテ居リマス、告
示ノ方法等ニ付キマシテハ規定セラレル豫
定ニ致シテ居ラレルヤウデアリマスガ、併
シナガラ縦覽ト云フコトニ付テハ此ノ資料
ニモナイノデアリマス、ソレデ其ノ點ハ今
後農林省令ヲ出サレル時ニ適當ニ御配慮願
ヒタイと思ヒマス

ソレカラドウモ細々シイコトヲ申上ゲテ
恐縮デアリマスガ、四十六條ニ「前項ノ土地
ノ所有者及利害關係人實施計畫書ニ記載
セラレル事項ニ關シ異議アルトキハ前項
ニ掲グル期間内ニ主務大臣ニ之ヲ申出ヅル
コトヲ得」トナツテ居リマシテ、異議ノ申
立ガ出來ルコトニナツテ居リマシテ、是モ
適當ナ用意デアリマス、所ガ其ノ次ノ條文
ニ「主務大臣異議ヲ正當ト認ムルトキハ當
該事項ニ付變更ヲ加ヘテ認可ヲ爲スコトヲ
得」トナツテ居リマス、是ハ將來起リ得ル
問題デ此ノ出資者ノ數モ隨分澤山居リマ
ス、所ガ異議ガ出タ場合ニ、其ノ異議ガ適
當デナイト農林大臣ガ認定シタ場合ニ、ド
ウニモ救済ノ方法ガナイ、少クトモ此ノ條
文ニ依リマシテ異議ヲ正當ト認メタ場合ハ、
主務大臣ハ其ノ計畫ヲ變更致シマスケレド
モ、異議相立タズ、理由ガナイト云フコト
ニナツタ場合ニハ、今度ハ土地所有者等ハ救
済ノ方法ガナイコトニナル、私ノ申上ゲテ
居リマスコトハ、餘リ法律的ニ面倒臭イコ
トヲ申上ゲルヤウナ印象ヲ與ヘルカモ知レ
マセヌガ、サウ云フ場合ガ必ズ起リマス、
ダカラ其ノ異議ガ相立タザル場合ニ付テ何
等カ規定シテ置ク必要ガアルノデハナイカ、
此ノ點ニ關シマシテドウ云フ御見解デアリ
マセウカ

○岸政府委員 勿論サウ云フ點モ考ヘテ研

究シタノデアリマスガ、他ニ斯ウ云フヤリ
方ノ例ガアルノデアリマス、都市計畫等ノ
施行ニ對シ同ジヤウナ方法ヲ以テヤツテ居
リマス、恐ラク其ノ正當ト認ムルト云フコ
トニ付テハ、十分慎重ニ考慮シテヤルコト
ト存ズルノデアリマス、其ノ認メタモノニ
付テハ敢行スルヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フ
ヤウニ考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付テハ隨
分考ヘテヤツテ行ク積リデ居リマス

○石坂(繁)委員 勿論取扱ノ上ニ慎重ヲ期
シテ戴クト云フコトハ、私共サウ云フ風ニ
考ヘルノデアリマスガ、異議ヲ正當デナイ
ト認メラレタ場合ノコトガナイノデアリマ
スカラ、其ノ點只今ノ御答辯ノ中ニアリマ
シタ通りニ、尙ホ一ツ御研究置キヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレカラ第五十三條ノ規定
ニ、此ノ營團ノ開發事業ニ依ツテ利益ヲ受
ケタ者ニ對シマシテハ、現ニ受ケル利益ノ
限度ニ於テ、其ノ事業ノ施行ニ要シタル費
用ノ一部ヲ營團ニ支拂フベキコトヲ命ズル
コトガ出來ル、斯ウ云フ風ナ規定ニナツテ
居リマスガ、是モ當然ノコトダト思ヒマス、
而シテ此ノ現ニ利益ノ存スル限度トカ、或
ハ現ニ利益ヲ受ケタル限度ト云フ用語ハ、
是ハ民法等ニモアルヤウデアリマスガ、實
際ニ現ニ受ケル利益ノ限度ト云フモノノ算
定ノ具體的ノ問題ニナリマス、現ニドレ
ダケノ利益ヲ受ケタカト云フコトノ算定
ハ、是ハ必ズシモ容易デハナイノデアリマ
スガ、其ノ現ニ受ケル利益ノ限度ト云フヤ
ウナコトヲ、ドウ云フ風ナコトヲ算定シテ
出サレル御考ヘデアアルカ、是ハ大體論デ宜
シウゴザイマスガ、其ノ點ヲ一ツ承ツテ置
キタイと思ヒマス

○岸政府委員 是ハ從來他ノ耕地改善ノ仕

キタイと思ヒマス

事デヤツテ居リマシタト同ジヤウナヤリ方
デ大體ヤツテ行ク譯デアリマス、隨ヒマシ
テ其ノ點ニ付テハ、色々議論ノアルコトモ
アルカモ知レマセウケレドモ、大體此ノ仕
事ヲヤツテ、例ヘバ用排水ヲヤツタ爲ニ、
一反歩ニ付テ二石ナラニ石餘計上ルト云フ
ヤウナコトデアレバ、サウ云フモノヲ目安
ニシテ考ヘルヤウニ致ス、斯ウ云フ考ヘ
方デ居ル譯デアリマス、ソレデハ實際ノ場
合ニ於テソレダケ取レルカドウカト云フコ
トニ付テハ色々議論ガアリマセウケレド
モ、是ハ普通専門的ニ見テ限界ガ付キ得ル
ト考ヘテ居リマス

農ニヤルト云フコトヲ建前ニシテ居リマス、
併シサウデナイ部分モ無論出來テ來ル譯デ
アリマス、サウ云フモノニ付テ、或ハ其ノ
土地ノ管理ヲ公共團體ノヤウナモノニ任セ
テヤルコトモ生レルカモ知レマセウケレド、營
團自體トシテモ只今ノヤウナ小作ニヤルヤ
ウナコトモ考ヘラレマスシ、又自身ガ直營
デヤルト云ツタヤウナコトモ考ヘラレルト
思ヒマス、サウ云フ風ナコトヲ色々含ンデ
居ル譯デアリマス

造スル場所デアル、又現時社會問題ト致シ
マシテハ、農村ハ民族ノ培養地帯デアル、
ト仰セラレタ、私ハ此ノ御話ヲ聽キマシテ
洵ニ力強ク感シタノデアリマス、政府當局
ニ於カレマシテハ、此ノ農村ノ動向ヲ斯ウ
云フ意味合カラ獎勵誘導致シマシテ、農村
機構ノ改善ノ目的ヲソコニ歸一シテ、農村
計畫ヲ立テル必要ガナイカドウカ、此ノ點
ニ對シマシテ御研究ガアリマスルナラバ、
當局ノ所信ヲ承リタイト思フノデアリマス

ケテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス

○土田委員 現在政府ガ行政上ノ措置ト致
シマシテ、農村強化ニ對シマシテ自作農ヲ
作ルコトヲ重點主義ニ執ツタノデアリマス、隨
テ農地調整法ガ出來マシテ、其ノ低資ノ中ニ
モ利率ヲ低下致サレマシタ結果、今日小面
積ノ土地ノ所有者ガ非常ニ増加致シテ居ル
ノデアリマス、是ハ政府ノ意圖スル所ガ實
際ノ事實ト致シマシテ茲ニ現ハレタト云フ
コトハ、私共非常ニ喜ブ次第デアアルノデア
リマスルガ、其ノ反面ニ於キマシテ、色々
ナ方面カラドウシテモ適正規模ノ耕地ヲ作
ル必要ガアル、場合ニ依ツテハ現在五百万
戸以上ノ農民ヲ或ル程度ニ整理ヲ致シマシ
テ、農家戸數ヲ相當少クスル、斯ウ云フ風
ナ議論モアルノデアリマスルガ、斯ク致シ
マスルト、土地ノ利用權ヲ持ツタ農民
ハ、其ノ相續スル長男ノミガ土地ノ利用ノ
權利ヲ持ツテ、其ノ以外ノ人ハ全部土地ヲ
植生作用ニ用ヒル所ノ權利ヲ拋棄シナケレ
バナラヌ立場ニ相成ルノデアリマス、サウ
云フ結果ガ將來招來致シマスルト、農林大
臣ノ考ヘタル農村ハ民族培養ノ地帯デア
ル、人的資源ノ源泉地帯デナクナルノデア
リマス、限ラレタル何百万人ノ人ノミガ此
ノ農村ニ權利ヲ持チ、其ノ他何十万人ノ人
ハ再ビ土ニ還ツテ民族ノ爲ニ、又社會奉仕
ノ爲ニ盡シ得ナイ、サウ云フ結果ニナルノ
デアリマス、現ニ只今土地ニ對スル戦士ト
致シマシテ非常ナ努力發展ヲ重ネテ居ツテ、
増産並ニ農業ノ開發ニ日夜勤勞ヲ續ケテ居
ル者ハ如何ナル部面ノ人ガ多イカト申シマ
スレバ、其ノ一家ノ相續權ヲ持ツテ居ル長
男ヨリモ次男、三男ガ他ノ自作農ニ雇ハレ

○石坂(繁)委員 第五十條ノ第三項ニ依リ
マス「第一項第二號ノ規定ニ依リ收用シ
タル土地ノ管理及處分ニ關シテハ勅令ヲ以
テ之ヲ定ム」斯ウ云フ風ナ規定ニナツテ居
リマシテ、配付ヲ受ケマシタ資料ノ當該條
文ノ所ヲ見マス、管理ノ方法及び小作ニ
付シタル場合ノ小作料ノ制限、斯ウ云フ風
ナコトガ農林省令デ出サレル御豫定ニナツ
テ居リマス、ソコデ此ノ管理ト云フ言葉ノ
内容デアリマスガ、先程處分ト云フコトヲ
伺ヒマシタガ、其ノ説明ハドウモ餘リハツ
キリ致シテ居リマセウケレド、管理ト云フ言葉
ハモツトハツキリシナイ、管理ト云フノハ
ドウ云フコトヲ指サレルノカ、自作農創定
デ賣渡ガ出來ナイ場合ニ小作ニ入レラレル
場合ハ此ノ農林省令ニ依ツテモ窺ヘマスガ、
サウデナイ場合ノ管理ト云フコトノ實際ノ
場合ハ、ドウ云フコトヲ豫期シテノ此ノ條
項デアリマセウカ

○石坂(繁)委員 條文ノ内容ニ關シマス私
ノ質疑ハ以上デ大體終リマシタ

○成島委員長代理 上田莊助君

○土田委員 此ノ開發法案ガ制定サレマシ
テ、實際事業ヲ執行スル際ニ於キマシテハ、
先般本會議ニ於キマシテモ相當議論ガアツ
タノデアリマスルガ、其ノ議論ノ要點ハ、
大略致シマスルト、大體勞務關係ハドウ
カ、資材關係ハドウカ、或ハ又其ノ收益ノ
豫想ハ、政府ガ豫定シタ通りノ豫想ガ出來
ルカドウカ、斯ウ云フ三點ニ重點ヲ置カレ
テ色々議論サレタノデアリマス、ソレハ、
私共考ヘマスルニ、現在ノ農村ノ動向カラ
見マシテ、又農村ノ機構ノ上カラ見マシテ
モ、サウ云フ疑ヒノ出ルノハ當然ノコトト
思フノデアリマス、而シテ現在農村ハ凡ユ
ル方面ノ角度カラ論議致サレマシテ、茲ニ
農村ノ動向ト云フモノハドウシテ宜イノカ
ト云フコトハ歸一シテ居ラヌノデアリマス、確
乎タル方針ガ立ツテ居ラヌノデアリマス、
ソコデ私ハ此ノ際高度國防國家ニ對應スル
農村ノ機構ト云フモノヲ、整備スル必要ガ
アルト思フノデアリマス、先般當委員會ニ
於キマシテ石黒農林大臣ハ、農村ハ所謂會テ
「アメリカ」ノ大統領ガ言ツタ如ク人間ヲ製

譯デアリマス、隨ヒマシテ如何ナル事態ニ
立至ツテモ搖ギノナイ所ノ農村ヲ作ツテ行
ク、本當ニ國ノ柱ニナルヤウナ農村ヲ作ツ
テ行クト云フコトニ付テ、吾々ハ精神の方
面カラモ、色々ナ方面カラ之ヲ指導シテ行
カナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、勿
論斯ウ云フヤウナ意味合ニ於テ吾々ハ現在
足ラナイ所ハ多々アリマスケレドモ、斯ウ
云フ増産ノ仕事等ニ付キマシテモ、農民ノ
立場トシテ、國ノ發展ノ上ニ於テ如何ナル
役割ヲスベキカト云フコトニ付テ自覺ヲ十
分持ツテ貰ヒ、進ンデ食糧増産ニ重キ使命
ヲ達成スルヤウニ精神的ノ方面ニ當ツテ貰
フ、又精神的ニ奮ヒ起ツテ貰フト云フ農民
精神ノ昂揚ト云ツタヤウナコトニ努力ヲ續

○委員長退席、成島委員長代理着席

○岸政府委員 自作農ノ土地ノ管理ノ問題
デアリマスガ、土地ノ處分ヲシテ先づ自作

第六類第二十一號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第八回 昭和十六年二月十九日

○岸政府委員 自作農ノ土地ノ管理ノ問題
デアリマスガ、土地ノ處分ヲシテ先づ自作

○岸政府委員 農村ガ民族ノ源泉デアアル、
斯ウ云フヤウナ大切ナ使命ヲ持ツテ居ル
ガ、サウ云フヤウナ使命ヲ持ツタモノニ對
シテ政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ、斯
ウ云フ風ヲ御尋ネデアツタト思フノデアリ
マスガ、何レノ國ニ於テモ、強イ新シイ所
ノ民族ノ血ト云フモノハ、ヤハリ農村カラ
生レテ來ルト云フコトハ誰モ疑ヒナイ所デ
アリマシテ、農村ガ弱クナツタ時ニハ國ハ
弱クナルト云フコトハ吾々深ク信ジテ居ル
譯デアリマス、隨ヒマシテ如何ナル事態ニ
立至ツテモ搖ギノナイ所ノ農村ヲ作ツテ行
ク、本當ニ國ノ柱ニナルヤウナ農村ヲ作ツ
テ行クト云フコトニ付テ、吾々ハ精神の方
面カラモ、色々ナ方面カラ之ヲ指導シテ行
カナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、勿
論斯ウ云フヤウナ意味合ニ於テ吾々ハ現在
足ラナイ所ハ多々アリマスケレドモ、斯ウ
云フ増産ノ仕事等ニ付キマシテモ、農民ノ
立場トシテ、國ノ發展ノ上ニ於テ如何ナル
役割ヲスベキカト云フコトニ付テ自覺ヲ十
分持ツテ貰ヒ、進ンデ食糧増産ニ重キ使命
ヲ達成スルヤウニ精神的ノ方面ニ當ツテ貰
フ、又精神的ニ奮ヒ起ツテ貰フト云フ農民
精神ノ昂揚ト云ツタヤウナコトニ努力ヲ續

○岸政府委員 自作農ノ土地ノ管理ノ問題
デアリマスガ、土地ノ處分ヲシテ先づ自作

マシテ、サウシテ學校ヲ卒業致シマスルト、ソコニ眞ノ農業ヲ體驗シテ、今日ノ日本ノ農業ヲ維持致シテ居ルノデアリマス、其ノ方々ハ廳テ一定ノ勞銀ヲ貯蓄致シマシテ、サウシテ再ビ自作權ヲ買入レ、其ノ上ニ政府ノオ陰ニ依ツテ自作農ト相成ル、サウシテ將來立派ナ農村民トシテ立ツテ行ク、斯ウ云フ理想ニ燃エテ、今日勞銀ハ少ナイガ、農村ノ戰士トシテドウシテモ此ノ農村ニ在任シテ、國家ノ農業ノ爲ニ全身ノ努力ヲ致シタイト云フ考ヘカラ、文化カラ遠ザカツテ、サウ云フ實際ノ農業ニ携ハツテ居ル者ガ非常ニ多イ數ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ眞ノ土ノ戰士ヲ如何ニシテ將來農村ノ人間トシテ十分其ノ所ヲ得サシメルカト云フ所ノ方策ハ、當然樹テナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對シ政府ハ將來ドウ云フ方策ヲ執ラントスルノデアリマスカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

新シイ土地ニ——自分ノ土地ノ上ニ燃エルヤウナ精神ヲ活カサウト云フ途ヲ與ヘル一ツノ方便デアル、一ツノ方法デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデゴザイマス

〔成島委員長代理退席 委員長着席〕
尙又此ノ問題ニ關係シテ考ヘナケレバナラナイノハ、日滿一體ノ農業政府トシテ、本人移民ヲヤルトカ云ツタヤウナコトモ、内地ニ於テ滿タサレナイ今ノ不足ヲ、日滿ヲ通ズル一ツノ方針ニ依ツテ、日本農民トシテ滿洲ノ地ニ轉住スルト云フコトニ一ツハ出發シテ居ル、斯ウ見テ宜イノデアリマス、其ノ點ニ付テハ尙ホ現在ノ狀態ニ於テ滿サレナイソレ等ノ人々ノ希望ハ滿シ得ルコトト思ツテ居リマス

○岸政府委員 御話ハ日本ノ農家ガ過小經營デアルカラ、次三男ノ農業ヲヤリタイ者ハ力ノ持ツテ行キ場ガナイ、之ヲドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フ御話デアリマスガ、勿論是等ノ希望ヲ充足スルニハ、單ニ國內ダケノ土地デ之ヲ求メルト云フコトハ中々困難ガアラウト思ヒマス、農業ノ經營カラ言ヒマスレバ、適正規模ノ經營ト云フコトハ色々叫バレテ居リ、又適般大臣色々御話ガアリマシタウヤニ、サウ云フヤウナ方面ノ調査モ今進メテ居リマス、今回ノ農地開發ノ仕事等モ、結局斯ウ云フヤウナ方面ヘノ貢獻ヲナシ得ルノデアリマシテ、自作農ヲ創定シテ行カウト云フコトハ、要スルニ土地ヲ得ラレナイ次三男ノ人々ヲシテ此ノ

○土田委員 現在農業經營ノ惱ミト致シマシテハ、勞力ハ不足デアル、肥料ハ値段ガ高クナツテ居ル、サウシテ農産物ノ價格ハ他ノ物價ニ比較致シマシテ割合ニ低廉デアアル、斯ウ云フコトガ現在大キナル惱ミトナツテ、日本全國ノ農村ガ此ノ惱ミニ苦シムデ居ルノデアリマス、此ノコトヲ考ヘテ見マスト、此ノ農村ノ計畫ハ眞ニ民族ヲ培養スルト云フ意味合カラ一歩進メマシテ、農村ガ營利企業ノ部門ニ入ツタ、サウ云フ機構ノ下ニ現在ノ農村ノ方向ハ向ヒツツアル、斯ウナリマスレバ當然勞力ハ不足デアル、飼料ハ高イ、資材ハ少イトナレバ、營利的ノ企業トシテ政府ガ之ヲドン／＼持ツテ行クト云フコトニナリマス、當然其ノ結果ハ減産運動ニナルト云フコトハ明カナデアリマス、ソコデ私共ハ、此ノ營利企業ト云フコトハ從タル主張デアツテ、眞ノ農村ハ民族ヲ培養スベキ所ニアル、是ハ農村ヲ第一義ト致シマシテ政府ガ計畫ヲ立テルノ

デナケレバ、此ノ農村ノ健全性ト云フモノハ頗ル疑ハシクナツテ來ルト云フコトヲ思ハナケレバナラヌノデアリマス、若シモ農村ガ民族培養ノ地帯デアルト云フ此ノ主義カラ進ムト致シマスレバ、現在ノ農業ト云フモノハ非常ナ強力ナル生活上ノ強味ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハ何故カト言ヒマス、私共ハ人ノ土地ヲ借りテ耕作致シマシテモ、一箇年ノ中二十五日間働キマシテ一箇年ニ消費致シマスル所ノ米ヲ生産シ得ルノデアリマス、地代ヲ拂ヒマシテモ、一人ノ人ガ一箇年ニ消費スル主要ナル食物ヲ自ラ生産スル、アトノ三百四十日ト云フモノハ他ノ殷賑産業、或ハ木炭ノ生産、或ハ漁撈ニ出ル、或ハ製材ヲ致ス、或ハ事業場ニ行ク、サウ云フ風ナ方面カラ多大ノ收益ヲ得ラレルノデアリマシテ、自分ガ食糧ヲ生産致シテ、食糧ヲ確保致シマシテ、サウシテ總テノ社會的職業ニ勇躍飛シ得ル所ノ基礎ヲ作り得ル、是ガ非常ニ大キナ強味トナツテ、現在ノ農村ニサウ云フ希望ヲ持ツテ居ル者ハ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ見マスト、此ノ日本ノ集約農業、小規模ノ農業ト云フモノハ、眞ニ日本民族ノ爲ニ非常ニ必要ナル役割ヲナシテ居ル、斯ウモ言ヒ得ルノデアリマス、而モ小規模ノ農業ハ、農繁期ニ於キマシテノ非常ナ勞力不足ニ對シマシテ十分ナル耕作ヲナシ得ル、飼料ガ少クテモ其ノ一家ノ家計ノ殘滓ヲ以テ十分ナル飼料モ供給シ得ル、サウシテ眞ニ鞏固ナル生活ノ基礎ノ上ニ於テ國家ノ要望スル幾多ノ勞務ニ從事シ得ル、サウシテ生産ハ減退シナイ、現ニ日清、日露ノ戰役ヲ契機ト致シマシテ、日本ノ米ノ收穫ハ飛躍的ニ増加致シタノデアリマス、サウシテ其ノ増産致シタ結果ハ、今日低下スルコトナク、漸次増産ノ一途ヲ辿ツテ今日マデ來テ居ルノデアリマス、是ニ日本ノ農村ノ特異性ト云フモノガナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ營利的企業ト云フコトヲ考ヘマス、適正ナル地方ノ耕地ガナケレバ日本ノ農村形態ニ合致シナイト云フヤウナ結果ガアルト致シマスレバ、農民ノ頭ニ非常ナル動搖ト混亂ヲ來サシムルノデアリマスルカラシテ、如何ナル事態ニ處シテモ、如何ナル勞力不足ノ際ニ處シテモ、如何ナル農業經營ノ資材ノ缺乏シタ際ニ於キマシテモ、何等ノ微動ナク、十分ナル生産ヲナシ得ルト云フ機構ハ現實ニ現存シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ機構ヲ政府ハドウ云フ風ニ御認めニナツテ居ルカ、是ハ固ヨリ立派ナル日本ノ農村ノ優レタル特異性デアルト云フコトヲ御認めニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○岸政府委員 農村ハ各國共ニ民族ノ源泉デアルト云フコトハ、土田サンノ仰シヤル通りデ、此處カラ——農業方面カラ出テ他ノ仕事ニモ從事シ得ルト云フ、サウ云フ方面ヘ人物ヲ送ルコトノ意味ヲ含ンデノ考ヘ方デアリマス、サウ云フヤウナ意味合カラ吾々ハ現在ノ農村ヲ勿論考ヘテ居ルノデアリマシテ、適正規模ノ問題ト云フノハ、要スルニ農民トシテ十分ナル生活ガ出來得ル、或ハ都市ニ比ベテハ文化ノ點等ニ於テ、サウ毎日活動寫眞ヲ見タリ、或ハ遊覽所ニ行ツタリスルコトハナクとも、兎ニ角農村ニ於テ人並ミノ生活ガ出來、安心シテ農業ノ方面ノ生産ニ專念スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトヲ目的トシタ考ヘ方デアリマスノ

デ、サウ云フヤウナ意味ニ於テ別段不安ヲ與ヘルヤウナ考ヘ方ノ問題デハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ風ナ結果、鍊成サレタ所ノ人物ガ都會其ノ他ニ送り出サレテ行クト云フコトハ、健全ナル國家ヲ成立タシムル所以デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○土田委員 農業形態ヲ營利企業ト見マシ

タ際ハ、只今農政局長ノ御話ノ如ク、農業生産ダケニ依ツテ十分ナ利益ヲ獲得シ得ルト云フヤウナ耕地ガナレバナラス、ソレハ成程理論的ニ營利企業ノ上カラ眺メタノデハ、當然其ノ議論ハ成立ツト思フゾデアリマス、併シナガラ限ラレタル日本ノ耕地面積ニ於キマシテ、サウ云フコトハ全般のニナシ得ナイト云フコトハ當然デアルノデアリマス、而モ營利企業トシテ考ヘテ際ハ、飼料ノ不足、勞力ノ不足等、當然其ノ營利企業ノ經營ニハ大ナル所ノ支障ガ今日來テ居ルノデアリマス、唯此ノ集約的ノ小規模ノ農業ハ、却テ營利的農業ヨリモ農家自身ニ取ツテハ今日收益ガ多イノデアルガ、ソレハナゼカト申シマス、農業生産ニ從事スルヨリモ他ノ農業以外ノ勞銀ガ高イノデアリマスカラ、農業生産ヲ宜イ加減ニ致シマシテ他ノ職場デ働クト云フコトニ依ツテ、結局其ノ農家ノ一戸當リノ收入ガ現在非常ニ増大シテ居ル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、此ノ營利企業ノ農業形態ト云フモノハ非常ナル損害ヲ今日見テ居ルノデアリマシテ、三億圓デ宜イモノヲ六億圓ナケレバナラス、斯ウ云フ風ナ營利上ノ採算ヲ見ルコトハ當然デアルノデアリマス、私ハ斯ウ云フコトハ日本ノ農村ノ健全性ヲ破壊スル處ガアリマスカラ、如何ナル際ニ於

テモ其ノ農業資材、勞働力ハ微動ダモシナイ、サウシテ國家ノ必要ナル農業以外ノ産業ニ對シマシテ、農村民ガ農業ノ生産ヲ十分維持シナガラ、他ノ産業ニ依ツテ自己一家ノ收益ヲ擧ゲル、又國家ノ憂慮スル所ノ勞力ノ不足ヲ補填シテ行ク、所謂民族ノ源泉トシテ國家ニ貢獻シテ行ク、斯ウ云フ政策ハ今日最モ重大デアルト考ヘナケレバナラス問題ト思フゾデアリマス、唯農村ト云フモノハ農村ダケノ問題デハナクシテ、農村ハ農村トシテ社會化ヲシナケレバナラス、床屋デアツテモ、大工、左官デアツテモ、役場ノ吏員デアツテモ、一定ノ土地ヲ耕作致シマシテ食糧ヲ確保致シテ、サウシテ如何ナル際ニモ農繁期ニハ自分ノ本職ヲ抛ツテ、サウシテ農業勞力ノ缺乏ヲ補填スル、サウシテ社會的有機的作用ヲ持ツテ、サウシテ農村ノ時代ノ變化ニ處シテ、如何ナル場合デモ十分ナル生産ヲ擧ゲル、又農村ノ收入ハ民族ノ源泉體トシテ是ハ減ツテ行カヌ、斯ウ云フ政策ヲ立テナケレバナラス、先般農林大臣ノ御話ノヤウニ、農村ハ人ヲ作ル場所デアル營利的企業ヨリモ寧ロ人物ヲ作ル所デアル、果シテ斯ウ云フヤウニ大臣ノ考ヘテ居ラレル如キ方向ニ向フヤウニナリマシタナラバ、今日ノ農村ノ惱ミト云フモノハ或ル程度マデ緩和サレマシテ、サウシテ現在土地ノ使用權ヲ持ツテ居ル人以外ニモ大ナル光明ヲ與ヘルモノダト思フゾデアリマス、私ハ此ノ點ニ對シマシテハ、大臣ノ御聲明モアルノデアリマスカラ、其ノ方ニ對シマシテ十分御研究ヲ戴キタイト云フコトヲ希望致シテ、此ノ點ハ別ニ答辯ヲ求メマセヌ

次ニ農地開發問題ト國土計畫、或ハ農業

立地政策トハドウ云フ風ナ關聯ヲ持ツテ居ルカ、又國土計畫ノ基本調査ガ出來テ居ラヌカラ、其ノ方面ニハ更ニ關係ナク今日農地開發法ヲ提出シタノデアアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○岸政府委員 國土計畫ト、農業立地政策ト、此ノ農地開發トハドウ云フ關係ガアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、マダ國土計畫ニ付テハツキリシタ計畫ノナイコトハ既ニ御承知ノ通りデアリマス、唯サウ云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進マネバナラスト云フコトハ明カデアリ、又其ノ上ニ廣大ナル土地開發ヲ致スト云フコトニナリマスレバ、國土計畫上ノ考ヘ方十分ニ考慮ニ採リ入レテ行クト云フコトガ一方ニ於テハ必要デアリ、又一方ニ於テ食糧ノ上カラ必要デアルト云フコトデアレバ國土計畫ニ於テモ此ノ地區ヲ一ツノ食糧供給源トシテ考ヘテ貰ハナケレバナラス、何レモ關係ヲ持ツテ進マナケレバナラスモノデアルト考ヘテ居リマス、國土計畫ニ付キマシテハ十分ニ農地ノ點ヲ考ヘテ進ミタイト思フテ居リマス、此ノ計畫ニ付テ農林大臣ガ地域ヲ決メ、計畫ヲ決メルト云ツタヤウナコトモ、ヤハリサウ云フ點ヲ考慮シテ問題デアリマス

ソレカラ農業立地トノ關係ハ、勿論此ノ

土地ヲ開發シ、又ハ水利施設ヲ直シテ行クト云フコトハ、其ノ後ノ利用ノ關係ニ於テ立地上ノ諸般ノ因子ヲ考ヘテ經營ヲ行フヤウニシ、或ハ之ニ應ジテ食糧ノ生産ヲ殖シテ行クト云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進マナケレバナラス、新タニ開ク所ノ土地ニ付テハ、其ノ立地條件ニ應ジテノ農業經營ノ形態ヲモ考ヘテ行カナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ致シテ此ノ農地ノ開發ヲ考ヘ

テ居ル次第デアリマス

○土田委員 只今農政局長ノ國土計畫ト關

聯ヲ持ツテ考ヘラレテ行クト云フコトハ、私ハ尤モノコトト思フゾデアリマス、特ニ國土計畫ハ私ハ今日ヨリ重大ナル秋ハナイト思フゾデアリマス、都市ニ幾多ノ人が集中サレマシテ、又工場地帯、礦山地帯、機業地帯、斯フ云フ地帯ニハ殷賑産業或ハ國家ノ要望サレル國防上ノ見地カラ致シマシテ、ソレニ働ク所ノ勞役者ガ殆ドアリ餘ル程集ツテ居ルノデアリマス、斯フ云フコトヲ考ヘテ見マス、此ノ厚生上ノ見地カラ致シマシテ、又人間ノ本來ノ性能カラ致シマシテモ、ドウシテモ茲ニ土地ニ親シマシメル、此ノ國土計畫ト相俟ツテ都會地、工業地帯、機業地帯、礦山地帯ニ對シマシテハ、當然農地開發等ノ問題モ國土計畫ノ一部分トシテ施行サレナケレバナラスト思フゾデアリマス、現ニ國土計畫ヲ世界デ一番初メニヤツタノハ、一九二〇年ニ於テ「ドイツ」ノ「ルー」炭礦地帯ニ於テヤツタト云フ歴史モ承ツテ居リマスガ、私ハ其ノ結果ニ付キマシテ非常ニ效果的デアツタト云フコトモ承ツテ居ルノデアリマス、私ハ農林大臣ノ大本ナリト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ唯形式ダケノ農地ハナクシテ、總テノ人が農ニ親シムト云フコトハ非常ニ其ノ人ノ健康ノ上カラ致シマシテ、又氣分ノ上カラ致シマシテ眞ニ其ノ人ヲ完成セシメル、其ノ家族ヲ完成セシメル、斯ウ云フ見解カラ農業ハ國ノ大本ナリト云フコトヲ唱ヘタモノト思フゾデアリマス、農業ハ農家ダケノ農業デアルト云フ意味デハナイノデアリマス、所謂國家ヲ經營スル大本デアル、斯フ云フ日本ノ古來カラノ傳統デアリ、又

「ヒトラ」ガ「ドイツ」ノ「ルール」ノ礦山地帯ニ、約二百坪程度ト聞イテ居リマスガ、其ノ程度ノ耕地ヲ各抗夫ノ家庭ニ與ヘマシテ、其ノ健康ヲ増進シ、且ツ其ノ活動力ノ源泉ヲ養フ爲ニ其處ニ新鮮ナル所ノ食糧ヲ作ラシテ非常ニ成績ヲ擧ゲタ、今日日本ノ肺結核患者其ノ他厚生省ノ惱ミトスル所ノ日本人ノ虛弱ハ、實ニ工場ハ工場、都會地ハ都會地ト云フ限ラレタル所ノ生活様式ニ於テ、其ノ生活ノ完備ヲ期セント致シマスカラ、結局所期ノ目的ヲ達成シ得ナイノデアリマス、當然此ノ農地開發法案ハ國土計畫ノ方面ニ進んで、眞ニ國家ノ爲ニ農地ヲ萬民ニ利用セシムルト云フ政策ヲ立テナケレバナラスト思フノデアリマス、只今關聯ハシテ居ルト云フコトヲ承ツタノデアリマス

ルガ、内容のニハ此ノ都市ヤ工業地帯ニ對シマシテ、幾何カノ農地ヲ提供スル御意思ガアルカドウカ、又サウ云フ内容ヲ持ツテ居ルカ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○岸政府委員 國土計畫的ノコトト關聯シテ、農地ヲ開發スルト云フコトデアレバ、「ドイツ」ノ考ヘテ居ルヤウニ工場地帯ト關聯シテ、農地ノ開發ヲヤルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルカドウカ、斯ウ云フ御話デスガ、勿論此ノ内容ヲ御覽ニナリマスレバ、大規模ノ農地擴張ト云フコトト同時ニ、又小規模ノ農地擴張ト云フコトトモ含マレテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ計畫ノ遂行ニ當リマシテハ、農地ノ配分ヲヤツテ行ク上ニ於テ、地域的ノ配分、或ハ只今御話ノアリマシタヤウナ工業トノ關係ト云フコトニ付テモ、留意シテ開發ヲヤルコトハ考ヘナケレバナラスコトデアルト考ヘテ居リマス、是等ノ實行ニ付キマシ

テハ、十分關係ノ機關ト連絡ヲ致シマシテ、只今ノ御話ノヤウナ趣旨ニ付テモ、研究ヲシテ進ミタイト考ヘテ居リマス

○土田委員 只今ノ御答辯ヲ承リマシテ非常ニ満足致スモノデアリマスルガ現ニ東京近郊ニ於キマシテモ、日本ハ土地ガ非常ニ生産力ガ旺盛デアリマスカラ、一戸當リ百坪ノモノヲ土地ノ住民ニ與ヘテ、之ヲ利用シテ戴クト云フコトニ致シマスレバ、其ノ一家ノ殘滓ニ依リマシテ、立派ニ作物ガ出來ルノデアリマス、又日曜、土曜、祭日等ヲ利用致シマシテ、其處ニ家族ノ者ヲ連レテ行ツテヤリマスレバ、何等餘分ノ資材、勞力ヲ要セズシテ「トマト」ヤ、芋ヤ、胡瓜等ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、ソレガ又一面ニ於キマシテハ、偏狹ナル文化ニ囚ハレタル日曜日ニハ活動寫眞ヲ見ナケレバナラスト云フヤウナ、不生産的ナ享樂面ヲ清算シテ、眞ニ太陽ノ輝キニ感激シ、大地ノ愛ニ抱擁サレナガラ、宇宙ノ眞理ニ適合シタ植生作用ヲ自ラ示範シテ、ソコニ偉大ナル樂シミヲ感ジ得ルコトニナルノデアリマスカラ、私ハ一日モ早ク當局ニ於カレマシテハ此ノ方面ニ非常ナル御關心ヲ持ツテ、早速適切ナル方途ヲ講ジテ戴キタイト思フノデアリマス

更ニ農業立地問題ニ付テ伺ヒマスガ、先般述べマシタヤウニ、今日日本ノ林野ノ面積ハ實測サレテ居ラスノデアリマスガ、之ヲ實測致シマスレバ耕地面積ノ十倍位アルダラウト思ヒマス、假ニ二倍半ノ面積ガ増加致シマシテモ耕地面積ノ十倍デアリマス、現在日本ノ食糧政策、農業政策ハ、國土ノホンノ一割ニ足ラス所ノ地域ヲ利用致シマシテ、日本國民全體ノ満足ヲ得ヨウト致シ

テ居ルノデアリマスカラ、ソコニ非常ニ無理ガ生ズルノデアリマス、若シモ此ノ農業立地政策ガ眞ニ調査ガ出來マシテ、運行ノ運びニ至リマシタラバ、更ニノ開發致シ得ベキ所ノ地帯ガ、現在六百八十万町歩ノ耕地ノ倍力或ハ三倍マデモ擴大シ得ルト思フノデアリマス、由來本邦ノ農業ハ平坦デアツテ、水ガナケレバナラスト云フコトヲ原則ト致シテ居ルノデアリマスガ、眞ニ國際的ノ農業ハ、更ニ平坦デアツテ水ガアルト云フ以外ノ地帯ニ進出シ得ルコトハ今日明カナコトデアリマス、ソコデ政府ハ農業立地政策ノ實行ヲ促進スル意味ニ於キマシテ、林野ニ對シマシテ、拓殖道路ヲ造ルト云フコトノ重要性ヲ認メテ居ルカドウカ、此ノ點ヲモ伺ハント致スノデアリマス、茲ニ林野ニ立派ニ交通ガ出來マス所ノ拓殖道路ガ出來マスレバ、或ハ養鶏ヲヤルトカ、山羊、綿羊ヲ飼フ、乳牛ヲ飼フト云フコトニナリマシテ、幾多ノ人間ノ必要物資ガ、現在農地ニ非ザル所カラ提供シ得ラレルノデアリマス、唯其處ニ道路モナイシ、人モ行キ得ナイトフヤウナコトデアハ、百年經ツテモ人間ノ利用ガ出來ナイノデアリマスカラ、ドウシテモ先デ以テ此ノ拓殖道路ヲ開發致シマシテ、農業立地政策ト相俟ツテ、食糧ノ自給自足ヲ圖ツテ行クヤウニシナケレバナラスト思フ、現ニ「アメリカ」ニ於テハ、鶏ガ牛乳ヲ飲ンデ居ル、然ルニ日本ニ於テハ子供ニ飲マス牛乳サハ不足シテ居ル、コンナ馬鹿ゲタコトガ何處ニアルカ、而モ立派ナ大キナ土地ヲ持ツテ居リナガラ、唯計畫ガ出來ヌカラ今日國民ガ惱ンデ居ル、岸農政局長ハ其ノ方ノ權威者デアリマスカラ、是ハ吾々ガ申スマデモナイコトデアリマスガ、併シ

アタタノ立派ナ知識ヲ默ツテ藏ツテ居ツテハ何ニモナラスノデスカラ、其ノ知識ガ十分活用出來ル前提ト致シマシテ、先ツ拓殖道路ヲ造ルト云フコトニ非常ニ重要性ガアルコトヲ御認メニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○岸政府委員 日本ノ林野ガ非常ニ廣イ、之ヲ開ケバマダ食糧デモ澤山ニ獲得出來ルソレニハ農業立地ノ計畫ガ出來、ソレニ從ツテ必要ガアルナラバ、拓殖道路ヲ開ク必要ガアル、ソレヲ認メルカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、洵ニ御説ノ通りデ、日本ノ林野面積ガ廣イノハ國土柄デハアリマスルガ、全ク他ノ國ニ比ベテ其ノ率ガ大キイノデアリマス、今回ノ計畫モ是等ノ土地ニ付テ未墾地ノ調査ヲヤリ、其ノ中デ最モ效果のデアルト云フモノヲ選ンデ開發ヲ行ツテ居ルト云フヤウナ譯合デアリマス、併シ是ノミデ十分デアルト云フヤウナ問題デハナイノデアリマスルカラ、將來ニ於テ十分調査ヲシテ、出來得ル限りノ開發ニ努メナケレバナラスト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、併シ國土計畫ト云ヒ、農業立地計畫ト云ヒ、何レモ不可分ノ問題デアラウト思フノデアリマス、農業立地計畫等ニ付テハ、國土計畫中ノ一ツノ事トシテ考ヘテ居ル、サウシテ或ハ全體的ニ、或ハ地域的ニ——地域的ニスルナラバ其ノ農地トシテ開發出來ルモノニ付テ如何ナル計畫ヲ樹テルカ、其ノ計畫ニ從ツテ必要ガアレバ開拓道路モ作ルト云フコトハ當然デアラウト思フノデアリマス、今日或ハ林道ト呼バレ、或ハ農道ト呼バレテ居ルモノモ、是ハ見方ニ依ツテハ一種ノ開拓道路ダラウト思ツテ居リマス、併シ今御話ノヤウナ非常ニ規模

廣大ナル所ノ考ヘ方ニ於ケル開拓道路ト云フモノハ恐ラクサウ云フ風ヲ調査ヲナシ、計畫ガ立ツタ後ニ考ヘルコトデアラウト考ヘラレマス、勿論サウ云フヤウナ必要ガアリマス、其ノ大筋ヲ作ル所ノ道路ニ付テハ、十分考慮シナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○土田委員 次ニ有畜農業ニ關シマシテ當局ノ所見ヲ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、由來家畜ナキ所農業ハナシ、是ハ世界全般ヲ通ジテ農業政策ノ根幹デアアルノデアリマス、現今ノ日本ノ執ツテ居ル政策ハ、單一ナル穀食農業ヲ其ノ主體ト致シテ居ルノデアリマス、仍テ關東以北ノ地帯ニ於キマシテハ、土地ヲ生産的ニ利用シ得ナイ時ハ農民ハ何等ノ收入ガナイノデアリマス、ソコニ家畜ト云フモノガアリマスレバ卵モ出來ル、牛乳モ出ス、綿羊ガ毛ヲ生産スル、斯ウ云フヤウニ農家ガ一年ヲ通ジマシテ收入ガアルノデアリマス、ソレヲ單ナル穀食農業ニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマシテ、洵ニ農家ノ疲弊困憊ノ理由ノ一ツハソコニ存シテ居ルト思フノデアリマス、世界ノ優レタル農村國ノ「デンマーク」ニ致シマシテモ、一八二二年以前ハ全ク穀食農業デアリ、「アメリカ」モ南北戰爭以前「アメリカ」ハ全ク單一ノ穀食農業デアツタ、併シナガラ是デハ國家ガ持タスト云フノデ有畜農業ヲヤツタ、有畜農業ヲヤル際ニハ殆ド耕土ノ半分ヲ潰シテモ家畜ノ飼料ヲ栽培シタ、然ラバ其ノ穀食農業ノ收穫ガ段別ノ減ツタニ比例シマシテ、當然穀物ノ收穫ガ減收致サナケレバナラヌノデアリマスガ、家畜ト農業ト綜合的ノ計畫ガソコニ成立ツノデアリマシテ、所謂土地ガ狭クテモ十分ナル肥料

ヲ耕地ニ施スコトガ出來ル、其ノ結果耕地ノ面積ハ減ツタケレドモ、更ニ穀食類ノ收量ハ決シテ全般的ニ減ラナイ、斯ク考ヘテ見マスレバ如何ニ家畜ト農業ト云フモノハ、有機的ニ關聯性ガ多イカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在日本ノ家畜飼養管理ノ狀況ヲ見マスレバ、全ク馬ヲヤレバ馬損スル、牛ヲヤツテモ中々利益ハ出ナイ、斯ウ云フヤウナ状態デアアルノデアリマス、ソレハ家畜ノ飼料資源ヲ政府ガ何等考慮ニ入レテ居ラヌ、家畜飼料ノ供給資源ヲ高イ運賃ノ掛ル國外ニ求メテ居ル、依存シテ居ル、内地ニ於テ十分飼料ヲ供給スル餘地ガアリナガラ、是デハ幾ラ家畜ヲヤレ、有畜農業ヲヤレト申シマシテモ、テンデ掛聲ダケデ實績ハ擧ラヌ、卵ニ致シマシテモ、乳ニ致シマシテモ、今日ノ如ク需要ヲ滿シ得ナイ惱ミニ國民ガ嘆イテ居ル、此ノ有畜農業ノ重要性ハ申スマデモナイコトデアリマスガ、此ノ重要性ヲ認メテ如何ニ具體化シテ行クカト云フ所ノ御方針ガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ於キマシテドウ云フコトヲ今後御計畫ニナル御所見デアルカ、伺ヒタイノデアリマス

○岸政府委員 有畜農業ノ經營ニ付キマシテドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルカト斯ウ云フ御尋ネデアリマス、有畜農業ガ大切デアルト云フコトハ只今御話ノアリマシタ産物ヲ作ルト云フ以外ニ、農業ノ經營上カラ土地ニ有機物ヲ殘シ、養分ヲ殘シ、又土地カラ出來タモノヲ其ノ力ニ依ツテ土地ニ還元シテ行クコト云フ所ニ、有畜農業ノ大切ノ點ガアルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ意味合ニ於テ現下非常ニ農地ニ色々ナ負擔

ガ掛ツテ來テ居ル際デアリマスカラ、極力之ニ依ツテ地力ヲ培養シ、維持シテ行クコト云フコトニ力ヲ盡サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、有畜農業ヲヤルト云ツタヤウナコトハ、サウ云フ意味合ニ於テ是カラ先非常ニ大切デアアルト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ機構改革ニ依ツテ、畜産局ノ一部ノ生産ノ仕事ガ農政局ノ一部ニナツタト云フヤウナコトモ、サウ云フ風ニ地力ノ培養ヲシ、其ノ他ノ施設ト相俟ツテ、農家經營ヲ安固ニスルト云フヤウナ考ヘ方デアアル譯デアリマス、デアリマスカラ今後トモ此ノ點ハ農業經營ト配合ハシテ、極力ヤツテ行クコト云フ考ヘテ居リマス、之ニ對スル飼料ノ問題ニ付テハ、此ノ前此ノ委員會デ御話ヲ申上ゲマシタ通りデ色々努力ヲシテ居リマス、今回ノ農地開發ニ於ケル自作農ノ創定ニ當リマシテモ、其ノ經營ヲ農畜農業ヲ基調トスルモノニ致シテ居リマス、デアリマスカラ今回出來マスル自作農ハ何レモ家畜ヲ持ツヤウニスル、其ノ基本ニナル所ノ家畜ダケハ助成ヲスルト云フコトデ、大動物ノ助成ヲ行フ、其ノウチニ經營ガ進ムニ從ツテ他ノ有用家畜ヲ飼ツテ、サウシテソコニ出來ルモノニ依ツテ生産ヲ行ナツテ行ク、又ソレニ依ツテ地力ノ培養ヲ圖リ、地力ノ維持ヲ圖ル、是等ノ實情カラ云ヒマスルト、過般ノ農業挺身隊ニ集マツタ人々ノ意見ヲ聞イテ見マシテモ有利ナ堅實ナ農業ヲシテ居ルト云フノハ絶對有畜農家デアアル、即チ有畜農業ヲ營ムコトニ依ツテ地力ノ維持ヲ圖リ、ソレニ僅カバカリノ工業肥料ヲ加ヘテ農業生産ヲヤツテ、何レモ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フヤウナ實情デアリマスカラ、今回開拓ヲヤ

ツテ行ク所ノ農家ハ、何レモ有畜農業ヲ中心トシテ行キタイト云フ考ヘテ進ンデ居リマス

○土田委員 只今國土ノ培養上有畜農業ガ必要ダト云フ御話デアリマス、家畜ノ堆肥、厩肥、糞尿ノ處理ニ對シマシテ、日本ノ現在執ツテ居ルヤリ方ハ、其ノ六割ノ有效成分ガ四散致シマシテ、殘ル所ハ四割シカナイ、之ヲ合理的ニ處理致シマスルト、二割飛ンデ八割、サウスルト現在日本ニ家畜ガアツテモ、國土ノ培養ノ爲ニ家畜ノ飼料ヲ入レルト致シマス、半分シカ實際的ニ效果ガナイ、是ガ現實ノ姿デアアルノデアリマス、政府ハ有畜農業ヲヤル反面ニ於キマシテ、家畜ノ厩肥ノ處理ト云フコトニ對シテドウ云フ政策ヲ執ツテ居ルカ、今回提案ノ開墾地帯ノミナラズ、一般農家ガ此ノ非常ニ重大ナル所ノ資材ヲ四散サセテ居リマスカラ、是ハ最モ緊要ノ問題デアリマシテ、此ノ處理ニ對シテ十分ナル助成金ヲ與ヘマシテ、合理的策ヲ立テ御見込ハナイノデアリマセウカ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス

○岸政府委員 其ノ點モ過日誰カノ御質問デ御話申上ゲタト思ヒマスガ、自給肥料ノ確保ノ豫算ノ中ニ、多分十七萬圓程度デアツタト思ヒマスガ、畜舍所ヲ改造致シマシテ、之ニ依ツテ尿ノ四散スルノヲ貯溜シテ、ソレヲ有效ニ使フ、是ハ畜産試驗所ノ前カラ分ツタノデ、ソレヲ實行ニ移シタノデアリマス、將來共ソレヲ擴張シテ行キタイト思ツテ居リマス

○土田委員 僅カ十七萬圓ノ金デ、何頭ノ家畜ニ對シテ處理ガ出來ルノデスカ、單ニ

サウ云フモノヲ羅列シテ斯ウ云フ獎勵ヲスルト言ハレルガ、十七萬圓位デハ何ニモナラス、サウ云フ點ハ豫算ノ關係ガアツテ、大藏省ノ認識ガナカツタ爲ニサウナツタト思フノデスガ、少クトモ五箇年計畫位ニ致シマシテ、大凡六千萬圓程度ノ金ガドウシテモ要ルト云フコトハ明カデアアルノデアリマス、若シ日本ノ家畜ノ糞尿ノ處理ガ出來マスレバ、加里ハ別デスガ、窒素燐酸ハ國外ニ出シテモ宜イト云フ程度ニマデ研究ガ進ンデ居ルノデアリマス、ソレ程貴重ナモノヲ四散シテ、サウシテ重要ナル肥料ヲ石炭トカ電氣ニ求メルトカ、或ハ國外ニ資源ヲ求メテ居ル、加里ニ致シマシテモ木炭材ヲ利用致シマスレバ、「ドイト」カラ六千「トン」モ輸入スル必要ハナイ、是ハ明カナ事實デス、何モ日本ニアルモノヲ流シテ外國ニ依存シナケレバラスト云フヤウナ政策ハ、是ハ國ヲ誤ル虞レガアルノデアリマスカラ、必要ナモノデアリマスレバ、「ドシ」ヤル、十二年度ニハ十二萬圓、十三年度ニハ十四萬圓、十五年度ニハ十七萬圓、既合改良費位デハ何ニモナラナイ、此ノ點、於テ眞、農家ノ爲ニ根強ク農林當局ハ奮ツテ國論ヲ起スマズニ、問題ヲ解決スル義務ガアルト私共ハ思フノデアリマス、是ハ希望トシテ御願ヒ致シテ置ク次第デアリマス

次ニ管理統制ト生産ニ付テ伺ヒマス、最近總テ米デモ、炭デモ國家管理統制ノ下ニ置カレルノデアリマス、然ルニ統制ハ私共異存ナイノデアリマスガ、此ノ統制ノコトヲ根本的ニ考ヘテ見マス、生産、配給、消費此ノ三段構ヘノ統制デアリマス、生産者ハ消費ニ必要ナダケ生産スレバ宜イト云フコトガ、今日生産者ノ頭ニ滲込ンデ居リ

マス、消費以上ノモノヲ生産スレバ價格ガ安クナツテ來ル虞ガアル、詰リ生産、消費、配給ト云フ建前デ行クノデスカラ、何レモ偶々消費者ノ間ニ合フヤウナ生産ヲシテ居リマスレバ一定ノ利潤ガ得ラレルト云フ建前カラ、中々増産ハシテ行カナイ、ソレヨリモ在來ノ生産、價格、消費ト云フ建前デ參リマスレバ、幾ラ増産シテモ此ノ價格デアツテ吳レル、商人ハ思惑デ買ツテ、失敗スレバ商人ガ責任ヲ負ウテ、昨日百萬圓寄付シテ今日裏長屋住ヒ、ソレダケノ犠牲ヲシテモ生産者ガ擁護サレテ居ツタ、其ノ制度ガ潰レタカラ、何時デモ消費者ヲ擁護スル生産ヲシナケレバナラス、採算ガ取レヌト云フノデ、炭ニ於テモ、米ニ於テモ、慘憺タル有様デアリマス、私ハ統制ニ異論ハアリマセヌガ、先般來新聞デ見マシタ通り、「ロシヤ」デサヘ一定率ノ最低生産量ヲ決定致シマシテ、ソレ以上ノ増産ガアツタ部分ニ對シテハ、其ノ生産者ノ自由意思ニ依ツテ適當量ヲ認メルコトニナツテ居ル、幾ラ増産シテモ増産シタ其ノ數量ガ全部管理サレルト云フコトハ、生産者カラ見レバ非常ニ大キナ惱ミデアリマス、統制ハ宜シイガ、曾テ誤ツタ「ロシヤ」ノ眞似ヲシテ統制ニ向ハントスルコトデハ當然生産ガ低下スル、生産ノ低下ヲ防グ爲ニ、今日「ロシヤ」デモ管理ト云フコトニ付テハ、生産者ニ對シテ非常ニ恩典ヲ與ヘル政策ヲ執ツテ居ル、政府ハ將來其ノ點ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ、伺フノデアリマス

○岸政府委員 御質問ノ意味ガ能ク分ラナカツタノデアリマスガ、大體斯ウ云フ意味ニ承知スレバ宜シイノデアリマスガ、農産物ナドノ生産ハ生産、配給、消費各方面ガ

統制ニナツテ居ル、昔ハ自由デアツタカラ農民、商人ハ註文ニ應ジテ幾ラデモ利益ノアルモノヲ作ツタ、今デハサウ行カナイ、利益ガ上ラヌ、ダカラ或ル程度以上生産シタモノハ自由ニスレバ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ意味デアリマスカ

○土田委員 大體サウ云フ意味モ含ンデ居リマス

○岸政府委員 サウ云フ點ニ付テハ色々考ヘ方ガアルダラウト思ヒマス、「ロシヤ」ノコトハ私能ク存ジマセヌガ、兎ニ角現在ヤツテ居ルコトハ消費ノ統制或ハ食糧ヲ管理スルヤウナコトハ、生産ガ非常ニアリ剩ツテドウデモ宜イト云フ状態デナイノデ、其ノ點ヲ統制シテ、必要ナモノガ必要ナ所ヘ適正ナ状態デ行クト云フコトヲ狙ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、隨ヒマシテ只今仰シヤツタヤウナ事態ハ中々生レテ來ル譯デハナイ、縱シ多少ノ増加ガアツタトシテモ、其ノモノハヤハリ餘額トシテ管理ヲシ、サウシテ非常ノ場合ニ於ケル豫備トシテ貯蓄スルト云フヤウナ體制ヲ整ヘナケレバナラヌ時代デハナイカト考ヘテ居リマス、勿論自由ニ賣ラセレバ自由ニ高ク賣レルト云フ考ヘ方モアラウト思ヒマス、サウ云フ風ニスレバ自然或ル特殊ノモノハ特殊ノ享樂モシ、特殊ノ利益モ受ケル、ヤハリソコヲ所ハ今ノ状態ト配合ハセテ普通一般ノ統制ヲスル必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○土田委員 只今ノ統制ト云フコトニ對シマシテハ、私共ハ決シテ之ニ反對ナノデハナイノデアリマス、唯統制ノ行キ過ギタ結果生産ヲ増加スルドロカ、統制シテ却テ生産ガ低下シテ來ル、十四年ヨリモ十五年

ハ低下シタ、十三年ヨリモ十四年ハ生産ガ低下シタ、是ハ何故カト云フト、農民ハ非常ニ敏感デアアル、アナタ方ハ農民ハ鈍重ノヤウニ考ヘテ居ツテモ、農民ハ收入ト云フコトニ對シテハ非常ニ敏感デアアル、ソレガ所謂農業ノ進歩ニモナツタ、例ヘバ之ヲ植エレバ一反カラ一升餘計ニ穫レルト云フヤウナコトデ、品種ノ改良モ一ツノ收穫ト云フコトヲ見込ミテ其ノ進歩發達ガアツタ、現ニ一山百文ト云フコトハ何處ノ市場デモアル、澤山出テ來レバ、一ツ五錢モシタ茄子ヤ胡瓜モ、山ニ積ンデ五錢ト云フ、餘計生産スルト必ズ價格打タレルカラ少ク生産スル、元ハ一ツノ商行爲ハ或ル見込ヲ付ケテ買フ、幾ラ生産シテモ賣レル、見込ヲ付ケテ賣リ得タノデアリマス、又一定ノ價格デ買ヒ得タノデアリマス、現在ハサウデナイ、一旦消費量ヨリ餘計生産シタ場合ニハ、配給スル必要ハナイカラ、政府ハ統制シテシマツテ、ソナモノハ要ラス、斯ウ云フ風ニナツテ來ルカラ生産出來ナクナル、先般議會局ノ第七分科ノ協議會ニ於キマシテモ、何トカ政府ノ管理スル以外ノ、所謂増産ニナツタ部分ハ、炭デモ米デモ生産者ノ自由裁量ニ任シテ裁キタイ、サウナレバ相當ノ増産ガナシ得ル、作ツタモノヲ全部取ラレシマツテ、而モ餘分ニ作レバドレダケ價格ニ蹴ラレルカモ知レナイ、毎年々々市場ニ於テ一山百文、斯ウ云フ投資リ同然ニ價格ヲ蹴ラレル、サウ云フ虞レガ深刻ニ農民ノ頭ニ入ツテ居ルカラ、此ノ統制管理ト云フコトノ運用ニ對シテモ、モツト慎重ナル態度デ、行過ギヌヤウニ、農民ノ精神ノ實體ニ觸レテ、増産計畫ニ方針ヲ向ケテ行ク、サウスルニハドウスレバ宜イカ、唯

六法全書タケ見テ、是ガアレバ増産ガ出來ルト云フ譯ノモノデアリマセス、現實ニ減産シテ居ル、此ノ點ニ對シテハ十分農民ノ心理ヲモ御考ヘ下サイマシテ、將來ニ於テ適當ナル方策ヲ立テ戴カントコトヲ切望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス。

○村上委員長 次ハ北君ニ御願ヒスル積リデアリマスガ、今厚生省ノ方カラ衛生局長ガ見エテ居リマス、是ハ坪山君ノ御希望ガアルト云フコトデアリマスカラ、便宜上坪山君ニ其ノ點ニ付テノ質疑ヲ許シマス——坪山君

○坪山委員 時間ノ關係デ極メテ簡單ニ御尋ネシタイト思ヒマス、農村ノ衛生状態ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、元來農村ノ衛生状態ハ極メテ良好デ、吾々ハ誇リトシテ居ツタノデアリマスガ、近時農村ノ衛生状態ガ惡イヤウナ傾向ニ向フノデハナイカト思ヒマス、殊ニ多クナツタノハ胸ノ病、

結核病患者ガ月ト共ニ多クナルヤウナ傾向ガアル、農村ノ子弟ガ軍需工業地或ハ大都會ニ色々ナ勞務ノ爲ニ備ハレテ參ツテ居リマスガ、ソレガ一度病ニ罹リ、或ハ疑ハシイ胸ノ病ノ傾向ニナルト、直チニ農村ノ實家ニ歸サレル、農村デハ知らズ識ラズ其ノ家ノ者ハ其ノ病ニ感染ラシテシマフト云フヤウナ傾向ガアル、吾々ノ調査ニ依リマシテモ、相當ノ數、ヤハリ農村ニ散在ヲ致シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス。

○加藤政府委員 只今農村ノ衛生状態惡化ノ懸念ガアルガ、政府ノ考ヘ方ハドウカト云フ御趣旨ノ御尋ネデゴザイマスガ、御話ノヤウニ從來ニ於キマシテハ、農村生活環

境ハ頗ル衛生的デアリマシテ、之ヲ大都市等ニ比ベマスト、餘程其ノ點ハ樂ニ考ヘラレテ居ツタノデアリマスガ、御話ノ通り近時ハ都市ト農村トノ人ノ交流ガ中々頻繁ニナリマシテ、殊ニ御指摘ノヤウナ病ヲ得テ歸農スル、サウシテ農村ニ各種ノ病氣ヲ蔓延セシムル虞ガアルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、厚生省當局ニ於テモ、種々苦心ヲ致シマシテ對策ヲ講ジテ居ルノデアリマス、例ヘバ結核ニ例ヲ取リマシテモ、工場ニ於ケル豫防ノ施設、或ハ治療ノ施設等ニ付キマシテモ、色々ト考慮スベキ點ガアルヤウデゴザイマス、又農村ニ歸リマシタ者ノ治療、療養ノ施設等ニ付キマシテモ、國費多端ノ折柄デハゴザイマスガ、事情ノ許ス限りノコトヲ計畫致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ地方ニ依リマスト、全然醫師ノ居ナイ村等ガアリマシテ、本人ニ折角何トカシテ治シタイト云フ志ガアリマシテモ、容易ニソレガ遂ゲラレナイト云フヤウナコトガアリマシテハ、容易ナラヌコトデモアリマスノデ、無醫村ニ醫師ヲ成ベク行互ラセルヤウニスルトカ、或ハ主要ナ中心地ニハ御承知ノ保健所ヲ段々ト設置致シマシテ、此ノ保健所ヲ中心ニシテ、農村ニ於ケル衣食住ノ衛生的生活ノ指導、或ハ醫師其ノ他ヲ巡回セシメマシテ、巡回輔導ト云フヤウナ方法モ段々ト講ジツツアルノデアリマスガ、個々ノ具體の場合ニ付キマシテハ、或ハ未ダソレ等ノ政府ノ施設ノ手ノ及バナイ所モアラウカト憂ヘテ居ル次第デアリマシテ、今後ハ御趣旨ノヤウナ點ニ付キマシテハ一層全力ヲ注イデヤツテ參リタイ、斯様ニ今存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス。

○坪山委員 御説明デ能ク分リマシタガ、ドウカ傳染性ヲ持ツ結核トカ、或ハ其ノ疑ノアルヤウナ者ニ付キマシテハ、都會ニ來テ折角働イテ居ツタ者ガ國ノ方、所謂農村ノ方ニ歸ルヤウナ場合ニハ、斯ウ云フ疑ガアルカラ家ノ者ハ氣ヲ付ケロト云フヤウナコトデ、出來ルダケ他ノ者ニ感染ラシナイヤウニ、殊ニ農村カラ都會ニ出シテ居ルヤウナ家庭ハ、其ノ家屋或ハ居室等ニ於テモ全ク慘メナ家屋ニ入ツテ居ルノデアリマシテ、特ニ傳染シ易イノデアリマスカラ、ドウカサウ云フ點ニ付キマシテノ出來ル限リノ御骨折ヲ願ヒタイノデアリマス、今モ御話ニアリマシタガ、事變以來農村、殊ニ不便ナ所ニ於キマシテハ醫師ノナイ所ガ相當アリマス、サウ云フ點ニ付キマシテモ、出來ル限リノ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、殊ニ非常ニ不自由ヲ感ジテ居ルモノハ簡單ナ藥品例ヘバ「ヨジウム」トカ其ノ他風邪ヲ引イタ時ニ飲ム「アスピリン」トカ、サウ云フヤウナモノガ非常ニ缺乏ヲ致シテ、實際ニ困ツテ居ル場合ガ多イノデアリマス、斯ウ云フ衛生ノ藥品、或ハ資材等ニ付テノ配給ノ状態ハ、十六年度ハ決シテ心配ナイト云フ御見込デアリマスガ、是等ノ點ニ付テ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○加藤政府委員 藥品ノ需給狀況デゴザイマスガ、事變ガ始マリマシテ以來、生産ノ方面ハ色々ナ惡條件ニ逢着致シマシテ、中十分ニ伸ビナイノニ、需要方面ニナリマスト軍需ハ勿論デアリマスガ、非常ニ激増致スヤウナコトデ、之ヲ其ノ儘放任致シマスト、國民保健ノ上ニ一日モ缺クベカラザル醫藥品ノ缺乏ヲ來スト云フコトニナルノハ當然ノ道行デアリマス、政府ト致シマシ

テハ醫藥品ハ軍需品ニ準ズルモノトシテ重點ヲ置キマシテ、是ガ國産品ニ付キマシテハ工場其ノ他ニ手當ラシマシテ、生産ノ確保、増産ヲ物動其ノ他ノ系統ヲ辿リマシテ一生懸命致シテ居リマス、輸入ニ仰ガナケレバナナイ品物等モ段々ゴザイマスガ、是等ニ付キマシテモ、輸入或ハ國産ヲ以テスル代用ト云フヤウナコトニ付テ、出來ルダケノ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ配給ノ部門モ、ドウモ品物が足りナイト云フコトニナリマスト一層足りナクナル、其ノ聲ニ連レテ一層行渡ラナクナルト云フコトガゴザイマスノデ、昨年ノ五月以來全國ニ、主要ナドウシテモナケレバナラナイ醫藥品ヲ選ビマシテ、配給機構ヲ整ヘマシテ、物ニ依ツテハ切符等デ配給ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ致シテ見マシテ數量ヲ段々調ベテ見マスト、一兩年前ヨリハ、最近ニ於キマシテハ餘程其ノ生産ノ増シテ居ル品物ガ多イノデアリマス、中ニハ事變前、或ハ二三年前ニ比ベマシテ生産ガ減少シテ居ルモノモアルノデゴザイマスガ、大局的ニ申シマスレバ、餘程増産ガ出來タヤウニ考ヘテ居リマス、十六年度ノ今後ノ見込ト致シマシテハ、特別ノ事情ガアリマセヌ限リハ、生産ノ方面ノ努力ト、配給機構ノ活動トニ依リマシテ、先ヅ前年ヨリモ逐次少シヅツデモ改善サレテ行クノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○坪山委員 能ク分リマシタ、ドウカ層一層圓滿ニ行クヤウニ御骨折ヲ願ヒタイト思ヒマス、厚生省ニ對スル質問ハ是デ終リマス。

○村下委員長 序ニ資材部長ガ見エテ居リ

マスカラ、資材部長ニ對スル質疑ヲシテ下
サイ

○坪山委員 屢、問題ニナツテ居リマスノ
ハ、農村ノ勞働力ノ問題デアリマスガ、其
ノ中、大動物、馬、牛等ニ依ルコトハ決シテ
少クナイト思ヒマス、ドウシテモ是等ニ期
待ヲ掛ケナケレバナラヌト思フノデアリマ
スガ、是等ヲ利用スルニ於テ將來一番困
ルハナイカ、殊ニ今日ノヤウニ國際情勢カ
ラ考ヘマシテ、將來非常ニ困ツタ問題ガ出
來ルデヤナカラウカト心配致シテ居ルモノ
ハ、牛馬ニ對シテノ裝蹄ノ材料デアリマス、
謂ハバ鐵ノ材料、裝蹄用ノ鋼材或ハ蹄釘ノ
問題デアリマス、言フマデモナク蹄釘ノ如
キハ、戰前ハ殆ド全部「スイツル」ニ依
存ヲ致シテ居リマシタ、其ノ後何割カラ米
國ニ求メテ居ルノデアリマスガ、今日ノヤ
ウナ國際情勢ニ於キマシテハ、何時此ノ蹄
釘ノ如キモ輸入ガ杜絶スルカモ分ラヌヤウ
ナ状態デアリマス、殊ニ鐵ノ問題ニ付キマ
シテモサウ云フ憂ヒガ多分ニアルノデアリ
マス、若シ是ガ圓滑ニ配給ガ出來ナイヤウナ
コトニナリマスレバ、極端ニ言フナラバ、今
日牛ナリ馬ハ鐵ナクシテハ、馬ヤ牛トシテノ
十分ナル能力ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデ
アリマスカラ、斯ウ云フ將來ノ見透シ――
將來デナク、現ニ十六年度ノ見透シニ付テ
ノ御考ヘテ承リタイト思ヒマス

○重政政府委員 先般豫算總會ノ秘密會デ
主要物資ニ付テノ最近ノ實情、殊ニ此ノ國
際情勢ノ緊迫下ニ連レテノ十六年度並ニ其
ノ以降ニ於ケル鐵、石炭、其ノ他ノ主要物
資ノ見透シニ付キマシテハ、企畫院總裁カ
ラ色々詳細ニ述ベラレタ通りデアリマス、
鋼材ニ付キマシテモ、十六年度ハ必ズシモ

樂觀ヲ許サナイト云フ實情ニナツテ居ルコ
トハ御承知ノ通りデアリマス、併シ蹄鐵關
係ノ鋼材ニ付キマシテハ、殊ニ只今御述ベ
ニナリマシタヤウナ事情カラ致シマシテ、
食糧ノ生産ニモ關係ガアリ、一面ニ於キマ
シテハ軍用保護馬ノ關係、軍馬ノ關係等モ
アリマスノデ、物動ノ編成ニ當リマシテハ、
特別ノ考慮ヲ此ノ方面ニ拂ツテ居ルノデア
リマス、特定ニ分離ヲ致シマシテ、需要量
ニ對シテ相當量ノ鋼材ヲ認メテ、物動計畫
ヲ編成致シテ居リマス、最近ノ情勢ニ依リ
マシテ、色々窮屈ニナツテ居リマスケレド
モ、尙ホ此ノ蹄鐵關係ノ鋼材ニ付キマシテ
ハ特別ノ扱ヒヲ致シテ、本年度ノ物動ノ實
行ヲ致シテ居ルヤウナ状態デアアルノデアリ
マス、十六年度物動ノ編成ハ目下其ノ編成
中デアリマスノデ、物動上下ウ云フ風ニナ
ルカト云フコトハ只今申上ガ兼ネマスケレ
ドモ、大體本年度及ビ前年度ノ物動編成ニ
當リマシテノ扱ヒト、少クトモ同様ノ扱ヒ
ヲ此ノ方面ニ對シテハ致シテ行キタイト云
フノデ、企畫院ト今折衝ヲ致シテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス

○坪山委員 鋼材ニ付テハ能ク分リマシタ
ガ、蹄釘ハ現在其ノ大部分ヲヤハリ米國ニ
仰イデ居ルヤウナ工合ニナツテ居リマスル
ガ、若シ極端ニ言フナラバ、米國カラ少シ
モ入ラナクナツタト云フヤウナ場合ニ於テ
ハドウナルカ、其ノ場合ニハ、内地ノ國產
品デヤルトカ、サウ云フ點ニ付テノモウ少
シハツキリシタ御答ヘラ願ヒタイ

○重政政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、
私カラ申述ベマスヨリ、其ノ専門家ノ馬政
局ノ政府委員カラ申上ガタ方適當デアラ
ウト思ヒマスガ、私ノ聞及ンデ居リマス所

デハ、坪山サンノ御述ベニナリマシタヤウ
ニ、戰前ハ殆ド蹄釘ハ全部輸入ヲシテ居ツ
タヤウナ状態ノヤウニ聞及ンデ居リマスガ、
最近ニ於キマシテハ、國產品ヲ以テ或ル程
度行ケルノデハナイカト云フヤウナ話モ聞
イテ居リマス、尙ホ其ノ點ニ付キマシテハ
詳シイコトハ、馬政局ノ政府委員カラ御答
ヘラ申上ゲタ方適當デアラウト考ヘマス

○坪山委員 後ノ機會デ結構デスカラ、馬
政局ノ其ノ方ノ専門家カラ今ノ點ニ付テ伺
ヒタイト思ヒマスカラ、ドウカ委員長ニ於
テ御取計ヒテ願ヒマス

○村上委員長 次ノ機會ニ呼ブコトニシマ
ス

○坪山委員 實ハ是ハ企畫院ニモ關係ガア
ルノデスガ、企畫院ノ方ガオイデニナラヌ
ノデ已ムヲ得マセヌ、商工省ニモ關係ガア
ルト思ヒマスカラ伺ヒマスガ、鋼材ノ配給
ノ徑路デスガ、是ハ今日マデ商工省ノ關係
ニナツテ居リマシテ、他ノ鐵鋼組合等ノ一
部分ニ入ツテ、各府縣ガ之ヲ配給致シテ居
ルヤウナコトニナツテ居リマス、併シ裝蹄
師自體ノ監督ト云フモノハヤハリ農林省ニ
アルノデアリマシテ、是等ノ配給機構ニ付
キマシテハ、ヤハリ農林省ノ監督ノ下ニ、
農林省ガ之ヲヤルト云フコトニスルコトノ
方ガ一本調子ニスルナリ流レル、少シ極端
ニ言フナラバ、折角蹄鐵用トシテ配給セラ
ルベキモノガ、他ノ方ノ鋼材ニ利用サレル
憂ガアルノデハナイカ、寧ロ是ハ農林省ノ
方ニ商工省カラ移管シテ、一本調子ニ配給
サレル方ガ宜イデヤナイカ、監督サレル方
ガ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ思フノ
デスガ、之ニ對シテノ御考ヘハ如何デアリ
マスカ

○重政政府委員 農林漁業專用物資ニ付キ
マシテハ、農林省專管ニ依リマシテ、配給
ヲ致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマ
ス、今ノ御指摘ニナツテ居リマス蹄鐵ノ問
題デアリマスガ、其ノ原料タル鋼材ノ配給
ニ付キマシテハ、現物ヲ製造業者ニ渡シマ
スコトハ、商工省關係ノ工業組合、其ノ他
ノ關係ニ於テ流シテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、是ガ割當ニ關シマシテハ、農林省ガ
ヤツテ居ル、斯ウ云フ現在ノ狀況ニナツテ
居ルノデアリマス、是ガ只今仰セニナリマ
シタヤウニ、ソレノモノヲ總テ專用物
資ノミデナク、或ハ石油ニ付テハ農林漁業
用ノ石油デアルトカ、或ハ農林漁業用ノ製
品ヲ製造スル原料デアアル只今ノ鋼材デア
ルトカ、其ノ他ノヤウナ物資ヲ全部別ニ、一
ツノ專門ノ機關ヲ作ツテヤツタ方ガ的確デ
ハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ實
ハ私共ト致シマシテモ、一長一短ガアルノ
デアリマス、殊ニ農林漁業用ノ生産資材ト
申シマシテモ、製品ノ原料デアアル鐵鋼其ノ
他ノモノヲ、獨立シテ農林系統デヤルト致
シマシテモ、其ノ「メーカー」ガ共同デア
ルナラバ、農林漁業用ノ製品以外ノモノヲ製
造シテ居ルナラバ、只今仰セニナリマシタ
ヤウニ、相互ニソコニ融通スル處ガアル
コトハ同ジヤウニアルノデアリマス、例
バ農具ニ付テ申シマシテモ、農具「メー
カー」ト云フモノガ農具ガケラ製造シテ居
ルナラバ、是ハ原料ヲ別ニ致シテ置キマスレ
バ、的確ニ行クノデアリマスガ、色々ナ電
動機其ノ他ヲ製造シテ居ルト云フヤウナ場
合ニ於キマシテハ、必ズシモ原料ダケヲ分
ケテモ、是ハ仰セニナリマシタヤウナ譯ニ
ハ一寸參ラナイト云フヤウナ關係ガアリマ

スノデ、大體ニ於キマシテ、現在デハ此ノ割當ノ方面ニ付キマシテハ、農林省ニ於テ之ヲヤル、製品ヲ流シ、其ノ製品タル原料ヲ流スコトニ付キマシテハ、是ハ從來ノ商工省ノ機構ヲ使ツテヤツテ行ク、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、現狀ト致シマシテハ、大體ソレデ行クヨリ外ハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論其ノ弊害ヲ矯正シテ、其ノ配給統制ヲ強化スルヤウナ方法ヲ講ジマシテ漸次改善致シテ行クコトハ勿論デアリマスガ、大體ノ筋道トシテハ、サウ云フ行キ方デ行クヨリ外ハナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○坪山委員 御話ハ能ク分リマシタガ、農林省デ數量タケテ割當テテ府縣ニ渡ス、併シ府縣ニハ色々ナ事情モアリマスシマスノデ、實際是ガ裝飾用ニ使ハレル數量ト云フモノハ、農林省デ割當テテ數量ヨリハ結局餘程少クナツテ居ル、他ノ方ニ利用セラレ易イ傾向ヲ持ツテ居ル、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、殊ニ裝飾用鋼材ハ、餘程他ノ鋼材トハ其ノ性質ヲ異ニ致シテ居リマス特殊ノ鋼材デアリマスノデ、ドウカサウ云フ配給機構ノ問題ニ付キマシテモ、將來改ムベキモノハ勇敢ニ改メテ貰ヒタイ、サウシテ早ク需要者ノ手ニ入ルヤウニシテ貰フト云フコトニ御折折ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上委員長 北君

○北(勝)委員 食糧問題ノ解決上、此ノ農地開發營團ノ仕事ノ重要ナルモノデアルコトハ誰モ否ム者ガナイノデアリマス、併シ此ノ事業遂行ノ上ノ難點ハ、既ニ各委員カラソレソレ御指摘ニナリマシタヤウニ、勞

力不足ノ問題ニアルノデアリマス、開墾ノ爲ノ多大ノ勞力ヲ何處カラ持ツテ來ルカト云フコト、ソレカラ開墾サレタ土地ノ耕作ヲ抑、誰ニ作ラセルノデアルカト云フコトデアリマス、特ニ農村ノ勞力不足ヲ懸ヘテ居ル現下ノ情勢ノ儘ニ置イテ、此ノ事業ヲヤルノニハ、餘程周到ナ用意ノ下ニ行ハレマシテモ、漫然トシテ之ヲ強行サレルナラバ、一方ニ開墾ハ出來マスケレドモ、又他ノ一方デ既墾ノ良田ガ荒廢ニ歸スルト云フコトハ明カナノデアリマス、是ハ成程此ノ事業ハ出來テモ、農産物ノ増産ト云フ目的ハ達成サレナイデ、丁度養ノ河原ノ石積ミト云フヤウナコトニナツテシマフノデアリマス、

現ニ北海道デハ拓殖計畫ニ依ツテ毎年土地ヲ五千町歩乃至六千町歩ツツ開イテ居リマスガ、併シ最近十年ノ間ニ水田ガ一万五千餘町歩荒廢ニ歸シテシマツテ居ルノデアリマス、又ココ數年間畑作ノ方ハドウカト云フト、七千町歩内外ノ耕地減少ヲ來シテ居ル、五千町歩開イテ七千町歩ノ耕地減少デアルト、結局荒廢ニ歸シテ居ルモノガ二千町歩ニ達スル、先日色々統計ヲ戴キマシタガ、ドウモ實際ト合ツテ居ラヌヤウデアリマス、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマスガ、離農者ノ數カラ言フト、最近五年ノ間ニ七千四百三十一戸ノ農家が減ツテ居ル、ツイ昨日モ是ハ北海道カラ持ツテ來タ新シイ話ヲ聞イタノデアリマスガ、ソレニ依ルト、十勝ノ士幌村、是ハ十勝原野デスカラ良イ所デスガ、其處デ七百戸ノ村ガ、今年急ニ二百五十戸離農スル、斯ウ云フヤウナコトヲ昨日言ツテ來テ居ツタノデアリマスガ、サウ云フヤウナ狀況ニ鑑ミマシテモ、若シ用意ニ缺クル所ガアリマシ

タナラバ、此ノ離農者ニ依ツテ、丁度北海道ノ如ク此ノ事業ハマルデ底ノ抜ケタ籠ニ水ヲ汲ムヤウナ結果ニ陥ツテシマフノデアリマス、是ハ何トシテモ根本策トシテハ先ヅ離農防止策ヲ行フコトガ喫緊ノ要務デアリ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ノ此ノ點ニ對スル計畫ガアリマシタナラバ承ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 離農ニ對スル對策ヲドウスルカト云フ御話デゴザイマスガ、北サンノ御關係ノ北海道ト又内地トデハ色々事情モ違ツテ居ルコトデアアラウト思ヒマスガ、是等ニ對シテハ、中々難カシイ問題デアリマスガ、私共ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲマスナラバ、根本ニ於テハドウシテモ農民精神ノ涵養ヲ圖リ、農民精神ノ昂揚ヲ圖ルト云フコトガ、根本ノ問題デアリカト思フノデアリマス、農民ガ農民ノ職分、農民ノ役割ヲ十分ニ考ヘテ、サウシテ精進スルト云フトガ根本ノ考ヘ方デナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ意味合ニ於テ、ヤハリ農民自體ノ自覺ヲ促シテソコデ奮闘シテ貰フ、斯ウ云フコトガ必要デアリカト思ツテ居リマス、是等ニ付テハ先程色々御話ヲ申上ゲタヤウニ吾々ノ方カラモ努メナケレバナラズ、又昨年ヤリマシタ推進隊ノ仕事ナドモ斯ウ云フヤウナ點ヲ目指シテ行ツタ仕事デゴザイマス、私共ハサウ云フ點ニ於テハ農民ノ氣持ノ中ニ十分サウ云フ點ガ存在シテ居ル、其ノ抱負ガ十分ニ鬱勃トシテアルト云フコトヲ信ズルノデアリマスカラ、サウ云フ方面ニ努メルコトハ是ハ必要ダト思ヒマス

ソレカラ離農ヲ防グニハ、勿論是ハ農業經營ノ環境ノ十分ニ良クシテヤルト云フコトニ努力ヲシナケレバナラヌ、徒ラニ安逸ニ流レタリ、易キニ就カウト云フヤウナ氣持ハイケマセケレドモ、現在ノ狀況ニ於テ出來ルダケヤリ易イヤウニシテヤルト云フコトヲ、ヤハリ考ヘテヤラナケレバナラヌ、御示シノ北海道ハ相當大キナ面積デゴザイマスガ、ソレ以外ノ所ニ於テハ農業經營ノ適正化ヲ圖ルト云ツタヤウナ問題モソコニ一ツ胚胎シテ居ルト思フノデアリマス、是等ニ付テハ現在調査ノ準備モ進メテ居リマスルシ、色々考ヘテ居リマスルガ、サウ云フヤウナ方面ニ留意ヲシテ行カナケレバナラヌ、又農地ノ利用關係ニ付テ見マスレバ、經營上ニ於キマシテ從來考ヘラレタ普通ノヤリ方以外ニ更ニ指導ヲ十分行ツテ、經營上或ハ購入スル所ノ資材ヲ少クスルヤウナ經營ヲスルトカ、自給自足ノ確立シタ經營ヲスルヤウナ指導ヲ行ツテ行ク、北海道等ニ於キマシテハ殆ド徹底ノ有畜農業デモヤツテ、サウシテ購入スル資材ヲ節約スル、或ハ經營上ニ十分注意シテ資力ノ維持ヲ圖ルト云フヤウニシテ、有利ニシテ行クト云フ方面ニ留意ヲスル必要ガアラウト思フ、其ノ他農地ニ關スル所ノ制度ヲ整ヘマシテ、サウシテ安心シテ此ノ農業ニ従事スル者ガ經營ヲシテ行クト云フヤウナ方面ニ施策ヲシテ、サウシテ農業經營者ガ能ク其ノ與ヘラレタ使命ト云フモノヲ自覺シ、サウシテ農業ニ勵ンデ行クヤウナ環境ヲ作ツテ行クト云フヤウニ努力ヲシナケレバナラヌト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ、其ノ方ニ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

○北(勝)委員 精神運動ヲ行カレルト云フノハ、勿論ソレデ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、引合ハヌ仕事ハ出來ナイ、一番大キ

ナ原因ハヤハリ價格ガ適當デナイト云フコトガ、ドウシテモ問題ナンデス、殊ニ此ノ有畜農業ニ依ツテ肥料云々ト言ハレルガ、實ハ私共主畜農業ヲヤツテ居ル人間デアリマスガ、北海道ノ現狀ハドウカト云フト、牛ハ殆ド三分ノ一ニ減ツテシマツテ居ル、是ハ有畜農業ガ適當デナイコトヲ物語ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ適當デナイ原因ハ何處ニアアルカト云フト、價格ノ問題ヲ抛ツテ置カレルカラデアリマス、乳製品ノ價格ガ騰ツテ居ラス、ソレガ爲ニ牛乳ノ價格ガ安イ、内地ノ牛乳ガ一升當リ三十錢以上ニナツテ居ルノニ、北海道ノ牛乳ガ二十三錢デ其ノ儘ニ置カレテ居ル、斯ウ云フ價格ノ誤レル政策ガ、是ガ大キナ原因ヲ成シテ、遂ニ農業經營上大事ナ有畜農業ガ僅カノ間ニ三分ノ一ニ減ジテシマツタ、斯ウ云フヤウナ現象ヲ來シテ居ルノデアリマス、是ハ精神運動ト共ニ引合フヤウナ價格ニシテヤルト云フコトニ常ニ注意ヲ愈ツテハナラヌト思フノデアリマス、今一ツ、私ハ見通シテハナラヌコトハ、百姓ノ仕事ガ餘リ勞苦ガ多イト云フコトデス、サウシテ生活ガ慘メダト云フコトデアリマス、而モ此ノ事變以來ノ極端ナ努力ノ不足ハ農民ノ苦勞ガ益、嵩ンデ來テ居ルノデアリマス、殊ニ農家婦人ニ負ハサレテ居ル所ノ仕事、荷物ガ全ク過重デアル、否、過重ト云フヨリハ寧ロ苛酷ナノデアリマシテ、農家ノ婦人が普通人ノ二倍以上働イテ居ルコトハ、是ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマス

先程坪山君ノ御話ニ農家ノ衛生狀態ノ惡イ御話ガアリマシタガ、是モ能ク調ベテ見ルト過勞ノ結果ニ陥ツテ居ルコトヲ吾々ハヨク見ルコトガ出來ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ慘メサヲ知ツテ居ル所ノ農村ノ青年男女達ハ、殊ニ女ハ農家ニ嫁ニ行クコトヲ嫌フ、サウシテ他ニ出ル、女ノ居ラス所ニ男ハ居レナイノデアリマシテ、是ガ農村カラ人ヲ失フ大キナ原因ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ儘デハ行カヌカラト云フノデ、農民ガ所謂奮起シテ、農民自ラノ力デ經濟的立場ヲ良クシヨウ、社會的地位ヲ向上シヨウ、サウ云フヤウナ打開ノ途ヲ選ブコトニナツテ來テ居ツタノデアリマスガ、殊ニサウ云フヤウナ働キヲシテ居ツタ所ノ産業組合ノ仕事、之ニ對シテ官廳ハ今マデハズツト獎勵シテ來テ居ラレタノデアリマスガ、是ト利害ガ相反スル所ノ人達ガ騒ギ出シタ爲ニ、是等ノ所謂輿論ニ動かサレテ、農林省モサウ云フヤウナ間違ツタ輿論ヲ正シク指導スル氣力ガナク、之ニ迎合スルヤウナコトヲヤツテ居ラレル、所謂相剋摩擦ヲ避ケルト云フ爲ニ、農村ノ實情ニ眼ヲ掩ウテ、サウシテモウ共同組合ノ時代ガ去ツタト云フヤウナ考ヘカラ、個人的營利主義ノ維持育成ノ爲ダト稱シテ、安價ヲ妥協ヲサレテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデ、今マデヤツテ居ツタ農村ノ努力ガ逆戻リスルヤウニナツテ居ルノハ、洵ニ遺憾千萬デアアル、所ガ業者ニ依ルノデハ、此ノ理想的ナコトハ出來ナイベカリデナク、何ト言ツテモ業者ト云フモノハ、色々ナ方面デ儲ケルコトヲ工夫スル、搾取スルコトヲ工夫スルノデアリマス、コンナヤウナ狀況デ非常ニ色々ナ問題デ農家ガ困ツテ居ルニ拘ラズ、寧ロ官廳方面ノ意向等ガ農民ニ同情シナイヤウナ議論ガ流行シテ居ルノデアリマス、其ノ結果ハ農民ハ自ラヲ護ル術ガナクナツテ前途ニ光明ヲ失ツタ、斯ウ云フヤウ

ナコトガ離ニ拍車ヲ掛ケテ居ル、是ハ私ハ農民ノ心理狀態ニ非常ニ惡イ影響ヲ與ヘテ居ルト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府ノ見ラレル點ヲ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス

○岸政府委員 非常ニ難カシイ問題デゴザイマスガ、是ハ私自分ノ考ヘデ今マデサウ云フヤウナ方針デヤツテ來タコトヲ申上ゲマス、私ハ從來關係シテ居ツタ方面デ、産業組合關係ノ取扱ヒモ致シテ居ツタノデアリマスガ、勿論産業組合ニ對シテ今ノ時代ダカラ商業方面ノ者ニ迎合シテ、サウシテ其ノ方ヲ壓迫シタコト云ツタヤウナコトハゴザイマセヌシ、ソナヤウナ感じヲ持ツテ之ニ臨ンデ居ツタコトハ私ハ一ツモナイノデアリマス、産業組合ハヤハリ産業組合ノ機能ヲ發揮シテ、サウシテ農村ノ爲ニ盡シ得ルヤウニ私共トシテハ事業上ノ指導ヲシタ積リ、デゴザイマス、唯現在ノ實情ト云フモノガ昔ノオ五ヒニ競争ヲシテヤツタ時代ト違フノデアリマシテ、各般ノ仕事ガ統制サレマシテ、各立場々々ニ於テ自分ノ持場ヲ守ツテ働クト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマスノデ、サウ云フヤウナ考ヘ方カラ或ハ或ル一部ノ仕事ニ付テハ、ソレハオ五ヒニ遠慮シヨウデハナイカ、其ノ代リ他ノ業者ノ一部ノヤツテ居ルコトモ是ハオ五ヒニ遠慮シヨウデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲシテ、サウシテ五ヒニ手ヲ取ツテ進メルヤウナ考ヘ方デ進ンデ參ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ乳ノ方ノ仕事ニ付キマシテモ、或ハ最近ニ行ハレマシタ鶏卵ノ配給ノ統制ニ於キマシテモ、ヤハリサウ云フヤウナ考ヘ方ノ下ニ各々持場々々ニ於テノ職分ヲ盡スト云フ考ヘデ協力シテ貰ツテ居

ルノデゴザイマス、サウ云フ譯デ私共ト致シマシテ現在ノ商業者ノ立場ヲ特ニ厚クシテ、産業組合ノ方ニ不利益ヲ及ボシテ居ルト云フ風ニハ私ハ考ヘテ居リマセヌシ、又左様ナ信念デ仕事ヲヤツテ居ル譯デゴザイマセヌ、恐ラク將來ニ於テモサウ云フ考ヘ、デヤル積リデゴザイマス、私共ハ産業組合トシテモ、ヤハリ現在ノ實情ニ於テ各、持場々々ヲ十分盡ス、其ノ持場ヲ通ジテ、現在ノ國策ニ應ジテ行クト云フ考ヘ方デ進ンデ貰フコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○北(勝)委員 ドウモ十分デナイ御答辯デアリマスガ、次ニ私ハ承リタイコトハ、農民經濟ヲ壓迫スルモノニ天候ノ支配ト云フコトガアル、一昨年ノ關西地方ニ於ケル旱魃及ビ東北、北海道ノ屢見舞ハレル冷害、或ハ水害ト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、殊ニ今後開發セラレル所ノ農地ハ、モウ既ニ良イ所ハ残ツテ居ラス、私ハ恐ラク殘存物ト云フテ宜イダラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ惡條件ノ所ガ多イト思フノデアリマシテ、隨テ天候ニ左右セラルルコトガ又自然多クナツテ來ルト思フノデアリマス、所ガ斯ウ云フヤウナ天災ニ遭ツタ場合ニ於ケル政府ノ農業保險ノ根本方針ガ、私ハ大變ナ誤リヲシテ居ルト思フノデアリマス、ソレハ保險ト云フコトダケニ重キヲ置カレテ、自賄ヒ主義デ大體保險ハヤル、經費ノ一部ヲ出シテヤルト云フヤウナ方針デヤツテ居ラレル爲ニ、極メテ手數ガ多クテ、保險料ヲ納メテ居ルニ拘ラズ、保險金ヲ受取ルノガ極メテ少イ、石坂君カラ御話ガアリマシタガ、保險金ハ貰ツタケレドモ、ソレハ人件費ニナツテシマツタト

云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトニ對シテハ農業保險ヲ自賄ヒ主義ニヤルノデナクテ、モツト國庫カラ資金ヲ多く出シテ、サウシテ農業者ガ人爲デドウスルコトモ出來ナイ災害ニ遭ツタ場合ニハ之ヲ保證シテヤルゾト云フコトガナケレバ、農業者ハ安心シテ業ニ従フコトガ出來ヌノデアリマシテ、隨テ離農ノ原因ニナルノデス、ソレデ先程モ御話申上ゲタヤウニ、條件ノ惡イ北海道、東北方面ニ離農者ガ多イノハ之ヲ見テモ分ルノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ大事ナ場合ニ、食糧問題ノ極メテ大事ナ責務ヲ負ウテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ農業保險ニ對シテハモツト徹底ノ方策ヲ樹テナケレバ増産ハ望メナイ、斯ウ思フノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノ點御尤モデアリマス、農業保險ノ問題モ實ハ實施致シマシテ、今年ハ二年目ニナツテ居リマス、而モ其ノ實施致シマシタ初年度ニ於テアノ日干害ヲ受ケ、更ニ昨年場所ヲ變ヘテ相當大キナ旱害ヲ受ケマシタカラ、御案内ノヤウニ十七箇年ノ過去ノ災害統計ニ基イテ保險料ノ率ガ出シテアルニ拘ラズ、實施初年度ニ於テアルダケノ旱害ヲ受ケタモノデアリマスカラ、ソコデ可ナリ保險金ノ支拂ニ付テ困難ヲ致シタコトハ御話ノ通りデアリマス、併シ之ニ對シマシテ決シテ保險的ノ組合ノ積立金ダケニ支拂ヲ任シテ居ツタノデアアリマセヌ、一昨年ヤ昨年ノ旱害ニ致シマシテモ、ソレノ保險金ノ再保險特別會計カラ支拂フベキモノニ付テ、政府ハ一般會計カラ特別會計ニ助成金ヲ出シマシテ、出來ルダケ保險金ノ支拂ニ助成ヲ致シタヤウナ譯

デアリマス、隨テ將來ニ向ツテノ問題ニ付キマシテモ、出來ルダケ今後此ノ制度ヲ實行致シマスニハ、保險制度ニ付テ十分ナ考ヘ方ヲシタイト思ヒマス、殊ニ北サノ方面ノ北海道、東北ニ於ケル冷害ノ保險ノ問題ニ付キマシテモ、案ハ出來テ居ル譯デアリマス、何ヲ申シマシテモ打明ケテ話ガ早害ニ對シテ、實施初年ニアア云フエライ目ニ遭ツタモノデスカラ、冷害ノ如キ危險性ノ比較的偏ツテ居ルモノニ付キマシテ、中實施上財政上ノ困難ガアルノデアリマス、ソコデ尙ホ研究ノ餘地ヲ殘シタ譯デアリマス、之ニ付キマシテモ出來ルダケ早ク善處シタイト思ツテ努力シテ居ル譯デアリマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○北勝委員 次ニ御伺ヒシタイノハ、此ノ間大臣ハ農村カラモツト努力ヲ搾リ出スト云フコトヲ、本會議議デ御答辯シテ居ラレタノデアリマス、併シ現在ノ農村ハ恐ラク勞力ヲ搾リ出ス限界點ニ達シテ居ルノデハナカラウカ、事變以來隨分澤山ノ勞力ガ農村カラ引キ出サレタノデアリマスガ、更ニ農業以外ニ引キ出サレテ居ルノデアリマス、所ガ今ヤ限界點ニ達シテ居ル、農村勞力不足、或ハ不耕作地ノ出來テ居ル大キナ原因ハ此處ニアル、限界點ニ達シタト云フコトヲ明カニシテ居ルト思ヒマス、是レ以上農村カラ農業以外ニ勞力ヲ搾リニ持チ出スコトハ、私ハ食糧政策上大キナ支障ガアルト思ヒマス、寧ロ私ハ勞力ヲ求メルナラバ、農業以外ノ方カラ求メナケレバナラス、農業以外ノ方ニマダ餘裕ガ澤山アル、モツト色々ナコトヲ整理スレバ澤山出來ル、例ヘバ日本ノ商家ノ戸數ガ二百五十万戸アル、五人平均ニシテ千二百五十万人ノ澤山ノ人

ガ居ルノデアリマス、是ハ商人自ラモ商人ノ數ガ多過ギルト言ツテ居ルヤウナ狀況ナノデアリマス、寧ロ私ハサウ云フ方面ニ之ヲ求メナケレバナラス、斯ウ思ヒマスガ、所謂勞力ノ動員ヲスルト云フ場合ニ於ケル政府ノ方針ハ何處ニアルカ、唯單ニ學校生徒ノ休ミヲ利用スルト云フヤウナコトダケデハ、今後ノ食糧問題ヲ解決スルニハ容易デナイ、此ノ點ニ關スル御考ヘヲ承ツテ置キマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、勞務動員ニ對シテ農村ニ於ケル勞働者ノ問題ダケデナク、都會地トノ關係ニ於テ勞務ノ調整ト云フコトヲヤツテ行カナケレバナラヌト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、私共モ今日ノ狀況ニ於キマシテ、商工業方面カラ轉業業ヲ餘儀ナクサレテ出テ參リマス者ノ轉業問題ニ關聯シテ、ヤハリ是ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレ等ノ人々ヲ出來ル限リ、轉業對策ノ方面デモ考ヘラレテ居リマスガ、或ル部分ハ農業ノ方面ヘ持ツテ來ルコトモ必要デナイカト思ヒマス、ソレ等ノ事柄ト關聯シマシテ、都會地ニ於テ勞働者ヲ要求スル場合ニ、是等ノ轉失業者餘儀ナクサレル所ノ方面カラ、都會地ニ於ケル勞働者ニ對シテ、先ツサウ云フ者ヲ取ツテ貰フト云フコトヲ考ヘルト同時ニ、ソレデ尙ホ溢レルモノニ付キマシテハ、尙ホソレ等ノ勞働者ヲ農村方面ニ持ツテ行クト云フコトモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、更ニ又勞働者ノ調整ノ問題ニ關聯致シマシテハ、勞働賃金ノ調整ト云フ問題ガ一ツ大キナ問題デアルト私ハ思ツテ居リマス、其ノ問題ヲ解決シナイデ、勞働調整ト云フコトハ中々出

來難イノデハナイカ、斯様ニ思ツテ居リマス、御話ノ點ニ付テハ全ク同感デアリマス、サウ云フ方面ニ付キマシテ今後私共ト致シマシテモ十分關係省ト連絡致シマシテ、至急對策ヲ立テタイト思ツテ居ル譯デアリマス

○北(勝)委員 次ニ小サイ問題ノヤウデアリマスガ、先日農學校ノ新卒業生ヲ徵用シテ指導ニ當ラセルト云フ御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、農學校ノ卒業生ヲ卒業後直チニ百姓ニサセナケレバ百姓ノ習性ガ得ラレナイ、暫クデモ俸給生活等ヲヤリマシタラ、モウ百姓ニナルモノデハナイノデアリマシテ、農學校ノ卒業生ハ先ツ自分ノ家ヘ歸ツテ百姓ヲスル、サウシテ附近ノ人ヲ自然ノ中ニ指導シテ行クト云フノガ、農學校ノ生徒ノ大事ナ役目デアリマス、之ヲ徵用サレテ、サウシテ本職ノ百姓ニナラウト云フコトヲ忘ラヌヤウナコトニナツテハ、私ハ重大ナ問題デアルト思ヒマス、更ニ學校ヲ出タバカリノ人達ハ、今日ノヤウナ農家ヲ指導スル力ヲ持ツテ居ラナイノデアリマシテ、此ノ新卒業生ヲ徵用スルト云フコトハ、私ハ間違ツタ行キ方デヤナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ關スル御見解ヲ承リタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノ通り卒業生ヲ直チニ農業ノ指導ニ充テルト云フコトニ付キマシテハ、實際上ノ經驗カラ言ヒマシテモ、或ハ缺クル所ガアルカモ知レマセヌ、隨ヒマシテ私共ノ考ヘ方ト致シマシテハ、卒業生ヲ直チニ使フト云フコトデナクテ、是等ニ對シマシテ相當ノ訓練ヲシテ、實際ノ經驗ヲ積マセルコトガ必要デアラウト云フノデ、此ノ度些少ナガラ豫算ニサウ云フ方面

ノ訓練施設ニ要スル經費ヲ御願ヒヲシテ居
ル譯デアリマス、今日農業指導者ノ數ノ足
ラヌ時、一面ニ於テハ篤農家等ヲ動かシテ
之ニ協力セシメマス同時ニ、サウ云フヤ
ウナ部分的ナ方面ニ稼働サセル爲ニ、農學
校ノ卒業者ニ適當ナ講習訓練ヲ與ヘテ、之
ヲ指導者ニ使ヒタイト考ヘテ居リマス

○北(勝)委員 次ニ承ツテ見タイコトハ、
此ノ農地開發ノ事業ハ結局自作農ノ創設デ
アリマス、ソコデ自作農創設デアル以上、
自作農ノ年限ガ二十四箇年ト云フコトニ現
在限ラレテ居ルノデアリマスガ、私ハ現在
ノ狀況カラ言フト是ハ適當デナイノデハナ
カラウカ、此ノ二十四箇年ハ何カラ編出シ
タモノデアラウカ、恐ラク簡易保險ノ金ヲ
使ツテ居ツタ時代ニ於ケル償還關係ナドヲ
考ヘラレタ所カラ來タノデハナイカ、二十
四箇年デ斯ウ云フヤウナ償還ヲシヨウト云
フコトニナリマス、隨分無理ガ掛ルノデ
アリマシテ、寧ロ是ハ五十年トカ、六十年
トカ云フヤウナ年限ニ延バスノガ適當デハ
ナイカ、斯ウ云フ事業ハ一時代ノモノデ背
負フベキモノデハナイノデハナイカ、斯ウ
云フ工合ニ考ヘラレルノデアリマスガ、之
ヲ延長スル御考ヘハナイカ、ソレヲ承リタ
イ

○周東政府委員 自作農創設ノ年限ヲ二十
四年ニスル根據ハドウカ、寧ロ之ヲ長ク
ル方ガ宜イデハナイカト云フ御意見デアリ
マス、是ハ御案内カト思ヒマスガ、大體自
作農ヲ創設致シマス場合ニ於テ、特ニ年賦
償還金等ノ負擔ガ重クナツテハイケナイ、
ソコデ從來小作人ガ支拂ツテ居ツタ小作料
ノ範圍ニ於テ、公租公課並ニ償還金ヲ返シ
得ル、サウ云フ程度ニ償還年限ヲ決メルト

云フコトデ、寧ロ自作農家ノ爲ニ考ヘタ制
度デアリマス、又小作農家ノ爲ニ考ヘタ年
限デゴザイマス、御承知ヲ願ヒタイト思ヒ
マス、唯今御話ノヤウニ此ノ年限ヲ長クシ
タラモツト容易ク行クノデハナカラウカ、
モツト長クスベキデハナイカト云フ御意見
デアリマスガ、是ハ見方ニ依リマシテサウ
云フコトガ言ヘルカモ知レマセムガ、私共
ノ考ヘ方トシマシテハ或ル自作農ヲ創設シ、
農地ヲ購入シテ行ク場合ニ、之ヲ自分ノ子
孫ニ遺シテ、其ノ負擔ヲ掛ケサセルト云フ
コトハ如何ナモノカ、寧ロ少クトモ自分ノ
土地ガ出來テ自作農トシテノ喜ビヲ持タセ
ルコトガ宜イデハナイカ、子ヤ孫マデ負擔
ヲ持ツテ償還年限ヲ終ルヤウニスルト云
フコトハ却テ宜クナイノデハナイカ、斯ウ云
フ考ヘデゴザイマス、御諒承ヲ願ヒマス

○北(勝)委員 外國ノ例等ヲ見マス、五
十年以上ノ年限ノアルモノガアルヤウデア
リマシテ、何モソソナコトニコダハラヌデ
モ現在ノヤウナ農家ガ百姓ニナルコトヲ一
般ニ嫌フ時代ニ於キマシテハ、特ニサウ云
フヤウナ永年ニ互ツテ支拂ツテ、サウシテ
經營ガ樂ニナルヤウニスルコトガ必要ダト
思ヒマスノデ申上ゲテ見タノデアリマス

其ノ次ニハ、農用溝渠事業デアリマスガ、
之ニ對シテ農地開發營團ハ六割補助ト云フ
コトデアリマスガ、私ハ此ノ六割補助ト云
フノモ補助ノ率ガ少ナ過ギルト思フ、是亦
土地改良事業デ地球ノ續ク限りハ此ノ仕事
ヲヤツタコトハ遺ルノデス、ソレヲ一時代
ダケノモノニ背負ハシテ置カウト云フコト
ハ、大變無理ガ掛リマシテ、現ニ北海道等
ニ於キマシテハ自作農ニナツタ人デモ土功
組合費等ヲ納メル爲ニ隨分大キナ負擔ニナ

ルヤウナ場合ガアリマシテ、持チ切レナイ
ト云フ例ガ澤山アル、ソコデ斯ウ云フ負擔
モ成ベク輕カラシムルノデナケレバ、條件
ノ惡イ所ニ入ツテ農地ヲ開發スル者ガナク
ナルノデハナイカ、斯ウ云フ工合ニ考ヘル、
此ノ年限モ大抵二、三十箇年ノ年賦償還ニ
スルト云フヤウニナツテ居リマスガ、モツ
ト此ノ年限ヲ長クスル御考ヘハナイカ、ソ
レヲ承ツテ置キマス

○岸政府委員 只今御尋ネノ農用溝渠ノ關
係ハ、所謂農用溝渠ト云フ仕事ハ營團デヤル
仕事デハナイノデス、是ハ從來アリマシタ道
府縣トカ、市町村耕地整理組合ガヤル仕事ノ
分デゴザイマス、是ハ面積ガ御承知ノヤウニ
從來ノモノハ五百町歩未滿ノ受益面積ノ仕事
デ、左程ニ大キイ仕事デハナイ譯デアリマス、大
體部落ノ力ヲ合セテヤツテ、又ヤリ易イ所ヲ
ヤルト云フヤウナ仕事デゴザイマスカラ、助成
率等四、五割ト云フ程度ニ低クシテ居リマ
ス、併シ營團デヤル大規模ノ貯水池ヲ造ル
ト云ツタヤウナ大工事、ソレ等ニ付テハ六
割ノ助成デヤツテ行クト云フ考ヘデ、普通
ノ農用溝渠ト云フ分トハ違ヒマスカラ、其
ノ點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒマス

○北(勝)委員 更ニモウ一ツ承ツテ見タイ
コトハ、例ノ暗渠排水デアリマスガ、此ノ
暗渠排水ノ場合ニ於ケル材料モ排水土管等
ノ供給ニ付テ何カ確信ガオアリニナリマス
カ、中々材料ノナイ時デアリマシテ、計畫
ガアツテモ畫餅ニ歸シテシマフト思フノデ
アリマスガ……

○周東政府委員 暗渠排水ノ土管ノコトデ
アリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマス場合ニ於
テ其ノ點ハ私共心配デアリマス、今日主ト
シテ愛知縣カラ土管ヲ仰イデ居リマスガ、
ソレ等ニ付キマシテハ大體是位ノ程度デゴ
ザイマスト供給ニ對シテ不安ハナイト云フ
見込デ計畫ヲ立テテ居リマス、問題トナル
ノハ大體「セメント」デゴザイマスガ、是ハ
或ル程度増加シマスケレドモ、其ノ位ノ範
圍ハ實行上差支ヘナイ、斯ウ云フ見込ヲ立
テテ居リマス

○北(勝)委員 此ノ土管ハ「セメント」土
管ノ御方針ナンデスカ、素燒土管デハナイ
デスカ

○周東政府委員 出來ルダケハ御話ノヤウ
ニ素燒土管デ行キタイト云フコトデアリマ
ス、「セメント」ハ餘程其ノ點ニ付テ考慮ヲ
要スルヤウデアリマス

○北(勝)委員 是亦非常ニ荷嵩ノ嵩ムモノ
デアリマシテ、遠方カラ運搬シテハ殆ド運
搬費ニナツテシマフノデアリマス、少クト
モ各府縣ニ數箇所サウ云フヤウナモノヲ燒
ク所ノ工場ヲ設ケルノデナケレバイケマイ
ト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ計畫
ハナイデセウカ

○周東政府委員 大體ノ所ハ既設ノ業者ノ
仕事ヲ壓迫シナイヤウナ積リデ、今マデノ
製作者ノモノヲ買ツテヤツテ行キタイト思
ツテ居リマスガ、此ノ間本營團ノ事業ニ付
テ御説明ヲ申上ゲタ時ニ申上ゲタイト思ヒ
マスガ、第一號ノ附帶事業ト致シマシテハ、
場所ニ依リマシテ遠イ所カラ運搬サセテ買
フヨリモ、此ノ營團自體ガ土管等ヲ製作ス
ル設備ヲ持ツテ自己生産ヲスルト云フコト
ヲヤツタ方ガ宜イト云フ場合ニ於テハ、此
ノ營團ニ此ノ事業ヲサセル積リデアリマス

○北(勝)委員 土地改良ハ多クノ場合耕作
ニ支障ヲ起シテハイカヌノデアリマシテ、
極メテ短期間ニ行ハナケレバナラヌノデア

リマス、ソコ改良面積が非常ニ廣イト云フト、其ノ實行ハ中々困難ナコトニナル譯ナノデアリマス、北海道等ニ於キマシテハ十五町歩以上ノ改良面積デナケレバ補助シナイト云フヤウナ規程ヲ拵ヘテ居リマスガ、此ノ十五町歩ト言ハレタベカリデモ中々是ハ實行ガ出來ナイ、先ヅ材料ガナイ、ソレカラサウ云フヤウナ土地改良ヲ行フ時間ガナイト云フヤウナ状態デアアルデアリマスガ、是ハヤハリ永年ノ計畫ニ依ツテ、サウシテ農家ノ農閑期ヲ本當ニ利用スルト云フノデ、一年三反ダトカ、五反ダトカ云フヤウナ小面積ヲヤラシテ行クコトガ必要デアアル、基礎排水トカ何トカ云フコトハ、是ハ一遍ニヤラナケレバナラヌガ、其ノ他ノ仕事ハ徐々ニヤラセル方ガ宜イ、隨テ此ノ廣イ面積ニ互ツテノ計畫デナイト助成シナイト云フヤウナ行キ方デハ適當デナイト思フノデアリマスガ、其ノ計畫ノ内容ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○周東政府委員 是ハ營團ヲシテ行ハシメマスルモノニ付キマシテハ、大體農業水利改良施設ニ付キマシテハ、受益面積三千町歩以上ノモノニ付テヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、從來ノヤウニ道府縣トカ、或ハ市町村トカ、其ノ他ノ農業團體ヲ通シテヤラシメマスモノニ付キマシテハ、最低限ノ制限ハ今度ハ置イテナイノデアリマス、地方ニ依リマシテ適當ナ場所ニ於キマシテハ、急ヲ要スルモノニ付テハ出來ルダケ面積關係ハ少クテモ實行シテヤラシタイト思ツテ居リマス

○北(勝)委員 モウ一ツ最後ニ農家デ今非常ニ困ツテ居ル問題ハ馬ノ問題デス、馬ノ法定價格ハ大體ドウ云フヤウニ決定スルヤ

ウナコトニナツテ居ルノデアリマスルカ、ソレヲ承ツテ見タイ、私共ノ部落デハ實ハサウ云フヤウナ馬ノ軍ニ納メル人ハ少クモ二、三百圓ツツノ損ガ行クノデアリマシテ、ソレヲ丁度町民稅ノ半額ダケ町民全體カラ集メテ、サウシテ之ヲ御見舞金トシテヤルト云フヤウナ方法ヲ今講ジテ居ルノデアリマスガ、併シ斯ウ云フヤウナコトハ餘リ好マシカラヌコトデ、折角軍ガ馬ノ價格ヲ其ノ程度ニ止メテ置カウト云フノガ、村カラ金ヲヤルコトニナリマスカラ、結局馬ノ値段ヲ高クサセルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ軍ノ馬ダケノ値段ガ決マツテ居ツテ、他ノ馬ノ値段ガ公定サレヌ爲ニ、サウ云フヤウニ二百圓モ三百圓モ差ガ出來テ來ルト云フコトニナリマス、一日モ早ク公定價格ヲ決定スルトヲ待ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ問題ハドンナ工合ニ推移シテ居リマスカ、ソレヲ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 馬ノ公定價格ハ、馬政局ノ關係カラ御話スレバ宜イト思フノデアリマスガ、私モ馬政委員トシテ參畫シテ居リマシタカラ、私カラ其ノ狀況ダケ申上ゲテ置キマス、馬ノ公定價格ヲ決メルト云フコトハ馬政委員會デ決マリマシテ、ソレデ馬政局關係デ其ノ資料ヲ集メ調査ヲ進メテ居リマス、唯問題ハ牛ノ公定價格ト一緒ニ決メルト云フコトニナツテ居リマス、牛ノ方ノ材料モ今整ヘテ居リマシテ、價格關係デ只今打合セテ致シテ居リマス、是ハ御承知ノ通りニ決メルノニ色々ナ條件ガアリマス、又其ノ個々ノモノヲ判定スル規格ニ付テモ餘程研究シナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ點ガアルノデ、マダ事務ノ方デ専門家が寄ツテ細カイ點ヲ研究シテ居ル程度デゴザ

○北(勝)委員 是デ私ハ終リマス
○村上委員長 石井君
○石井委員 委員長ニ御願ヒシテ置キマス、私他ノ委員會ニ居リマシタ關係上、或ハ私ノ質問申上ゲルコトガ他ノ同僚ニ依ツテ質問サレテ居ルコトガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ際ニハ遠慮ナク御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス
私ノ質問ハ色々アリマスルガ、御多忙ト考ヘマスルカラ、次官ニ對シマスル質問ダケヲ便宜上先ニ致シタイト思ヒマス、現在當面シテ居リマスル食糧ノ確保ト云フコトモ勿論必要デアリマスルガ、同時ニ將來ニ互リマスル所ノ我が國ノ人口増殖ニ對シマシテ、食糧自給ノ途ヲ講ズルト云フコトモ必要デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、其ノ目的ヲ解決スル爲ニ、今回此ノ農地開發法ト云フモノヲ御提案ニナツタモノト考ヘルノデアリマス、更ニ其ノ方法トシテ農地開發營團、斯ウ云フヤウナモノヲ御計畫ニナツタコト考ヘルノデアリマスガ、私ノ御尋ネ申上ゲタイト考ヘマスルノハ、將來ノ我が國ノ人口増殖ト、ソレニ對シマスル食糧確保ノ方針ト其ノ計畫デアリマス、私ノ研究致シテ居リマスルモノヲ、數字ヲ擧ゲテ質問申上ゲテ見タイト考ヘテ居リマス、今回ノ御計畫ニ依リマスルト、昭和二十七年ニ於キマシテ米ガ八千二百八十七万七千石、麥類ニ於キマシテ二千五百四十万一千石、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、果シテ之ヲ以テ將來我が國ノ増殖致シマスル人口ニ對處シ得ルカドウカ、此ノ問題デアリマス、過般發表サレマシタ、所謂閣議ニ於テ決定ヲ致

シマシタモノヲ新聞等デ見マシタガ、ソレニ依リマスト我が國ノ人口政策ト云フモノハ、今後二十年後、所謂昭和三十五年ニハ内地人口一億ヲ保有スルノダ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、今度計畫セラレマス食糧増産計畫ハ十年後トナツテ居リマスカラ、十年後ト二十年後トノ間ノ數字ガ少シ違ツテ參ルノデアリマスケレドモ、大體之ヲ推定シテ計算ヲシテ見タイト考ヘルノデアリマス、假ニ内地人口一億トナリマシタ場合ノコトヲ想像致シテ見タスト、是ハ米ノミヲ以テ一應計算シテ見タイト思ヒマス、現在我が國ニ於キマスル内地人口ハ七千二百万人デアリマス、ソレニ對シマシテ大體米ノ計畫ハ約八千万石ト承知シテ差支ナイト考ヘルノデアリマス、サウシマスト大體一人當リ一石一斗、斯ウ云フコトニナルヤウデアリマス、サウシマスト二十箇年後、所謂昭和三十五年ノ一億人ニ對シマシテハ一億一千万石ノ米ガ要ル、斯ウ云フコトニ相成ルヤウデアリマス、ソコデ所謂現在ノ形ニ於テ確保出來ルトサレテ居リマス八千万石ト云フモノヲ基準トシテ考ヘテ參リマス、三千万石ノ不足ヲ生ジテ來ル、斯ウ云フコトニ相成ルヤウデアリマス、此ノ三千万石ト云フモノヲ假ニ内地ニ於テ増殖スルノダ、斯ウ云フヤウニ計算ヲ致シテ見マス、假ニ一町歩當リ二十石ノ米ガ出來ルモノトシテ計算シテ見マス、今度ノ營團ノ計算ニモ二十石トナツテ居ルヤウデアリマスガ、百五十万町歩ノ開田ヲ要スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、今日御提出ニナツテ居リマス資料ニ依リマス、開田可能ノ面積ハ四十七万餘町歩デアアルノデアリマス、全部ノモノヲ開

田致シマシテモマダ百万町歩足りナイ、斯ウ云フヤウナ計算ニナルヤウデアリマス、先づ此ノ際承ツテ見タイト考ヘマスノハ、約三千万石不足スル如ク豫想サレマス米ト云フモノハ、之ニ對スル對策ハドウ御考ヘニナルカト云フコトト、更ニ假ニソレガ内地ニ於テ必要ダト致シマスナラバ、其ノ生産ヲ求メマス田地ト云フモノハ何處ニ之ヲ求メルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ承ツテ見タイト考ヘルノデアリマス

○井野政府委員

現在農林當局ト致シマシテ計畫致シテ居リマス人口増加ニ對スル食糧補給ノ問題ハ、大體十箇年ヲ目安ニ致シテ居リマス、只今御話ノ石井委員ノ御質問ノモノハ、二十箇年後ノ一億万人ト云フコトヲ目標ニシテノ食糧増産ヲドウスルカ、斯ウ云フ問題デアリマスガ、内地ノ開田ト云フモノハ御話ノヤウニ數十万町歩ト見マシテモ、開田ハカリデナク耕地ノ改良、品種ノ改良等ニ依リマシテモ亦殖ヤシ得ル餘地ハ相當ニゴザイマスガ、併シ假ニ三千万石要ルト致シマスレバ、ソレヲ内地ダケデ賄フト云フコトハ是ハ出來ナイと思ヒマス、ドウシテモ滿洲或ハ支那ト云フモノヲ考ヘニ入レテ開田ヲ致シテ參ラナケレバナラス、殊ニ滿洲ニ於キマシテハ現在デモ机上ノ調査デゴザイマスガ、二百万町歩位ノ水田ハ開發シ得ルト云フ見込ヲ立テテ居リマス、又北支、中支ニ於テモ相當開田ノ見込ガアルノデアリマス、唯現在日滿支ノ經濟、ブロックニ於テ、現在ノ事變中ニ於テサウ云フコトヲ計畫致シマスト云フコトハ、資材ノ關係其ノ他色々ノ關係カラ非常ニ難カシイノデアリマシテ、二十年後ヲ考ヘマスレバ、サウ云フヤウナ計畫モ頭ニ入レテ立チ

得ルノデハナイカ、唯目先ノ十箇年間ト云フモノヲ目標ニ致シテ參リマスレバ、サウ云ツタ所デ中々開拓スルコトハ困難デアリマスノデ、今回ノヤウナ計畫ニナツタノデアリマス

○石井委員

先程申上ゲマシタヤウニ、實ハ農林省ノ計畫ハ十箇年後ノ計畫ニナツテ居ルヤウデアリマス、内閣ヲ發表サレマシタ人口政策ト云フモノハ、二十箇年後ノモノガ出テ居ルノデアリマスガ故ニ、私ハ二十箇年後、所謂一億人ノ内地人口ヲ保有スルコトヲナラバドウ云フヤウニ御考ヘニナルカ、是ガ質問ノ點デアリマス、今次官ノ御答辯ニ依リマス、大體私ノ申上ゲマシタヤウニ、内地ニ於テノ米ニ依ツテ供給スルコトハ困難ダ、結局滿洲或ハ支那、斯ウシタ方面デ求メナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウデアリマス、私共モ大體サウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスケレドモ、實ハ二十箇年後ノ内地人口一億ト云フコトニナツテ居リマスガ、二十箇年後ニハヤハリ今ノ外地ニ行ツテ居リマスモノモ、相當増殖スルモノト考ヘテ差支ナイト考ヘルノデアリマス、隨テ大體滿洲デ出來マス所ノ水田、其ノ滿洲ノ水田カラ出來マス米ハ、滿洲ニ居ル者ガ殆ド消費シテシマノフデハナイカ、斯ウ云フコトガ常識ダト考ヘルノデアリマス、私共會テ滿洲國ニ參リマシテ承ツテ居ル際ニモ、殆ドサウ云フヤウナコトヲ承ツテ居ツタノデアリマス、ソレカラ朝鮮ニ於キマシテハ、慥カ六箇年計畫ノ中ニモウ一千万石ノ増殖ノ計畫ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマス、現在ヨリモ一千万石ガ今カラ五、六年後ニハ餘計獲レルト云フ計算ニナツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、

是亦朝鮮ニ於キマスル所ノ朝鮮ノ同胞、或ハ朝鮮ニ現在居リマス内地人ガヤハリ相當増殖スルモノダト云フコトモ考ヘネバナラヌノデアリマス、隨テ朝鮮デ増殖シテ參リマス米ハ、恐ラク朝鮮デ消費サレルモノダ、斯ウ云フ風ニ推定致シテモ差支ヘナイト考ヘルノデアリマス、隨テ茲ニ問題トシテ殘ルノハ、ヤハリ二十箇年後ノ内地ノ食糧問題、内地ノ米ノ問題、是ガ殘ツテ來ルト考ヘルノデアリマス

〔委員長退席、松浦委員長代理着席〕

隨テ閣議デハ、一億ノ人口政策、所謂内地人口一億ヲ保有スルト云フコトニ御決メニナリマシタケレドモ、ソレニ對スル食糧ノ用意ハドウナツテ居ルカ、是ガ私ノ質問ノ要點デアアルノデアリマス

○井野政府委員

今申上ゲマシタヤウニ、二十箇年後ノ食糧政策ヲドウスルカト云フ問題ニ付テハ、餘リニ距離ガ遠過ぎマスノデ、今的確ニドウスルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、御話ノヤウニ朝鮮臺灣、所謂外地ノ増産ハ、是ハ外地人口ヲ養フノニ相當多クノ量ガ取ラレルト思ヒマス、併シ滿洲ハ、假ニ二十箇年間ニ百万戸ノ移民ヲ致シマシテモ、若シモ二百万町歩ノ水田ガ開發サレルト致シマスレバ、是ハ數千万石ノ米ガ出來ル譯デアリマスカラ、内地ニ十分持ツテ來ル見込ガ立ツノデアリマス、唯二百万町歩ノ水田ガ開發可能ナリヤ否ヤト云フ問題ハ、資材關係、金融關係、其ノ他治安關係等カラ、今直グ出來ルトハ私共考ヘマセヌ、併シ段々ト事變其ノ他ノ事變ノ推移ヲ見マシテ、適當ニ處置シテ參レバ宜イノデアリマシテ、差當リハ十箇年間ヲ考ヘレバ宜イノデハナイカト云フノデ、大體サウ云

フ計畫ニナツテ居リマス

○石井委員

私ノ質問ニ對シマシテ的確ナ御答辯ヲ得ナカツタコトハ、非常ニ遺憾ニ考ヘマスケレドモ、是レ以上申上ゲマシタ所デ、結局ドウモ仕樣ガナイヤウニ考ヘマス、併シナガラ成程農林省トシテノ此ノ計畫ハ十箇年デゴザイマセウケレドモ、國策全體カラ見渡シテノ計畫ヲ、農林省トシテ御考ヘニナル必要ガ當然アルト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ一應八十箇年ノ計畫ト致シマシテモ、更ニ二十箇年後ノ所謂アノ一億ノ内地人口保有ト云フモノヲ、唯机上ノ空論ニ終ラセナイ爲ニハ、ドウシテモ第一番ニ食糧問題ヲドウスルカト云フコトヲ御研究ニナツテ置ク必要ガ必ズアルト考ヘルノデアリマス、ドウゾ一ツ十分ニ御研究ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ更ニ御尋ネ申上ゲタイト考ヘマスノハ、適正規模農家、所謂農家一戸當リノ耕作面積ノ適正ナルモノト、ソレカラ今回御計畫ニナリマシタ現在アリマス田畑、及ビ更ニ今回新シク改田或ハ改畑致シマス田畑、斯ウ云フモノヲ加ヘマシテ、果シテ農林省ガ仰シヤツテ居リマスヤウニ適正規模ノ農家ガ本當ニ出來ルカドウカ、此ノ問題デアリマス、是モ内閣ノ發表シタ人口政策確立要綱ニ依リマス、内地ノ農家ノ戸數ハ内地人口ノ四割ヲ保有スルノダ、斯ウ云フコトガアレニ書イテアルヤウデアリマス、四割ト申シマス、四千万デアリマス、アレハ内外地ヲ通ジテ農家戸數ハ内地人口ノ四割、斯ウ云フ風ニ書イテアツタヤウニ考ヘマス、隨テ外地ニアリマス農家ハ何人ニナリマスカ、是モ推定デハツキリ分ラヌ

ト考ヘマスガ、サウシタコトヲ考慮シテ参リ
マスト、現在田畑ノ面積ハ六百七十八千町
歩デアリマス、ソレニ新シク今回五十万町
歩ノ改田、改畑ガ出来テ参リマシテ、六百
五十七万八千町歩、斯ウ云フコトニナルヤ
ウデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ内
地人口ノ四割、詰リ四千万ヲ農家戸數トシ
テ保有スルノダ、斯ウ云フ風ニシテ計算ヲ
シテ参リマス、假ニ一戸當リ六人ノ人口
トシテ計算ヲ致シマス、六百六十六万戸
ニナルノデアリマス、其ノ中先ヅ滿洲ノ方
ニ百万戸出スノダ、斯ウ云フコトニナツテ
居ルノデアリマスカラ、ソレヲ差引イテ見
マスト五百六十六万戸、斯ウ云フヤウナコ
トニナルヤウデアリマス、或ハマダ是ヨリ
減ズルカモ知レマセヌ、サウシテ計算ヲ致
シマス、ヤハリ現在ノヤウナ一町一反ニ
ナルヤウデアリマス、サウスルト昨日デア
リマシタカ御發表ニナリマシタノニ依リマ
スト、大體適正規模ノ農家ハ三町歩ト云フ
風ニ御話ニナツタヤウデアリマスガ、是ト
ノ計算ガ大分違ツテ参ルヤウニ考ヘルノデ
アリマス、是等ニ對シマスル所ノ御考ヘラ
承ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス

林省トシマシテモ、二十箇年後ノ色々ノ目
標ハ此處ニ置クト致シマシテモ、當面ノ問
題ト致シマシテ、結局現在我が國ハ過小農
ダ苦シンデ居ルノデアリマスカラ、出來ル
ダケ適正規模ノ農家ニ直シテ行キタイ、其
ノ爲ニ滿洲ニ移住シマス者ニ付テ、分村計
畫ヲ立テマシテ、村内ノ各農家ノ保有面積
ヲ約三町歩位ニシテ、適正農家ニシテ行キ
タイト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマシ
テ、計畫的ニ何處ノ町村ヲ今ドウスルト云
フ具體的ノコトハマダ決マツテ居ラナイノ
デアリマス

○石井委員 大體御考ヘニナツテ居リマス
適正規模ノ農家ト申シマス、ドウ云フコ
トヲ標準ニ御考ヘニナツテ居リマス、之
ヲ改メテ伺ツテ置キタイト思ヒマス

農家一戸當リノ勞力ニ依ツテ耕作シ得ルモ
ノカドウカト云フコトニ付テハ、色々議論
ガアラウト考ヘマスガ、併シ何レニシテモ、
此ノ適正規模ノ反別カラ計算ヲシテ参リマ
スト、非常ニ過小農ガ出来ルト云フコト
ニナルヤウデアリマス、又現在ノ農家勞力
ト云フ風ニ實際ノコトカラ考ヘテ行クト、
或ハ適正規模ト云ハレテ居ル三町歩ガ大キ
過ギルノデハナイカト云フコトニモナルト
考ヘラレマス、併シ適正規模ノ田一町畑
二町ガ宜イノダ、斯ウ云フ風ニシテ御指導
ニナツテ居ルト致シマスレバ、ヤハリソレ
ニ對スル所ノ耕地ノ御用意ガ必ズ必要ダト
考ヘマス、是等モ將來ノ問題トシテ是非御
考究ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○井野政府委員 只今御述べニナリマシタ
農家人口ハ、内外地ヲ通ジテ四割ト云フノ
デハゴザイマセヌノデ、閣議決定ニナリマ
シタノハ、日滿支ヲ通ジテ四割ト云フコト
ニナツテ居リマス、隨テ支那ニモ相當ノ移
民ヲ考ヘテ居リマス、滿洲ハ二十箇年ニ
百万戸デアリマスガ、支那ニ對シテモ相當ノ
農業移民ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、ソレナラ内地ニハドレダケノ人口ヲ
殘スカト云フコトニ付テハ、此ノ人口政策
確立要綱デハ決マツテ居リマセヌ、隨テ農

○周東政府委員 適正規模ノ農家ト云フモ
ノヲ、一律一體ニ全國的ニドウ云フ風ナモ
ノガ適正規模農家デアルカト云フコトヲ決
メルコトハ、中々困難デアリマス、是ハ相
當地域のニ、又經濟的ナ事情、其ノ地方地
方ニ依ツテ自ラ變ラウト思ヒマス、併シナ
ガラソレヲ巨細ニ調査シテ決定致シマスノ
ヲ待ツテ居ツテハ、中々間ニ合ヒマセヌノ
デ、今マダ各地方ノ實際ヲ眺メテ見タ經驗
カラ致シマシテ、昨日大臣ハ平均的ニ田ハ
一町歩、畑ヲ二町歩、詰リ三町歩ノ農地ヲ
持タセルコトガ宜カラウ、斯ウ云フコトデ
御話ガアツタト思ヒマセケレドモ、是モ平
均的デゴザイマシテ、是ハ東北ノ方ニ行キ
マス、或ハ三町歩デモ足ラヌ場所ガアル
カモ知レマセヌ、反對ニ關西地方、中國、
東海道筋ニナリマス、是ハ可ナリ農家ノ
生活モ安定シ、生産力ヲ落サナイ程度ニ
ヤラセルニ付テハ、或ハ三町歩以內デモヤ

○石井委員 適正規模ノ農家、詰リ適正反
別ノ農家ヲ拵ヘルト云フコトハ極メテ必要
ナコトト考ヘマスルシ、又農林省ニ於キマ
シテハ、サウ云フコトヲ主眼トシテ色々御
指導ニナツテ居ルヤウデアリマス、其ノ關
係ト現在アリマスル耕地並ニ將來開田開畑
セラレレベキ所ノ五十万町歩ト云フモノヲ
合セテ計算致シテ見マス、先程申上ゲマ
シタヤウニ極メテ是亦過小農トナルト考ヘ
ルノデアリマス、而モ此ノ適正規模農家ト
云フコトニ付キマシテモ、色々議論ノアル
コトト考ヘマス、實際現在ニ於キマシテ、
平均一町一反位ニシカナラヌ此ノ土地ニ於
キマシテモ、現在ノ農村デハ、先日來此ノ
委員會ニ於テモ屢々議論セラレマシタヤウニ
寧ろ勞力不足デ持テ餘シテ居ルト云フ風ナ
形ガ現ハレテ居ル状態デアリマス、果シテ
田一町畑二町ト云フヤウナモノガ、本當ニ

次ニ次官ニ伺ヒタイト思ヒマスルコトハ、農
地開發法ノ第六十二條ニ農地開發營團ノ理
事長、副理事長、理事監事又ハ使用人其ノ職
務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ云々ト
ト書イテアリマス、此ノ法文ニ特ニ賄賂ト
云フヤウナ文字ヲ使ツタ理由デアリマスガ、
私ハ法律家デアリマセヌカラ、外ノ條文ニ
モ斯ウ云フモノガアルカドウカハ存ジマセ
ヌガ、一寸他ノモノヲ見マシテモ、斯ウシ
テ賄賂ガ行ハレルコトヲ豫想シテ書イテア
ル所ノ條文ハナイヤウニ考ヘルノデアリマ
スガ、斯様ナコトハ會テアリ勝チノコトデ
アツタノカ、或ハアルト云フコトヲ御豫想
ニナツテ明カニ此ノ賄賂云々ト云フコトヲ
書イタノデアリマセウカ、之ヲ御伺ヒ申上
ゲタイト思ヒマス

第六類第二十一號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第八回 昭和十六年二月十九日

○井野政府委員 此ノ六十二條ニ賄賂ニ對
スル罰則ヲ附シマシタノハ、此ノ營團ガ工
事ヲ請負ニ附シマスルカ、又工事用資材ヲ
購入スルコトガアリマスノデ、營團トシテ

○井野政府委員 此ノ六十二條ニ賄賂ニ對
スル罰則ヲ附シマシタノハ、此ノ營團ガ工
事ヲ請負ニ附シマスルカ、又工事用資材ヲ
購入スルコトガアリマスノデ、營團トシテ

○井野政府委員 此ノ六十二條ニ賄賂ニ對
スル罰則ヲ附シマシタノハ、此ノ營團ガ工
事ヲ請負ニ附シマスルカ、又工事用資材ヲ
購入スルコトガアリマスノデ、營團トシテ

ハ、若シモ理事長其ノ他ノモノガ——サウ云フモノハ無論ナイト思ヒマスガ、假ニ賄賂ヲ受ケテサウ云フ者ニ不當ナ利益ヲ與ヘマス、營團ガ非常ナ不測ノ損害ヲ蒙ルコトニナリマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリマス、其ノ例トシテハ、耕地整理法ニ耕地整理組合長ニ關シテ是同ジヤウナ規定ガアリマス、耕地整理法ノ第九十一條ノ二ニ其ノ例ガアリマス、大體ソレヲ採ツタノデアリマス

○石井委員 更ニモウ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマスノハ、此ノ開發ニハ直接關係ノナイコトデアリマスガ、ヤハリ農地造成開發ニ關係アリマス鑛業被害地ニ關スル問題デアリマス、是ハ他ノ政府委員ニ質問ヲ申上ゲタイト考ヘマスガ、此ノ際次官ニ質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、鑛業被害地ノ復舊ニ關シマスル問題ハ、一昨年ノ議會ニ於キマシテ、鑛業法ガ改正セラレマシテ、賠償規定ガ出來テ一應解決ヲ見タヤウニナツテ居リマス、其ノ當時カラ私共考ヘテ居ツタノデアリマスガ、今日ニ於テ其ノ感ヲ尙ホ深く致シマスコトハ、アノ條文ノ賠償規定ノ中ニ、若シ鑛業被害ガ出タ場合ニ於テハ、對價ノ賠償ヲヤル、値段ヲ以テ賠償スルノダト云フコトガ決メテアルノデアリマスガ、若シ賠償スル人ガ原地復舊ト云フコトヲ望メバソレデモ宜イノダト云フコトガ例外的ニ決メテアリマス、私條文ヲハツキリ覺エテ居リマセマスガ、サウ云フコトニナツテ居ルト記憶致シテ居リマス、併シ私ハ原地復舊ト云フコトガ根本デナケレバナラヌ、サウシテ若シ原地復舊ガ非常ニ困難ナ場合ハ對價賠償デモ差支ヘナイノダト云フコトニナラネバナラヌト云フコトヲ、其ノ

當時色々關係ノ方々ニ意見ヲ具申致シタノデアリマスケレドモ、結局アア云フコトニナリマシタガ、是アルガ爲ニ結局鑛業權者ハ對價賠償ヲスレバ宜イノダト云フコトニナツテ、結局耕地ノ復舊ト云フコトハ中々困難ニナツテ參ツタノデアリマスガ、吾々ノ要求シ、或ハ國家ノ要求シテ居ルコトハ、對價デナクシテ、所謂原地ノ復舊、耕地ノ回復デアルト考ヘルノデアリマス、隨テ鑛業法ノ改正ヲシテ、其ノ法文ニ於テ原地ノ復舊ト云フコトヲ根本トスルノダト云フコトニシテ戴キタイト云フコトヲ私共希望シテ居ルノデアリマスガ、農林省ト致シマシテハ、ソレニ對シテ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、若シサウ云フコトニ出來ルナラバ、サウ云フヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、御意見ヲ拜聽致シタイト考ヘマス

○井野政府委員 農地ノ陥没即チ鑛業災害カラ來マス農地被害ニ對シテノ救済ト致シマシテハ、只今御話ノヤウニ鑛業法ノ規定ニ依リマシテ一部解決ヲ見タノデアリマスガ、ソレニ對シテ原地回復ガ宜イカ、金錢賠償ガ宜イカト云フ問題ハ中々大キイ問題デアリマス、現在ノ状態ニ於テ原地回復ト云フコトハ中々ムツカシイ、結局金錢賠償ニ依ツテ解決スルコトニ於テ、從來ノ全然之ニ對スル救済ノ途ノナカツタ頃ヨリ一歩解決ニ進ンダ譯デアリマスガ、今後は等ノ實際ニ於ケル陥没ノ事情ヲ能ク研究致シマシテ、ドツチガ適當デアルカヲ能ク研究致シマシテ、必要ガアレバ更ニ鑛業法ノ改正ヲ要求致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

(松浦委員長代理退席 委員長着席)
○石井委員 尙ホ其ノ問題ニ付テ承リマス

ガ、アノ規定ニ依リマス、鑛業權者ト云フモノハモウ被害ガ生ジテ居ルモノニ對シテハ、過去ニ遡及シテ其ノ賠償ノ責任ガアルノダト云フコトニナツテ居リマスガ、所謂農地ヲ復舊シ或ハ耕地ヲ復舊サセルト云フノハ、農林省ノ方ノ關係ニナルノデアリマセウカ、商工省ノ方デサウ云フコトヲヤツテ居ラレルノデアリマセウカ、其ノ點ハドウ云フ風ニナルノカ、ソレヲ承リタイトデアリマス

○井野政府委員 耕地ヲ復舊スルトカシナイトカ云フ問題ハ企業者ガスル問題デアリマシテ、農林省トカ商工省ガ自ラヤル問題デハナイト思ヒマス、併シ其ノ利益ヲ保護スル爲ニドチラガ主トシテ活動スルカト云フ問題ニナリマスレバ、農地ノ回復ニ付テハ農林省トシテハ絶エズ商工省ニ色々ノコトヲ申シテ居ルノデアリマスカ、農林省ガ指導的ニナルト云フ風ニ御理解願ツタラ宜イダラウト思ヒマス

○石井委員 私人問ヒハハツキリシマセヌデシタカ、結局農林省ノ方デ指導的ニナツテ商工省ノ方ニモ御交渉下サルノダ、斯ウ云フ御答辯ヲ下サイマシテ、其ノ點ハハツキリ致シマシタ、是デ私ノ農林次官ニ對スル質問ハ大體終了致シマシタ、アトハ他ノ政府委員ノ方ニ質問致シタイト思ヒマス

第二條ニ「政府ハ農地ノ造成又ハ改良ヲ行フ者ニ對シ勸令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付スルコトヲ得、斯ウナツテ居リマスガ、是ハ今回出來マス農地開發營團ト云フモノノ中ニ含まレル意味ニナルノデアリマセウカ、御伺致シマス

○岸政府委員 是ハ從來開發助成等デヤツ

テ居タヤリ方ノ分ノモノヲ含ムノデ、農地開發營團ノ方ハ別デアリマス

○石井委員 私人承リマシタノハ、此ノ農地開發營團ト云フモノモ、農地ノ造成又ハ改良ヲ行フモノダト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テソレニ對シマシテハヤハリ補助金ガヤリ得ラレルモノノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ドウダ、斯ウ云フ風ニ御尋ネ申上ゲタ次第デアリマス

○岸政府委員 農地開發營團ニ對スル助成ノ方法ニ付テハ、別ノ所デ規定シテアリマシテ、之ニハ含ンデ居リマセヌ

○石井委員 ソレカラ第七條ニ農地開發營團ノ出資者ト云フモノヲ大體書イテアリマスガ、斯ウシタ營團ニ對スル所ノ出資ト云フモノハ、サウ誰デモガ應募スルト云フ譯デハナイト考ヘマスガ、大體ドウ云フ方面ヲ豫想セラレテ居リマスカ、承ツテ見タイト考ヘマス

○周東政府委員 是ハ度々御質問ガ出テ居リマスガ、實際問題トシテハ、農地開發營團ノ趣旨ニ賛成シテ出資ヲシテ戴キ得ル方ガアリマスカ、ソレノ出資ヲ拒ムコトハ考ヘテ居リマセヌノデ、廣ク第七條ニ書イテゴザイマスガ、本計畫ニ於キマシテハ、大體出資者ハ勸業銀行ナリ、産業組合中央金庫ニ出資ヲ御願ヒスルコトニ考ヘテ居リマス

○石井委員 洵ニ詰ラナイ質問ヲスルヤウデアリマスガ、昨日配ツテ戴キマシタ參考書類ノ中ニ納付金ト云フモノガアルヤウデアリマスガ、此ノ納付金ト云フモノハドウ云フ性質ノモノデアリマセウカ

○周東政府委員 是ハ大體土地改良事業、即チ例ヘバ用排水幹線改良トカ云フヤウナ

モノニ付キマシテ營團ガ行ヒマス場合ニ、地元ノ受益スル者ガ大體四割ヲ負擔スルコトニナツテ居リマスカラ、其ノ四割ヲ會社ニ納付スルコトニナツテ居リマス、ソレヲ指シテ納付金ト考ヘテ居ルノデアリマス

○石井委員 一寸承ツテ見タイト考ヘマスガ、今マデアリマシタ開墾助成事業ト云フヤウナモノハ、全部此ノ開墾營團ト云フモガ今ノヤウナ工合ニ代行——代行ト云ヘルカドウカ知リマセスガ、開墾營團ガ納付金ヲ貫ツテヤルノダ、斯ウ云フ風ニナルノデアリマセウカ、或ハヤハリ開墾助成ノ事業ハ事業トシテ獨立シテ別ニアルノデアリマセウカ

○周東政府委員 營團ノ行ヒマス事業ハ、今マデアリマシタヤウニ、大體ノ所五十町歩以上ノ集團シタ地區ノ水田ナリ畑ナリノ開墾事業ト、ソレカラ關係面積三千町歩以上ノ土地ノ水利改良事業ヲ營團ガ行フ譯デアリマス、其ノ際ニ地元カラノ納付金ガ起ツテ參リマスノハ其ノ農業水利改良事業ニ付テデアリマシテ、開墾事業ニ付テハ、政府ガ六割ノ補助ヲシテ、アトノ四割ハ會社等ガ社債ノ發行ニ依ツテ得タル事業資金ニ依ツテ土地ノ買収ナリ何ナリヲ致シテ、出來上ツタ農地ヲ順次自作農ニシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス、農地改良事業ニ付テハ、政府カラノ六割ノ補助ト地元納付金ニ依ツテ、用排水幹線ト云フヤウナモノガ改良サレテ行クト云フコトニナル譯デアリマス

○石井委員 是モ昨日ドナタカノ質問ニアツタヤウデアリマスケレドモ、私數字ヲ憶エマセスガ、開發營團デヤラレマスル田畑ノ工事費、ソレト、是ノ賣却豫定價格ヲ

一寸教ヘテ戴キタイト思ヒマス

○周東政府委員 田ノ方ノ賣却豫定ノ價格ハ、平均致シマシテ三百七十圓、ソレカラ畑ノ賣却價格ハ平均致シマシテ百九十圓デアリマス

○石井委員 私人御尋ネ致シマシタノハ、詰リ田ノ三百七十圓、畑ノ百九十圓ト云フモノハ、賣却價格デゴザイマスガ、是ノ開田、開畑ノ實費ト云フモノハ幾ラ要スルノデアリマセウカ

○周東政府委員 今調べサセテ居リマスカラ一寸御待チ願ヒマス

○石井委員 デハソレハ後デ御調ベテ願フコトニ致シマシテ、私ココデ御尋ネ致シタイト考ヘマスコトハ、此ノ營團ニ關シタル條文ノ中ニ、或ハ剩餘金ノ處分デアルトカ、剩餘金ノ處分ニ對スル利子トカ、相當剩餘金、利益金ト云フヤウナモノヲ豫想サレタ條文ガアルヤウデアリマス、勿論相當ノ剩餘金ガ出ヨウト考ヘマスガ、私ハ窮極スル所此ノ剩餘金トカ或ハ利益金トカ云フヤウナモノハ、此ノ田或ハ畑ノ賣却ヨリ生ズルモノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ價格トソレカラ開田開畑ニ要シマスル所ノ費用トノ差額ト云フモノガ、ソレガ利益デアリ、又經費ノ使途ニ要スル色々ノ費用デアアル、斯様ニ考ヘマス、隨テ私共カラ考ヘマスルナラバ、實費ヲ要シマシタモノニ對シテ最小限ノ費用ヲ加ヘタモノガ賣却價格デアラネバナラヌ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、隨テ此ノ田ノ三百七十圓或ハ畑ノ百九十圓、是ハ勿論豫想デアリマセウケレドモ、一體此ノ數字ノ出マシタ根據ト云フモノ、是ハ所謂時價ノ御豫想デアリマセウカ、或ハ實際ニ要ツタ經費ヲ

集積シタ反當リノ經費ニナツテ居ルノデアリマセウカ、何レデアリマセウカ

○岸政府委員 賣却代金ノコトデゴザイマスカ——是ハ昨日モ御話申上ゲマシタヤウニ、時價ヨリ相當安クナツテ居ル見當ニナツテ居リマス、素地ヲ得タモノニ對シテ工費ヲ加ヘ——是ハ實費ノ程度デゴザイマスガ、工事費ヲ加ヘ、更ニ總體費ノ額ヲ加ヘタモノヲ平均シテ出シタモノデアリマス、其ノ結果ト云フモノハ、要スルニ工事費ニ對シテ助成ガアリマスノデ、時價ヨリハ安クナツテ居ル、斯ウ云フ見込デアリマシ

○石井委員 此ノ參考資料ニアル金融豫定表ト云フモノヲ見マスルト、大體收支ノ様子モ分ルノデアリマスガ、要スルニ利益ノ配當デアルトカ、或ハ利息ノ支拂デアルトカ云フヤウナモノハ、土地ノ處分ノ付クマデハ總テ内部ノモノヲ食ツテ居ルノダト云フ風ニ考ヘテ差支ヘナイヤウデアリマス、將來ニ收入シ得ベキ土地ノ代金ノ差額ト云フモノヲ豫想シテ配當ニ充テテ居ルノダ、若シ普通ニ言フナラバ一種ノ假拂ヒミタヤウナ形ヲ以テ之ヲ支拂ツテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトニナルノデアリマセウカ

○周東政府委員 大體御話ノ通りデアリマス、併シ土地ヲ買ヒ、ソレニ加工ヲ致シ、或ハ建築材料ヲ買ヒ、家屋ノ建設ヲシテ行クト云フ場合ニ、資産上ノ價格ノ増加ト云フモノハアルノデアリマスガ、現金ノ收入ハ事業開始當初ニ於テハ少イカト思フノデアリマスケレドモ、ソレ等ノ實際上ノ資産ノ評價ト云フモノハ見積リ得ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、大體御話ノ

通りデアリマス

○石井委員 第五十八條ニ依リマス、前ノ方ハ省キマスガ、農地ニシテ農地開發營團ノ所有ニ係ルモノニ付農地調整法第四條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行フ者ノ申出アルトキハ農地開發營團ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ其ノ事業者ニ讓渡スコトヲ要ス」斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマシテ、若シ此ノ自作農ノ創設維持ノ事業ヲ行フ者ノ申出ガナイト云フコトニナル場合ニハ、其ノ土地ハ此ノ營團ガ經營スル、斯ウ云フコトニナルヤウニ考ヘマスルガ、サウ解釋シテ差支ヘナイノデアリマセウカ

○周東政府委員 大體勅令ノ規定ニ依リマシテ、或ル場合ニ於テハ營團ガ小作セシメル場合モアラウカト思ヒマスガ、或ル場合ニ於キマシテハ市町村ナリ農事實行組合等ニ其ノ管理ヲサセテ耕作セシメルト云フコトモ考ヘテ居リマス

○石井委員 結局申出ガアレバ賣ル、申出ガナイ場合ハ自ら管理スルト云フヤウニナルモノト解釋致シマス、次ニモウ一ツ伺ツテ置キタイコトガアリマスルノハ水利ニ關スル問題デアリマス、是ハ他ノ質問者ガ既ニ質問サレタト云フコトデアリマスカラ諒クハ申上ゲマセスガ、第五十條或ハ第五十一條ニ依ツテ水利ノ收用デアルトカ或ハ色々ナコトヲヤラレル場合、權利ニ對スル補償ト云フヤウナモノガアルヤウデアリマスガ、水利ニ對スル補償ト云フヤウナコトモ此ノ中ニ入ル意味デアリマセウカ、其ノ點モ御伺ヒシタイト思ヒマス

○周東政府委員 五十一條ノ規定ニ依リマシテ、湖ナドノ使用ニ關スル權利ト云フヤウナモノヲ收用、使用ヲヤリマシタ場合ニ

ハ、ソレニ對スル補償ノ關係ハ是デ出來ル譯デアリマス

○石井委員 從來水利ノ問題ト云フモノハ極メテ微妙ナ關係ガアルノデアリマス、水利ニ對スル所ノ補償デアリマストカ、或ハ水利ヲ新タニ得タイガ爲ニ幾ラカソレニ對スル權利金ヲ拂フト云フヤウナコトハ、度々地方ニ於キマシテ問題トナツテ居ルモノデアリマス、隨テ此ノ際此ノ開發營團ガ行フ是等ノ水利ニ對シマスル所ノ權利金ノ支拂デアルトカ、或ハサウシタコトハ廳テ是等ノモノノ標準トナリ、是等ノモノヲ解決致シマス所ノ前例ト相成ルト考ヘマス、特ニ一ツ十分ナル御考慮ヲ願ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス、更ニ水利法ノ制定ト云フ問題デアリマス、是ハ前質問者ガサレタト云フコトデアリマスガ、如何デアリマスカ

○岸政府委員 松浦サンカラ質問サレマシテ御答ヘ致シテ置キマシタ

○石井委員 デハ私ハ質問ハ致シマセヌガ、水利法ノ制定ト云フコトガ此ノ場合極メテ急速ニ必要ナコトト存ズルノデアリマス、大體ドウ云フ風ニ御答辯ニナツタカ存ジマセスケレドモ、私ハサウ云フ風ニ思フノデアリマス、現在ニ於キマシテハ、總動員法ノ運用ニ依リマシテ一部ノモノヲ儘カ地方長官ニ委任ニナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマスケレドモ、是ハ尙ホ進ンデ水利法ヲ至急ニ御制定ニナル所ノ必要ガアルト思フノデアリマス、之ニ對スル所ノ答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 農業水利ノ範圍ニ於キマシテハ、昨年ノ八月一日カラ施行シマシタ水利調整令ニ依ツテ行クコトハ御承知ノ通

リデアリマスガ、水利關係ハ各方面ニ關係ガアリマスノデ、或ハ發電關係、或ハ河川使用ノ關係トカ、色々ノ方面ニ關係ガアリマスノデ、是ハ灌溉用水ダケノ關係ニ於キマシテ總テノ關係ヲ規則スル水利法ヲ作ルコトハ——是ハヤラナケレバナラヌコトデアリマスガ、中々困難ナ事情ニアリマス、併シ御話ノヤウニ非常ニ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマスカラ、慎重ニ今其ノ點ハ考究中デアリマス

○石井委員 大體私ノ質問ハ終ルノデアリマスガ、最後ニ一ツ承ツテ置キタイト考ヘマスノハ、今回ノ開發營團ノ事業ニハ恐ラク入ラスコトデアラウ、直接關係ハナイト思ヒマスガ、先程御尋ネ申上ゲテ置キマシタアノ鑛業被害地ノ復舊ト云フヤウナ問題モ、是等ノコトガ此ノ運營ニ依ツテ豫想セラレルノデアリマセウカ、如何デアリマスカ、一應承ツテ置キタイト思ツテ居リマス

○岸政府委員 差當リハ是ノ中ニハ入ツテ居リマセヌ、是ハ別途ニ計畫ヲ立テテヤルナラヤル、併シ其ノ仕事ヲ又場合ニ依レバ、是ガ其ノ一部トシテ請負ツテヤルト云フヤウナコトハ出來ルデアラウト思ヒマス、サウ云フ點ニ於テハ活用シ得ルト思ツテ居リマス

○石井委員 私ノ質問ハ終了致シマス

○村上委員長 先程調ベルトカ言ツテ居ツタ答辯ハドウナツテ居マスカ

○岸政府委員 昨日御話ヲ申上ゲ、配付致シマシタ資料トシテ開發營團ノ十六年ノ收支見込ガアリマス、アレノ中ニ開墾事業費ト云フモノガアリマスガ、ソレ等ヲ總額デ申上ゲタノデアリマスガ、大體此ノ範圍デ事業分量ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニ御考

ヘ願(バ)宜イト思ヒマス、色々ノ場合デ計算シタモノモアリマスガ、今一寸此處ニ持合ハセテ居リマセヌ

○石井委員 總額デハ私困ルノデアリマス、委員長ニ御願ヒ致シテ置キマスガ、一ツ明日デモ私ノ要求シテ居リマス數字ガ分ルヤウニ御配慮願ヒタイト思ヒマス、詰リ私ノ要求致シマスルノハ、賣却ノ豫想價格ハ分リマシタケレドモ、出來テ參リマスル所謂改田或ハ改畑ノ一反歩當リニ對スル費用、原價ガ分ラヌノデアリマスカラ、ソレヲ拜承シタイノデアリマス

○周東政府委員 其ノ點ハ一寸御諒解ヲ得テ置キタイノデスガ、實際問題トシテ、各方面ニ色々土地ノ開發ニ難易ガアツタリスルモノデアリマスカラ、此處デ抽象的ナ平均的ナ價格ヲ申上ゲルコトハ却テ無意味ニナリハセヌカト思ヒマス、隨テ今岸政府委員カラ申シマシタヤウニ、本年大體豫定シテ居ル所ノ總事業費ト云フモノカラ考ヘテ、ドノ位掛ルカト云フコトヲ總體ニハ言ヘマスケレドモ、併シ具體的ニ一反歩當リ田ノ造成費ハドノ位掛ル、畑ノ造成費ハドノ位掛ルト云フコトハ全く抽象的ニナラウト思ヒマス、其ノ點デ總括シテ申上ゲタ譯デアリマスガ、今年ダケノ總事業費デ豫定面積ヲ割ツテモ、來年ノ造成費ガソレト同ジヤウニナルカト云フコトニナリマス、サウモ行カヌト思ヒマス、却テ無意味ナ數字ガ出ルノデハナイカト思ツテ、寧ロ申上ゲナカツタノデアリマス

○石井委員 御發表サレルコトガ何か事業ノ運營ノ上ニ極メテ困難ダト云フコトデアレバ、私ハ無理ニハ要求シマセヌガ、少クトモ一體營團ハドウナルモノデアラウカト

云フコトヲ見ル上ニ於キマシテハ、殊ニ先程申上ゲマシタヤウニ、結局此ノ營團ノ利益トカ或ハ剩餘金トカ云フモノハ、原價ト所謂賣却ノ價格ノ差ヨリ出テ來ルモノト考ヘマスルガ故ニ、一應之ヲ聽キタイト云フコトガ自然ノ要求グラウト私ハ思ヒマス、而モ賣却ノ方ノ田或ハ畑ニ對スル所ノ豫想ハ一應出テ居ルヤウデアリマス、隨テソレニ對シマスル所ノ原價ガ、凡ソドノ位ニ付クカト云フコトハヤハリ御分リニナラナケレバナラヌト考ヘマスケレドモ、併シ之ヲ發表スルコトガ事業ノ運營上非常ニ困ルノダト云フコトデアレバ、強ヒテ要求シマセヌ、併シ之ヲ判斷スル上ニ於テハ是非ナケレバナラヌ資料ダト考ヘマス

○村上委員長 ソレデハ能ク御考ヘ下サツタラドウデスカ

○長野(綱)委員 一寸石井君ノ質問ニ關聯シテ質問シタイト思ヒマスガ……

○村上委員長 宜シウゴザイマス

○長野(綱)委員 先程カラノ石井サンノ質問ニ付テ私浮ンダノデスガ、土地ノ開發デアレバ疑問ハ起ラナイノデアルケレドモ、三千町歩以上ノ用排水工事ヲ施行シタ場合ニ、政府カラ貰ツタ六割ト、土地ノ受益者カラ四割出シタ金トデ以テ豫算ノ收支ハ付ク、是ハ豫算ノ收支ガ償ワダケデアルガ、サウスルト何處デ六分ノ配當ハ生レテ來ルノカ、ソコノ經緯ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 事業ノ收入トシテ考ヘラレルコトハ、ヤハリ開發サレタ農地ノ賣却收入カラ出テ來ル譯デアリマス

○長野(綱)委員 サウ致シマスルト、用排水工事等ハ利益ヲ出サナイト云フ御方針デスカ

○周東政府委員 大體用排水事業等ニ付キマシテハ、トン／＼ニ行カセル程度ニ考ヘテ居リマス

○村上委員長 ソレデハ申上ゲマス、大臣ノ出席要求ガ相當ニアリマス、農林大臣ニ對スルモノハ、明日ノ午後大臣ニ出席ヲシテ戴イテ質疑ヲ終了シタイト思ヒマス、須永君、成島君、松浦君、小笠原君、石坂君、長野君、此ノ諸君カラ農林大臣ニ對シテ出席要求ガアリマス、ソレカラ山林局長ニ對シテ小笠原君、馬政局長官ニ對シテハ小笠原君ト坪山君ノ質問ガ殘ツテ居リマス、山林局長、馬政局長官ハ明日午前中ニ出席ヲ求メルコトニ手配シテアリマスカラソレト其ノ御用意ヲ願ヒマス、ソレカラ其ノ他陸軍大臣、厚生大臣、内務大臣、遞信大臣、内務省土木局長、商工省ノ物價局長官ニ對スル質問トシテ成島君、服部君、土田君、吉植君ガアリマス、是ハ明日ハ多分全部揃ツテハ出ニクイノデハナイカト思ヒマスカラ、大體ハ明後日は等ノ顔觸レノ關係ノ方面ハ出席ヲ願フコトニ運ビタイ、斯ウ思ツテ居リマスカラドウゾ其ノ出席ヲ要求サレテ居ル諸君ハ、其ノ御積リデ委員會ニ出テ戴クヤウニ希望致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會スルコトニシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時散會

昭和十六年二月二十日印刷

昭和十六年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局